

# 地域社会づくりの基盤(プラットフォーム)としての地域福祉フォーラムの設置状況

## 平成30年度新規フォーラム一覧

新規設置数:13[基本:2 小域:11]

累計設置数:368[基本:33 小域:335]

### 【基本地域福祉フォーラム】

No.	地域	事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	睦沢町	睦沢町社会福祉協議会	H30.5.8	105千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における支え合い助け合いの必要性について話し合い、足りないサービスの創設を目指す。</li> <li>・災害時の対応について話し合い、災害ボランティアセンターの立上げ訓練を行う体制をつくる。</li> </ul>	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①支え合い助け合い部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協職員である生活支援コーディネーターにより、調査と広報活動を展開する。</li> <li>・既存で活動中の団体に声をかけて座談会を開催し、検討すべきテーマ等を把握する。</li> <li>・地域住民に声をかけて座談会を開催し、検討すべきテーマ等を把握する。</li> <li>・講師を招き、地域支え合いについての勉強会を開催する</li> <li>・先進的地域の状況を視察する。</li> <li>・ボランティアや地域資源の掘り起こしのため、社協を利用してイベントを開催する。</li> <li>・生活支援体制整備事業・協議体と連携を図り、情報を共有する。</li> </ul> </li> <li>②災害VC運営部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対応について、関係者と会議を開催する。</li> <li>・勉強会を開催する。</li> <li>・近隣の訓練に参加する。</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①支え合い助け合い部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・座談会から上がったテーマをもって、専門部会を開催する。</li> <li>・地域の担い手養成講座を開催し、担い手を育成する。</li> <li>・実際の活動が行われている市町村の状況を視察する。</li> <li>・専門部会から担い手グループによる団体を立ち上げ、サービスを創出する。</li> <li>・イベントを継続して開催していく仕組みを作る。</li> </ul> </li> <li>②災害VC運営部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対応について、関係者と会議を開催する。</li> <li>・勉強会を開催する。</li> <li>・社協で災害VC立上げ訓練が実施できる体制を整える。</li> </ul> </li> </ul>
2	御宿町	御宿町社会福祉協議会	H30.8.2	200千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉フォーラムを設置し、御宿町の地域づくり等を検討し、町の活性化を図る。</li> </ul>	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉フォーラム実行委員会及び地域福祉活動計画策定委員会を組織する。</li> <li>・先駆的な他フォーラムの情報収集。必要に応じ実行委員会メンバーで視察する。</li> <li>・地域福祉フォーラムのあり方について勉強会を開催する。</li> <li>・現状で把握できている生活課題、社会資源を整理した資料を作成し、実行委員及び関係者と共有する。</li> <li>・地域の様々な団体・個人が参加する地域福祉フォーラムを開催する。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会を開催する。</li> <li>・住民に対し、生活課題、フォーラムへの参加の移行、フォーラムへ期待すること、フォーラムで検討すべきテーマ等を把握するため、自治会・民生委員等の協力のもと、アンケート調査を実施するとともに、すでに把握済みの課題と合わせ分類整理し、実行委員にて共有する。</li> <li>・前年のアンケート、地域福祉フォーラムで出された意見をもとに、専門部会を設置する。(地域福祉活動計画等の計画策定作業部会等)</li> <li>・実行委員会、専門部会、フォーラムの参加者など幅広いメンバーで力を合わせ地域福祉活動計画を策定する。</li> </ul>

【小域地域福祉フォーラム】

	地域		事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	館山市	豊房神余地区	豊房神余地区コミュニティ委員会	H30.5.8	200千円	豊房神余地区コミュニティ委員会で策定した、地域支えあいのまちづくりプランに基づき、地域で高齢者等を支えあい10年後も安心して暮らせるまちづくりに努める。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議等を実施し、地域課題やニーズの洗い出しを行い策定した、豊房神余地区支えあいのまちづくりプランに基づき、助け合い隊・高齢者見守り隊の創設やふれあいいきいきサロンの設置等について協議検討し、推進活動に努める。</li> <li>・研修会への参加や先進地を視察する。</li> <li>・サロン会場の備品整備を図る。</li> <li>・サロン会場の軽微なバリアフリー整備を図る。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議等を実施し、地域課題やニーズの洗い出しを行い策定した、豊房神余地区支えあいのまちづくりプランに基づき、助け合い隊・高齢者見守り隊の創設やふれあいいきいきサロンの設置等について協議検討し、推進活動に努める。</li> <li>・研修会への参加や先進地を視察する。</li> <li>・サロン会場の備品整備を図る。</li> <li>・サロン会場の軽微なバリアフリー整備を図る。</li> <li>・上記以外にも、子供見守り対策・防犯対策・環境対策・住民の交流対策等について必要に応じ取り組み、豊房神余地区の活性化を図る。</li> </ul>
2	市原市	五井地区五井小学校区	五井地区社会福祉協議会	H30.6.4	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、五井地区において「支え合い・助け合い」の仕組みを構築し、誰もが地域での暮らしやすさを確保するとともに、安心して生活できる地域社会づくりを目的とする。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子ども部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校児童の登下校時のスクールガード実施</li> <li>・小学校事業への協力(昔遊び体験、学習支援など)</li> </ul> </li> <li>2. 高齢者部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防の促進(軽体操(ラジオ体操や歩行運動など)を実施)</li> </ul> </li> <li>3. 防犯部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロールの実施(更級公園を中心とする)</li> </ul> </li> <li>4. 広報部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙を作成し、地域住民の理解を図る</li> </ul> </li> <li>5. 会議開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の地域課題や生活課題の把握、ニーズなどを掘り起し、会議の中で対応策の検討を行い、活動に対する企画や運営を行う。</li> </ul> </li> </ol> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 五井福祉ネットワークの定着化に向けた活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の抱えた問題解決のための各部会活動推進</li> </ul> </li> <li>2. 住民相互理解のための啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会回覧等を利用した情報発信</li> </ul> </li> <li>3. 関係団体の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールガード、防犯・防災活動支援、地域事業への参加協力、各関係団体との情報交換</li> </ul> </li> </ol>
3	市原市	市原地区市原小学校区	市原地区社会福祉協議会	H30.7.3	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、市原小学校区の地域づくり等を検討して、地域の活性化を図る。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. パトロール活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の事故・非行防止を目的としたパトロールの実施。</li> </ul> </li> <li>2. あいさつ運動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の登校時のあいさつ運動。</li> </ul> </li> <li>3. 小学校・中学校支援活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校事業への協力(除草作業等)。</li> </ul> </li> <li>4. 会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員による会議の定期開催。活動の企画・運営とともに、地域課題の発掘及び課題解決に向けた検討協議を行う。</li> </ul> </li> <li>5. 研修会への参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員の知識と理解を深めるための研修会等への参加。</li> </ul> </li> </ol> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. パトロール活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の事故・非行防止を目的としたパトロールの実施。</li> </ul> </li> <li>2. あいさつ運動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の登校時のあいさつ運動。</li> </ul> </li> <li>3. 小学校・中学校支援活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校事業への協力(除草作業等)。</li> </ul> </li> <li>4. 会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員による会議の定期開催。活動の企画・運営とともに、地域課題の発掘及び課題解決に向けた検討協議を行う。</li> </ul> </li> <li>5. 研修会への参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員の知識と理解を深めるための研修会等への参加。</li> </ul> </li> <li>6. 活動の周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時にベスト等を着用することにより、地域住民への活動周知を図る。</li> </ul> </li> </ol>

4	匠瑛市	栄地区	栄地区地域福祉フォーラム 実行委員会	H30.8.2	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、栄地区の地域づくりについて検討し、栄地域の活性化を図ることを目指します。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に勉強会を開催し、様々なアンケート結果を活用しながら課題を共有し、それら課題に対してどのような取組みをしていくか検討し、新たな資源の開発等につなげていく。</li> <li>集いの場を整備し、交流の場を創出していく。</li> <li>公的な制度のみでは対応しきれない課題について、住民主体によって日常生活に必要な支援等が提供できるか検討していく。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に勉強会を開催し、様々なアンケート結果を活用しながら課題を共有し、それら課題に対してどのような取組みをしていくか検討し、新たな資源の開発等につなげていく。</li> <li>集いの場を整備し、交流の場を創出していく。</li> <li>公的な制度のみでは対応しきれない課題について、住民主体によって日常生活に必要な支援等が提供できるか検討していく。</li> <li>高齢者や児童を対象とした防犯等の見守り活動について検討していく。</li> <li>小中学校を対象とし、世代間交流について検討していく。</li> <li>他地区の地域福祉フォーラムを視察し、本会の活動に活かせるようにしていく。</li> </ul>
5	匠瑛市	野田地区	野田地区地域福祉フォーラム 実行委員会	H30.8.2	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、野田地区の地域づくりについて検討し、野田地域の活性化を図ることを目指します。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に勉強会を開催し、様々なアンケート結果を活用しながら課題を共有し、それら課題に対してどのような取組みをしていくか検討し、新たな資源の開発等につなげていく。</li> <li>集いの場を整備し、交流の場を創出していく。</li> <li>公的な制度のみでは対応しきれない課題について、住民主体によって日常生活に必要な支援等が提供できるか検討していく。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に勉強会を開催し、様々なアンケート結果を活用しながら課題を共有し、それら課題に対してどのような取組みをしていくか検討し、新たな資源の開発等につなげていく。</li> <li>集いの場を整備し、交流の場を創出していく。</li> <li>公的な制度のみでは対応しきれない課題について、住民主体によって日常生活に必要な支援等が提供できるか検討していく。</li> <li>高齢者や児童を対象とした防犯等の見守り活動について検討していく。</li> <li>小中学校を対象とし、世代間交流について検討していく。</li> <li>他地区の地域福祉フォーラムを視察し、本会の活動に活かせるようにしていく。</li> </ul>
6	佐倉市	和田地区	和田地区社会福祉協議会	H30.8.2	200千円	地域で支えあう支援サービス「わだすけ60分サービス」を実施し、「日常生活支援」と「買い物支援」の二つのサービスをもって、支え合いが実感できる地域づくりを目指す。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体制の整備</li> <li>支えあいサービス(わだすけ60分サービス)の専門部会開催</li> <li>サービス拠点の整備</li> <li>サービス内容の分析と検討する。</li> <li>サービス要員の確保</li> <li>サポーター、コーディネーターの募集</li> <li>買い物支援については、南部圏域に存する社会福祉施設の協力を得てサービスの実施を図る。</li> </ul> <p>広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会等と連携して、サービス内容の周知と利用会員の募集を図る。</li> <li>福祉活動の啓発によるサポーター、コーディネーターの募集</li> <li>南部地域包括支援センター等と協議連携のもと、事業の推進を図る。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門部会の開催により、組織を強化する。</li> <li>サービス内容の充実に向け現状分析を行い、南部地域包括支援センターと連携して事業の改善を図る。</li> <li>利用会員を増やすとともに、会員の要望に迅速、的確に対応できる体制を整える。</li> <li>サポーター、コーディネーターの資質向上のため、学習会等を開催する。</li> <li>広報活動を通じ、本事業への住民理解を深める努力を継続し、自治会等の連携によりサポーター、コーディネーターの増大を図る。</li> </ul>
7	東金市	嶺南地区	嶺南地区社会福祉協議会	H30.9.4	100千円	地域福祉フォーラムを設置し、嶺南地区の地域づくり等を検討し、嶺南地域の福祉活動の一層の活性化を図る。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協の中に地域福祉フォーラム推進委員会を組織する。</li> <li>地域の福祉ニーズを検討し、フォーラムで推進するテーマを策定する。テーマ「人生100年時代、健康長寿を目指す」</li> <li>地域福祉フォーラム推進委員会を実行委員会に組織する。</li> <li>フォーラム実行委員会メンバーを拡大し、地域福祉ネットワーク会議を開催する。</li> <li>テーマに沿った地域福祉活動を開催する。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会を開催する。</li> <li>テーマに沿った活動を計画し、地域住民に広く周知する。</li> <li>地域福祉フォーラムとして「健康ウォーク」「健康教室」等の行事を展開する。</li> <li>幼稚園、小中学校と連携した異世代間交流を一層活発にしていく。</li> <li>継続して事業を展開できる様に「地域福祉フォーラム推進委員会」を定期的開催とする。</li> </ul>

8	横芝光町	上堺地区	上堺地区社会福祉協議会	H30.11.1	200千円	上堺地区にいる子供たちを中心に地域のことを知ってもらい、幅広い世代でこれからの地域づくりの活性化を図る。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協の中に地域福祉フォーラム運営委員会を組織する。</li> <li>・事務所の体制を整える為、消耗品等を購入する。</li> <li>・役員会、運営委員会を通じて、今後の取り組み等の話し合いをする。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会を開催する。</li> <li>・運営委員会を開催する。</li> <li>・事業を開催する。開催した事業について意見や感想等をもらい、今後の活動の参考とする。</li> <li>・運営委員で他フォーラムを視察する。</li> <li>・地域に広報紙を発行する。</li> <li>・フォーラムを開催し、今までの活動発表等を行う。幅広い世代の方々に参加してもらおうよう募集をするとともに新たな地域福祉活動の担い手も募集する。</li> </ul>
9	いすみ市	岬町中根地区	中根地区社会福祉協議会	H30.11.1	570千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢社会を迎えている本地域において、防犯、防災の取組を充実させるために、地域福祉フォーラムを実施し地域住民の交流の輪を広げる。</li> <li>・地域福祉フォーラムの取組を通して、地区行事、地区社協事業、学校教育の更なる充実・深化を図るための環境整備を行う。</li> </ul>	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中根小学校区の防犯、防災の取組を学校と地域、保護者が連携して充実させるために、地域福祉フォーラムを実施する。そのためには、まず、組織体制づくりを主に行い、防災や防犯に関する情報交換や意見交換、地域の特性や地域の現状を把握する意味で、四堰地区自主防災会会長による講演会等を実施する。</li> <li>・地域福祉フォーラムの取組を通して、地区行事、地区社協事業、学校教育の更なる充実・深化を図るための環境整備(備品等の購入)を行う。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中根地区社会福祉協議会で年度内の活動内容及び活動計画を情報交換し、多方面の組織との調整を図る。</li> </ul>
10	船橋市	湊町地区	湊町地区社会福祉協議会	H30.12.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、湊町地区の地域づくりを検討し活性化を図る。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの地域における生活支援サービスを充実させていくにあたり、町会・自治会、民生委員や地区社会福祉協議会といった地域の組織に加えて、企業との繋がりが欠かせなくなってくる。1年目は企業と地域が認知症の人たちに何ができるかを考えるきっかけとなるよう「VR認知症体験」を実施する。また、このフォーラムを通じて企業と地域の顔の見える関係づくりをすすめ、今後の生活支援サービスについて協議するための土台作りとしたい。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーターの活動により把握した地域のニーズや企業からの要望を基に、湊町地区にあったフォーラムを計画していきたい。</li> <li>・3年間のフォーラムが終了した時には、企業と地域が連携しながら、必要な人に生活支援サービスを提供できる体制を構築したい。</li> </ul>
11	横芝光町	大総地区	大総地区社会福祉協議会	H30.12.6	100千円	大総地区にいる子供たちを中心に地域のことを知ってもらい、幅広い世代でこれからの地域づくりの活性化を図る。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協の中に地域福祉フォーラム運営委員会を組織する。</li> <li>・事務所の体制を整える為、消耗品等を購入する。</li> <li>・役員会、運営委員会を通じて、今後の取り組み等の話し合いをする。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会を開催する。</li> <li>・運営委員会を開催する。</li> <li>・事業を開催する。開催した事業について意見や感想等をもらい、今後の活動の参考とする。</li> <li>・運営委員で他フォーラムを視察する。</li> <li>・地域に広報紙を発行し、活動を知ってもらうと共に多くの方に興味やご協力を得られるようにする。</li> <li>・フォーラムを開催し、今までの活動発表等を行う。幅広い世代の方々に参加してもらおうよう募集をするとともに新たな地域福祉活動の担い手も募集する。</li> </ul>

## 平成29年度新規フォーラム一覧

新規設置数:5[基本:3 小域:2]  
累計設置数:355[基本:31 小域:324]

### 【基本地域福祉フォーラム】

No.	地域	事務局	交付決定日	交付決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	千葉市	千葉市社会福祉協議会	H29.8.1	550千円	千葉市の第3次地域福祉活動実施計画(平成30年度～32年度)の策定及び推進を図る為に委員会を設置し、「共に手を携える福祉社会の実現」に向けて地域福祉を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;1年目&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動実施計画推進委員会を設置し、地域福祉を推進するための総合的な視点で、実施計画の策定に関する事項について協議する。</li> <li>・策定した第3次地域福祉活動実施計画(平成30年度～32年度)を冊子にし、地域関係者に配布し、周知する。</li> </ul> </li> <li>&lt;2年目&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次地域福祉活動実施計画を推進する。</li> <li>・地域福祉活動実施計画推進委員会を開催し、計画の進捗状況を報告する。これにより、委員会の意見を踏まえながら進行管理を行い、計画を推進していく。</li> </ul> </li> </ul>
2	鋸南町	鋸南町社会福祉協議会	H29.8.1	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、町民の日常生活に密着した意見を吸い上げることで、地域での支え合い、助け合いを基盤とした「誰もが安心して暮らせる町」づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;1年目&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区懇話会の実施。</li> <li>・フォーラム設置に関する研修会への参加。</li> <li>・先進地域の視察。</li> </ul> </li> <li>&lt;2年目&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区懇話会の継続実施。</li> <li>・各地区の協議内容を集約し、全体連絡会(仮称)を設置する。</li> <li>・地区及び全体の協議内容を町民にフィードバックする。</li> <li>・地域福祉活動の担い手を募集(発掘)し、総合事業に繋げる。</li> </ul> </li> </ul>
3	四街道市	四街道市社会福祉協議会	H29.4.5	120千円	地域福祉フォーラムを設置し、四街道市の地域づくり等を検討し、四街道市の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;1年目&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内6地区社協を対象に「向こう3軒両隣プロジェクト」と題し、介護予防・日常生活支援総合事業と連携したこれからの地域づくりをテーマに研修会(全6回)を開催する。</li> </ul> </li> <li>&lt;2・3年目&gt;「向こう3軒両隣プロジェクト」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度での研修会で話された内容をもとに、各地区で地域の生活課題解決に向け、協議体等と連携し、地区社協を中心として既存の事業で支援が行き届いていなかった部分への地域福祉活動の充実を図る。</li> <li>・地区社協を中心とした会議を開催。</li> <li>・生活課題(福祉ニーズ)の洗い出し。</li> <li>・課題解決に向けた取り組み、活動の検討。</li> <li>・新たなボランティア及び地区社協活動者の発掘・養成</li> <li>・地区社協を中心とした新たな地域福祉活動の展開</li> </ul> </li> </ul>

### 【小域地域福祉フォーラム】

	地域	事務局	交付決定日	交付決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	千葉市 弥生地区	千葉市社会福祉協議会 弥生地区部会	H29.8.1	45千円	地域福祉フォーラムを設置し、弥生地区の地域課題を把握するとともに、地域づくり等について検討し、弥生地域の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;1年目&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会の中に地域福祉フォーラム実行委員会を組織する。</li> <li>・地域福祉フォーラムのあり方について勉強会を開催する。</li> <li>・「守ろう 子ども つくろう 安心・安全のまち」を合言葉に、弥生小学校区セーフティネット(地区部会・小学校・PTA・自治会・青少年育成委員会・民生委員)を立ち上げる。</li> </ul> </li> <li>&lt;次年度以降&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に実行委員会を開催し、前年度の取り組みを継続する。問題点等を整理し、更なる内容の充実を目指す。</li> <li>・地域福祉フォーラムを開催し、小学校区エリアの問題・課題等について協議する。</li> <li>・地域で求められているサービスや課題等を把握するため、小学校保護者や地域住民等を対象に、地域の課題等に関するアンケート調査を実施する。</li> <li>・地域福祉フォーラムで挙がった課題等について取り上げ、外部から講師を招き、講演会もしくは勉強会を実施する。</li> </ul> </li> </ul>
2	船橋市 葛飾地区	葛飾地区社会福祉協議会	H29.12.7	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、葛飾地区の地域づくりを検討し活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;1年目&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉フォーラムを推進するにあたり、地区社協に生活支援協議会を組織する。</li> <li>・地域住民に対して、独りぐらし高齢者等への見守り支援ボランティアを募集し、生活支援サービス全般の提供へ向けての足掛かりとする。</li> <li>・今年度、スタートした葛飾地区社協活動拠点を、地域福祉フォーラム推進拠点として有効活用されるように整備する。</li> <li>・地域の有志(団体・個人)が参加する生活支援事業推進フォーラムを開催する。</li> </ul> </li> <li>&lt;2年目&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉フォーラムを推進するために、生活支援協議会を開催する。</li> <li>・地域の有志(個人・団体)が参加する生活支援事業推進フォーラムを開催する。</li> <li>・単身高齢者等への電話・訪問見守り支援を行なうのと同時に生活上の困りごとなど、福祉サービスニーズ調査を行う。</li> <li>・無償、有償のボランティアを育成し、要支援者とのマッチングが有効に行われるようにする。</li> <li>・最終年度は、地域住民相互のたすけあいが、住民相互の話し合いのもと将来的に継続していけるよう体制を整える。</li> </ul> </li> </ul>

## 平成28年度新規フォーラム一覧

新規設置数:21[基本:2 小域:5]  
累計設置数:350[基本:28 小域:322]

### 【基本地域福祉フォーラム】

No.	地域	事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	旭市	旭市社協	H28.11.10	550千円	地域福祉フォーラムで旭市の地域福祉について検討し、地域福祉活動計画を策定する。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3次地域福祉活動計画策定委員会を組織する。</li> <li>計画の内容を検討するため、関連資料・データ等の収集分析を行う。</li> <li>策定委員会を開催し、現行計画の評価を行うとともに、計画(案)の検討を行う。</li> <li>住民の地域福祉ニーズを把握し、地域課題を取りまとめ、計画(案)の作成及び修正を行う。</li> <li>策定委員会の開催にかかる事務局体制を整備する。</li> <li>策定委員会の開催に必要な消耗品や不足しているパソコン、パワーポイント等備品を購入する。</li> </ul> <p>&lt;2年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇計画策定後</li> <li>第3次地域福祉活動計画のPRを行うとともに、住民相互の互助活動への参加を促す。</li> </ul>
2	九十九里町	九十九里町社協	H28.7.6	200千円	基本フォーラムを設置することによって、広く地域福祉についての意見を吸い上げ、地域福祉活動計画の策定につなげることを目的とする。	<p>地域福祉フォーラムを設置することにより地域課題の解決に向けて、地域住民や様々な団体が連携し、取り組みが行えるよう会議やイベントを行い、現在の社会構造下でのたすけあいの仕組みをつくり、地域福祉の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初年度は、地域福祉フォーラムと称して「今、なぜ地域なのか？」をテーマとして講演会を開催し、地域福祉の必要性を再認識していただく機会とする。また、アンケートを作成し、本会が行う様々な行事にてインタビュー形式の調査を実施し、広く住民の声を集めていく。</li> </ul> <p>&lt;2年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初年度に実施している「アンケート調査」を引き続き行い、住民の方々の声をさらに集めるように努めていく、地域福祉活動計画策定委員会を開催し、これまで蓄積した住民の声を基に協議・検討していただき、地域福祉活動計画の策定に向け、推進する。</li> </ul> <p>&lt;3年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年目に引き続き地域福祉活動計画策定委員会を開催し、協議・検討していただき、地域福祉活動計画を策定する。</li> </ul> <p>なお、本事業の助成終了後は、同時に福祉教育推進団体の指定も終了するので、学校関係を「基本福祉フォーラム」に編入し、さらに枠を広げた形で継続して活動を行いたい。</p>

### 【小域地域福祉フォーラム】

No.	地域	事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	市川市 行徳地区	行徳地区社協	H28.12.6	50千円	地域フォーラムを設置し、行徳地区の地域づくり等を検討し、行徳地区の活性化を図る。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画会議の実施 福祉まつりの実施に向け、企画会議を実施する。</li> <li>福祉まつりの実施 行徳地区の子どもから高齢者、障がいの有無を問わず全ての住民を対象に、参加することにより楽しみながら学べる「福祉まつり」を開催する。</li> <li>フォーラムの開催(地域ケアシステム推進連絡会の実施) 地域の課題などを、住民、行政、関係機関が一堂に会し、解決に向け、情報交換などを行う連絡会を定期的に開催する。</li> </ul> <p>&lt;2年目以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉まつりの充実 スタッフの組織強化を図り、広報活動を積極的に行い、地域の交流・活性化・社会参加を促し、安心で済みやすい地域づくりの推進を図る。</li> <li>フォーラムの開催(地域ケアシステム推進連絡会の充実) 地域の課題などを、住民、行政、関係機関が一堂に会し、解決に向け、情報交換などを行う連絡会を定期的に開催し、更なる充実を図る。</li> <li>第3期、第4期市川市地域福祉計画、市川市社会福祉協議会地域福祉活動計画に基づく活動の実施、計画、検討をしていく。</li> </ul>
2	柏市 大津ヶ丘・塚崎地区	大津ヶ丘・塚崎地区社協	H28.4.5	100千円	地域フォーラムを設置し、大津ヶ丘・塚崎地区の、子供たちに伝統的な遊びを教え、地域社会の活性化を図る。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協の中に地域フォーラム検討委員会を組織する。</li> <li>地域福祉フォーラムのあり方について勉強会を開催する。</li> <li>地域の各団体に参加を呼びかけ、実行委員会を組織する。</li> <li>地域住民に対して、フォーラムへの参加の意向、フォーラムへ期待すること、フォーラムで検討すること等を把握するために、地域内世帯にアンケート調査をする。</li> <li>アンケートの結果を基に、地域の様々な団体・個人が参加する地域福祉フォーラムを開催する。</li> </ul> <p>&lt;2年目以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会を開催する。</li> <li>実行委員会の中に専門部会を設置する。 教える側の人材を確保するための部会・子供達との交流をするための部会</li> <li>地域フォーラムを開催する。</li> <li>2年目は次年度以降の実施に向けて人材の確保、養成を行うため地域の住民に、アンケート、募集等を行う。</li> <li>人材育成をするために、各種研修会を行う。</li> <li>会場の確保・人集めの為に各種団体と協議を行う。</li> </ul>

3	柏市	高田松ヶ崎地域	柏市高田ふるさと協議会	H28.8.4	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、高田・松ヶ崎地域における福祉教育の更なる充実、災害時に対応できる防災ネットワークの構築等を検討し地域活動の活性化を図る。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高田地区ふるさと教育連絡会の開催(年3回)</li> <li>・福祉教育事業の展開</li> <li>・高田地域ふれあい文化祭、ふれあいスポーツの集い、高齢者と児童のふれあい給食会、子育てサロンにおける児童・生徒と子育て家庭の交流</li> <li>・防犯・防災事業の展開</li> <li>・青色防犯パトロールの実施、柏市防災安全課との意見交換会の開催</li> <li>・先進地域の視察研修の実施</li> <li>・地区懇談会(フォーラム)の開催</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高田地区ふるさと教育連絡会の開催(年3回)</li> <li>・福祉教育事業の展開</li> <li>・高田地域ふれあい文化祭、ふれあいスポーツの集い、高齢者と児童のふれあい給食会、子育てサロンにおける児童・生徒と子育て家庭の交流、ボランティア、キャリア教育に関する連携体制の構築</li> <li>・防犯・防災事業の展開</li> <li>・青色防犯パトロールの実施、柏市防災安全課との意見交換会の開催、避難所、避難場所マップ(町会・学校単位の整理)、各町会に対し、避難所マップの配布</li> <li>・地区懇談会(フォーラム)の開催</li> </ul>
4	芝山町	岩山地区	岩山地区社協	H28.12.6	300千円	地域フォーラムを設置し、岩山地区の地域づくり等を検討し、岩山地区の活性化を図る。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌の発行</li> <li>・地域福祉フォーラムを実施するにあたり、催しの告知や実施内容等をお知らせする。地域福祉活動や地域福祉フォーラムの実施状況を広報することにより、地域での理解が深まるよう努める。</li> <li>・地域座談会の開催</li> <li>・岩山地区社会福祉協議会が中心となり、地域の福祉課題について話し合う。また話し合いで出た課題について、どう取り組むかについての話し合い(地域座談会)を、広く参加者を募り開催する。</li> </ul> <p>&lt;2年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌の発行、地域座談会の実施</li> <li>・平成28年度以降も、地区社協活動や地域福祉フォーラムの実施状況を広報し、地域の福祉課題の発見、解決に向けての活動を行う。</li> <li>・助成期間以降の取り組みについての検討</li> <li>・継続的な取り組みが必要な課題については、地域福祉フォーラム設置支援事業助成金が交付されなくなった後、どのように続けていくのかについても検討する。</li> </ul>
5	長南町	長南地区	長南地区社協	H28.7.5	200千円	地域福祉フォーラム(長南地区ふれあい懇談会)を設置し、地域内の住民が相互の交流を盛んにして、希薄になっている隣組の絆を深め、助け合いながら安心して生活できる地域社会づくりを進める。	<p>&lt;1年目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内に地区社協を中心として、地域福祉フォーラム「長南地区ふれあい懇談会」の推進委員会を組織する。</li> <li>・懇談会のあり方、活動について勉強会を開催する。</li> <li>・推進委員会のメンバーで、先駆的なフォーラムを視察する。</li> <li>・「長南地区ふれあい懇談会」の開催に向けて様々な広報活動を展開する。</li> <li>・「長南地区ふれあい懇談会」を開催して出された意見をもとに、個別事業の検討を行う専門部会を設置する。</li> </ul> <p>&lt;次年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員会を開催する。</li> <li>・多くの団体や個人との連携を深めていくために、組織の拡充を図る。</li> <li>・地域内の福祉ニーズを把握し、問題解決へ向けての勉強会を開催する。</li> <li>・「長南地区ふれあい懇談会」を開催する。地域の様々な団体・個人が参加することにより地域住民が福祉活動に理解を深め、新たな地域福祉活動の担い手を募集する。</li> <li>・「長南地区ふれあい懇談会」で出された意見をもとに専門部会を設置し様々な活動を展開する。</li> <li>・地域住民に対して「長南地区ふれあい懇談会」で検討するテーマ等を把握する為の調査等を行う。</li> <li>・地域住民に対して理解、周知を促す為の広報活動を展開する。</li> </ul>

平成27年度新規フォーラム一覧

【基本地域福祉フォーラム】

新規設置数:21[基本:1 小域:20]  
累計設置数:343[基本:26 小域:317]

	地域	事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	我孫子市	我孫子市社協	H27.12.9	200千円	地域福祉の推進を図る為に、主要な構成団体による協議体(策定委員会)を設置し、当該事業の評価並びに地域のニーズ調査を行い、平29年度から実施する「第5次地域福祉活動計画」を検討する。	(1年目) ①第5次地域福祉活動計画策定委員会を設置 第5次地域福祉活動計画(平成29年度～平成33年度)の策定に向けて、協議体(策定委員会)を設置し、計画策定の内容を検討し、策定過程の運営を管理する。 1年目は、2回開催し、2年目に当初に行う予定の住民アンケート調査を中心に検討していく。 (2年目) ①第5次地域福祉活動計画策定委員会(4回) 引き続き、計画の検討及び管理を行う。 ②住民アンケートの実施 第3次計画・第4次計画策定時に行った住民アンケート調査と比較し、当該事業の評価を行うと共に、住民の地域福祉ニーズを把握する。 ③地区社協における中長期計画の検討 地域懇談会等により地区ごとの住民の地域福祉ニーズを把握し、地域の実情に沿った中長期計画の検討・策定を行う。 ④合わせて、我孫子市社協発展計画の検討・策定を行う。 (3年目)策定後 ①第5次地域福祉活動計画のPRを行うと共に、住民相互の互助活動への参加を促す。計画書及びパンフレットを作成し、住民への周知を行う。 ②計画の評価を行い、住民に計画推進状況などの報告を行う。

【小域地域福祉フォーラム】

	地域	事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
2	佐倉市 うすい東地区	うすい東地区社協	H27.5.14	300千円	うすい東地区社協内において、有償による住民相互の支えあいのサービスを展開していく。そのため、地区内の自治会・町内会・区、高齢者クラブ、その他活動する団体等と連携し、サービス立ち上げのための検討と準備、実施を、フォーラムの設置をして取り組んで行く。	(1年目) ①具体的な内容としては、センター長他コーディネーターの選任、千葉県CSW養成研修への参加、拠点の借り上げと整備、アンケート調査、広報活動、サポーターと賛助会員の募集、サポーター研修をしていく中で、平成27年度10月までに「(仮称)支えあいサービス」の開設時期の見極めを行う。 (2年目以降) ①「(仮称)支えあいサービス」開設後、活動内容の評価と見直し、サポーター研修、広報活動、懇話会等の開催を予定していく。 ②同市内の他地区社協でも同様の活動が行われており、取り組んでいる地区社協が一堂に会しての情報・意見交換会への参加をしていく。
3	匝瑳市 匝瑳地区	匝瑳地区社協	H27.6.2	150千円	地域福祉フォーラムを設置し、匝瑳地区の地域づくり等を検討し、地域の活性化を図る。	(1年目) ①地区社協役員会を開催し、集積されている情報を基に、事業の具体化を進める。 ②役員等において、先駆的なフォーラムや地域の活性化に取り組む事例の視察研修を行う。 ③児童・保護者・学校及び地域住民が一堂に会した催しを開催する。 ④地区民に、情報提供を適宜行う。 (2年目以降) ①地区役員会を開催し、当該年度事業の具体化を進める。 ②福祉フォーラムを開催し、新たな地域づくりの担い手の確保を図る。 ③地域の活性化について、先駆的な取り組みを進める事例を視察することにより、役員並びに個々の意識の変革とやる気を醸成する。 ④児童・保護者・学校及び地域住民が一堂に会した催しを開催する。 ⑤安心安全な地域社会を構築するための一助として、防災意識の高揚等を図る事業を展開する。 ⑥地区民に、情報提供を適宜行う。 ⑦住み慣れたふるさとを大事に育てていく心を、一人でも多くの地区民に根付かせる。
4	君津市 上総地区	上総地区社協	H27.7.2	150千円	地域福祉フォーラムを設置し、上総地区(久留里中学校区・松丘中学校区・亀山中学校区)を「安心して暮らせる住みよい地域」とするため、自治会や商店・学校など、さまざまな団体及び機関と連携し、地域づくりのあり方や取り組みを話し合う。	(1年目) ①地区社協内に地域福祉フォーラム実行委員会を設置する。 ②地域住民の福祉意識と地域づくりへの取り組みについて、地域の団体や住民が集い、懇談会を開催する。 ③広報紙(福祉かずさ)を活用し、地域住民の福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 ④老人福祉施設と連携し、地域住民を対象とした介護体験等を通じ人材育成を行う。 (2年目以降) ①実行委員会を開催する。 ②自治会をはじめ、地域活動団体と民生委員やボランティアなどが連携した事業を行う。 ③広報紙(福祉かずさ)を活用し、地域住民の福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 ④老人福祉施設と連携し、地域住民を対象とした介護体験等を通じ人材育成を行う。



5	君津市	君津東地区	君津東地区社協	H27.7.2	150千円	地域福祉フォーラムを設置し、君津東地区(八重原中学校・周南中学校区)を「安心して暮らせる住みよい地域」とするため、自治会や商店・学校など、さまざまな団体及び機関と連携し、地域づくりのあり方や取り組みを話し合う。	(1年目) ①地区社協内に地域福祉フォーラム実行委員会を設置する。 ②実行委員をはじめとする地区社協の役員が、すでに実施している地区の取組みについて研修する。 ③地域住民の福祉意識と地域づくりへの取組みについて、地域の団体や住民が集い、懇談会を開催する。 ④広報紙(こだま)を活用し、住民へ福祉意識の啓発を行うとともに事業への参加を募る。 (2年目以降) ①実行委員会を開催する。 ②地域活動団体などが集い、情報の共有を図ることにより、連携して事業へ取組むとともに地域住民が活動に参加しやすい環境づくりを行う。 ③広報紙(こだま)を活用し、住民へ福祉意識の啓発を行うとともに事業への参加を募る。 ④高齢者の見守りや日常生活を隣近所で支援するシステムづくりに取り組む。 ⑤高齢者のサロン活動を通じて、事業への支援者を養成する。
6	君津市	中地区	君津中地区社協	H27.7.2	150千円	地域福祉フォーラムを設置し、君津中地区(君津中学校区)を「安心して暮らせる住みよい地域」とするため、さまざまな団体及び機関と連携し、地域づくりのあり方や取り組みを話し合う。また、広報紙等による啓発や事業による人材の育成・関係機関のネットワーク化を目指す。	(1年目) ①地区社協内に地域福祉フォーラム実行委員会を設置する。 ②実行委員をはじめとする地区社協の役員が、すでにフォーラムを実施した他市の地区社協を視察する。 ③地域住民の福祉意識と地域づくりへの取組みについて、地域の団体や住民が集い、懇談会を開催する。 ④広報紙(ほのぼの通信)を活用し、住民への福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 (2年目以降) ①実行委員会を開催する。 ②地域活動団体(地区社協・自治会・PTA・老人クラブなど)と相談員(民生委員児童委員や青少年相談員など)やボランティア(美化ボランティア・見守り隊など)などが集い、フォーラムを通じてニーズの把握を行う。 ③広報紙(ほのぼの通信)を活用し、住民への福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 ④地域活動団体や個人が連携し要援護者の見守りネットワークを構築するための話し合いの場を設ける。
7	君津市	西地区	君津西地区社協	H27.7.2	150千円	地域福祉フォーラムを設置し、君津西地区(周西中学校区)を「安心して暮らせる住みよい地域」とするため、自治会や商店・学校など、さまざまな団体及び機関と連携し、地域づくりのあり方や取り組みを話し合う。	(1年目) ①地区社協内に地域福祉フォーラム実行委員会を設置する。 ②実行委員をはじめとする地区社協の役員が、講師を招いて研修会を開催する。 ③地域住民に対し、福祉意識と事業に係るニーズ調査を実施する。 ④広報紙(のぞみ)を活用し、地域住民へ福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 (2年目以降) ①実行委員会を開催する。 ②地域活動団体(地区社協・自治会・PTA・老人クラブなど)、相談員(民生委員児童委員や青少年相談員など)、ボランティア(美化ボランティア・見守り隊など)などが集い、地域づくりについての研修会を開催する。 ③広報紙(のぞみ)を活用し、住民への福祉意識の啓発と事業への参加を募る。 ④安心・安全な地域づくりに向けたボランティアの養成とボランティア活動の活性化を図る。 ⑤高齢者のサロン活動を通じて、高齢者の孤立予防と事業への支援者を養成する。
8	君津市	南地区	君津南地区社協	H27.7.2	150千円	地域福祉フォーラムを設置し、君津南地区(周西南中学校区)を「安心して暮らせる住みよい地域」とするため、自治会や商店・学校など、さまざまな団体及び機関と連携し、地域づくりのあり方や取り組みを話し合う。	(1年目) ①地区社協内に地域福祉フォーラム実行委員会を設置する。 ②地域活動団体が集まり、相互に連携できるような仕組みづくりを話し合う。 ③実行委員をはじめとする地区社協の役員が、地域づくりについての研修を行う。 ④広報紙(南地区社協だより)を活用し、地域住民へ福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 (2年目以降) ①実行委員会を開催する。 ②実行委員をはじめとする地区社協の役員が、地域づくりについての研修を継続し行う。 ③広報紙(南地区社協だより)を活用し、地域住民へ福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 ④高齢者サロン活動を通じて、高齢者の孤立予防と事業への支援者を養成する。 ⑤安心・安全な地域づくりに向けたボランティアの養成とボランティア活動の活性化を図る。
9	君津市	小櫃地区	小櫃地区社協	H27.7.2	150千円	地域福祉フォーラムを設置し、小櫃地区(小櫃中学校区)を「安心して暮らせる住みよい地域」とするため、自治会や商店・学校など、さまざまな団体及び機関と連携し、地域づくりのあり方や取り組みを話し合う。	(1年目) ①地区社協内に地域福祉フォーラム実行委員会を設置する。 ②事務所を活用し、地域住民の福祉ニーズの把握を行う。 ③広く住民に呼びかけ、福祉人材育成のための体験学習を開催する。 ④地域団体と協力し、ひとり暮らし高齢者宅への訪問活動を行う。 ⑤広報紙(福祉おびつ)を活用し、地域住民へ福祉意識の啓発を行うとともに事業への参加を募る。 (2年目以降) ①実行委員会を開催する。 ②事務所を活用し、地域住民の福祉ニーズの把握を行う。 ③地域活動団体と懇談会を開催する。 ④地域団体と協力し、ひとり暮らし高齢者宅への訪問活動を行う。 ⑤広報紙(福祉おびつ)を活用し、地域住民へ福祉意識の啓発を行うとともに事業への参加を募る。
10	君津市	清和地区	清和地区社協	H27.7.2	150千円	地域福祉フォーラムを設置し、清和地区(清和中学校区)を「安心して暮らせる住みよい地域」とするため、自治会や商店・学校など、さまざまな団体及び機関と連携し、地域づくりのあり方や取り組みを話し合う。	(1年目) ①地区社協内に地域福祉フォーラム実行委員会を設置する。 ②住民を対象にした福祉に関するニーズ調査のための会議を行い、調査を実施する。 ③事務所の体制を整備する。 ④広報紙(ふれあい清和)を活用し、地域住民の福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 (2年目以降) ①実行委員会を開催する。 ②地域活動団体(地区社協・自治会・PTA・老人クラブなど)と相談員(民生委員児童委員や青少年相談員など)やボランティア(スクールボランティアなど)などが集い、関係づくりと地域づくりについて懇談会・フォーラムを開催し話し合う。 ③広報紙(ふれあい清和)を活用し、地域住民の福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 ④多世代が参加するイベント等で交流を深め、助けあいや地域を支える人材の育成を図る。 ⑤地域活動団体や個人が連携し、生活支援のネットワークを構築する。

11	君津市	小糸地区	小糸地区社協	H27.7.2	150千円	地域福祉フォーラムを設置し、小糸地区(小糸中学校区)を「安心して暮らせる住みよい地域」とするため、自治会や商店・学校など、さまざまな団体及び機関と連携し、地域づくりのあり方や取り組みを話し合う。また、広報紙等による啓発や事業による人材の育成・関係機関のネットワーク化を目指す。	(1年目) ①地区社協内に地域福祉フォーラム実行委員会を設置する。 ②実行委員をはじめ地区社協の役員が、講師を招いて研修する。 ③地域の児童と高齢者の交流の事業を行う。 ④広報紙(ふくし小糸)を活用し、地域住民の福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 (2年目以降) ①実行委員会を開催する。 ②高齢者の見守り・日常生活の支援体制づくりに向けて、地域活動団体やボランティアなどが集い、研修会を行う。 ③広報紙(ふくし小糸)を活用し、地域住民の福祉意識の啓発を行うとともに、事業への参加を募る。 ④住民懇談会を開催し、住民のニーズを把握する。
12	佐倉市	西志津地区	西志津地区社協	H27.7.2	200千円	西志津地区社協が実施する日常生活支援事業「ふれあいサービス絆」を有償サービスで実施する。この事業を通じて地区内の自治会町内会、その他活動団体と連携しながら、支えあい、助けあう顔の見える地域社会を作る。	(1年目) 平成27年4月1日から福祉委員会の承認の基に、日常生活支援事業を有償サービスとして「ふれあいサービス絆」を開始する。佐倉市社協や他地区社協との情報・意見交換を行い、又地区内の自治会、町内会その他活動団体と連携しながら、この事業を運営していく。 1 実施体制 (1)西志津地区社協の一事業部とする。役員は事業部長、副事業部長、会計各1名とし他数名の事業部員。主な事業所は上志津1区集会所の事務室(週2回午前中借用) (2)平成27年9月末頃まで準備期間とし、協力会員、利用会員、賛助会員の募集と協力会員の研修を行い、10月初旬からサービスを開始する。 2 会員(利用会員・協力会員) (1)利用会員:当面は原則として地域内の高齢者を対象として募集する。 (2)協力会員:各福祉委員の協力を得て、男女幅広く募集する。 (2年目以降) 平成27年度の実績に基づき、「ふれあいサービス絆」のアンケート等の実施により活動内容の評価と見直しを行い、サポーター研修、広報活動、懇談会等の開催を予定している。 初年度同様に、佐倉市社協や他地区社協との情報・意見交換をしながら、又地区内の自治会、町内会その他活動団体と連携して、より充実した運営を行っていく。
13	市川市	宮久保・下貝塚地区	宮久保・下貝塚地区社協	H27.8.5	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、宮久保・下貝塚地区の地域づくり等を検討し、宮久保・下貝塚地区の活性化を図る。	(1年目) 【27年度事業計画】 ①市川市地域福祉計画の基本理念「誰もが自らも参画し安心して暮らし続けることのできる地域づくり」の実現に向けて、住民が創る「福祉コミュニティ」の推進を図る。 ②多くの住民が参加をし、お互いを知り合える地域活動を行う「お互いさま運動」の推進 ③活動情報の共有化とPRによる参加意識(行動、理解と協力)の高揚 ④地域活動の促進と社協との協働による地域生活者への貢献を図る。 ⑤「仕組み」と「システム」の整備による「活動目的」の浸透「活動内容」の充実を図る。 【お互いさま広場・重点施策】～3カ年計画～ ①地域福祉事業の活動を「パネル」にて紹介し参加者との様々な「地域福祉課題」や「生活課題」の情報交換を行い、地域社会のつながりを強化する。 ②「健康」をテーマにした口腔ケア、健康相談、福祉器具展示等を通じて健康に関する様々な「健康課題」についての情報交換を行い地域社会のつながりを強化する。 ③地域住民参加のパネルステージを設けて、作品展示を図り「地域住民参加」の交流を促進する。 ④関係機関、団体による「福祉相談コーナー」を設け福祉に関する課題の発見に努める。 ⑤「災害に対する備え」地域自主防災の啓蒙として「消防消化体験」「防災体験学習」を行い、地域の「安全・安心」「減災」活動に貢献する。 (2年目以降) ①27年度「お互いさま広場・重点施策」実施後の検証 ②重点施策の課題と解決策の検討 ③地域福祉課題の発見と解決方法の模索 ④参加者の意見の集約と次年度への取り組み課題 ⑤28年度の重点施策の構築
14	佐倉市	内郷地区	内郷地区社協	H27.8.5	200千円	軽度認知機能障害を正しく理解し、地域全体で認知症予防運動を展開する。また認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを図る。	(1年目) ①内郷地区社協が主体となり、ボランティアグループ等を取り込んだ地域福祉フォーラム実行委員会を組織する。 ②認知症発症予防活動の先駆的研究者を招き、講演会を開催する。併せて、地域活動へのアドバイスを受ける。 ③官民産学の多様な組織と連携しての活動を目指す。 ④コミュニティ全体でMCI軽度認知機能障害への理解を高める啓発活動を始め認知症発症予防に繋げる。 ⑤民生・児童委員、自治会代表者、小中学校PTA代表、介護予防リーダーなど広く地域から協力者を募り、地域の現状を把握する。 ⑥次年度以降の展開に向け、地域リーダー養成のための準備に取り掛かる。 ⑦内郷地区社協および佐倉地域包括支援センターのネットワークを利用し、広報活動に努める。 (2年目以降) ①地域福祉フォーラム実行委員会メンバーで具体的事業を検討、実施する。 ②介護予防、認知症予防活動のリーダー養成講座への積極的参加 ③コミュニティ全体での認知症予防の取り組みの効果を検証するため佐倉市や佐倉地域包括支援センター、印旛地域リハビリテーション広域支援センター等の協力により「脳とからだの健康チェック」を実施する。 ④元気な中高年齢者や身体機能低下の危険性のある高齢者が一緒に活動できる場づくりを行う。 ⑤併せて、地域リーダーを中心に住民主体の「運動機能向上と認知症予防のためのプログラム」の実施を支援する。 ⑥MCI、認知症への理解を深める学習会、講演会を企画する。 ⑦たとえ認知症になっても安心して暮らせる地域にするために、世代や地域を越えて支え合う地域づくりを図る。 ⑧旧来から続く地域コミュニティを大切に、地域内の見守りの力が維持できるように地域福祉フォーラムはサポートする。

15	旭市	広原地区	広原地区社協	H27.10.6	150千円	広原地区の地域づくり等を検討するため、地域福祉フォーラムを設置し、広原地域のコミュニティの活性化を図る。	(1年目) ①地区社協の中に地域福祉フォーラム実行委員会を組織する。 ②「出あい・支えあい・地域あい♡」をテーマとして開催する。 ③関係団体及び個人、実行委員会が出た意見を集約し、具体的行動について協議する。 ④多くの団体や個人が地域福祉フォーラムに積極的に参加し、更なる組織体制の充実を図ることができるよう周知していく。 ⑤地域福祉フォーラムを開催する。 ⑥地域福祉フォーラムの反省・結果をもとに意見を集約し、次回の具体的行動について協議する。 (2年目以降) ①「出あい・支えあい・地域あい♡」をテーマに実行委員会を継続して開催する。 ②テーマについての理解を深め、さらに役員相互・関係機関の協力を求める。 ③地域福祉フォーラムを開催する。 ④地域福祉フォーラムの反省・結果をもとに意見を集約し、次回の具体的行動について協議する。
16	長南町	西地区	西地区社協	H27.10.6	100千円	地域福祉フォーラム(西地区いい街つくろう懇話会)を設置し、地区内の住民が相互の交流を盛んにして、希薄になっている隣組の絆を深め、助け合いながら安心して生活できる地域社会づくりを進める。	(1年目) ①地区内に、地区社協を中心として、地域福祉フォーラム「西地区いい街つくろう懇話会」の推進委員会を組織する。 ②アンケート調査の方法及び懇話会のあり方、活動について勉強会を開催する。 ③地区内の災害時の避難救助のあり方、日頃からの顔見知りの関係づくりを検討し、体制づくりを推進する。 (2年目以降) ①推進委員会を開催する。 ②地域住民に対し、地域で不足するサービスや福祉課題について、地区内各世帯にアンケート調査を実施し、個別事案について検討を行う。 ③多くの団体や個人との連携を深めていくために、組織の拡充を図る。 ④地域の福祉ニーズを把握し、問題解決へ向けての勉強会を開催する。 ⑤「西地区いい街つくろう懇話会」を開催し、地域住民がより多く参加することにより、福祉活動に理解を深め、新たな地域福祉活動の担い手を募集する。 ⑥地区内の災害時の避難救助のあり方、日頃からの顔見知りの関係づくりを強化し、防災を通じての地域づくりを推進する。
17	旭市	旭嚶鳴地区	嚶鳴地区社協	H27.11.5	100千円	旭嚶鳴地区の地域づくり等を検討するため、地域福祉フォーラムを設置し、旭嚶鳴地域のコミュニティの活性化を図る。	(1年目) ①旭嚶鳴地区(江ヶ崎・琴田地区)社協を中心に、旭嚶鳴地区地域福祉フォーラム実行委員会を組織する。 ②実行委員会委員により、先駆的な地域(海上地域)のフォーラムを視察する。 ③地域福祉フォーラムについて、テーマを「安心して暮らせる地域づくりの為に」に定めて、勉強会を開催する。 ④勉強会を開催した後、各種団体(区会、民生委員会、保健推進委員会、老人クラブ会、子供会等)において地域における問題点等を集約し解決に向けた方策を検討した後、地域福祉フォーラムを計画する。 ⑤実行委員会により、地域の問題点について、改善・改革の方法を提議して、地域の様々な団体・個人が参加する地域福祉フォーラムを開催する。 (2年目以降) ①実行委員会を適時に開催する。 ②テーマ「安心して暮らせる地域づくりの為に」に基づき、地域福祉フォーラムから出された意見等を実行委員会において2年目以降も目標達成のため討論し、必要によっては専門的な検討会議も開催する。 ③実行委員会において、地域福祉フォーラムを計画し、開催する。 ④専門的な部会を設けて、検討結果をフォーラムにおいて報告する。 ⑤新たな地域福祉の担い手の募集や、活動方法等について、話し合いをする。 ⑥地域福祉等の課題解決に向けて、より多くの住民から意見を聞き、多くの住民の参加により、多くの知恵を出し合い、次年度以降もこの地域が、より良い新しい地域を目指すための指針を策定できるような話し合いをする。 ⑦最終年度は、旭嚶鳴地区地域福祉フォーラムにおいて、実施した事業の検証と解決の困難な課題について、目標を達成する努力をすものとし、それ以降も残された事業の課題解決に向けて継続して活動する。
18	匝瑳市	豊和地区	豊和地区社協	H27.11.5	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、豊和地区の地域づくり等を検討し、地域の活性化を図る。	(1年目) ①役員会を開催し、地域にある各種団体と協議し、事業への参画を促し地域福祉フォーラムを進める。 ②高齢者の健康増進や引きこもり予防として小域でサロン活動を実施し、日常からの見守り活動やニーズ把握を実施する。 ③豊和地区社協の活動をPRするために、地区社協の帽子とベストを作成する。 ④今後の高齢化社会を見越し、地域福祉の担い手を養成する。 (2年目以降) ①役員会を開催し、地域にある各種団体と協議し、事業への参画を促し地域福祉フォーラムを進める。 ②高齢者の健康増進や引きこもり予防として小域でサロン活動を実施し、日常からの見守り活動やニーズ把握を実施する。 ③豊和地区社協の活動をPRするために、地区社協の帽子とベストを作成する。 ④今後の高齢化社会を見越し、地域福祉の担い手を養成する。 ※今年度の上記計画を基に、評価を行い区民のニーズに合わせた事業展開を図る。
19	佐倉市	根郷地区	根郷地区社協	H27.12.9	300千円	根郷地区社協では誰もが安心して暮らすことができる町づくりを目指し、日頃のちょっとした困りごとに対応した「支えあい活動」を展開していく。この事業は住民相互の支えあいサービスであり、立ち上げのための検討と準備・実施をフォーラムの設置により、取り組んでいきたい。また、この事業を通じてその他活動団体と連携しながら誰もが安心して暮らすことが出来る町づくりを目指す。	(1年目) 根郷地区社協では誰もが安心して暮らすことができる町づくりを目指し、日頃のちょっとした困りごとに対応する「支えあいサービス」を「ちょこっとサービス」として立ち上げていく。支えあい準備委員会を基盤に平成27年4月からは支えあい運営委員会を設置し、要項、利用会員のしおり、サポーターマニュアルなどの整備をしている。「ちょこっとサービス」立ち上げのための備品(パソコン、ファックス電話、チョッキなど)を整え、協力会員には研修会を開き、平成28年1月のサービス開始を目指している。南部包括支援センター、まちづくり協議会、ボランティア団体、自治会、町内会等関係機関との連携を行い、情報交換会を実施する。 (2年目以降) 「ちょこっとサービス」は、草とりや庭の水やり、窓ふき、ゴミ出しなど、日常生活の雑事や家事を中心に生活支援を行うサービスである。このサービスをさらに充実し、拡大していくために新たな協力会員、賛助会員、利用会員を募り、設備を整え、研修会(協力会員)を行ったり、他地区社協との交流会を行い、ポスターやパンフレットの配布、各地域でのPRをしていく。 南部包括支援センター、まちづくり協議会、ボランティア団体、自治会、町内会、地区内の施設との情報交換会、意見交換会を通して、住みやすい地域づくりの為にちょこっとサービス(支えあいサービス)を実施していく。

20	栢市	風早北部地区	風早北部地区社協	H27.12.9	250千円	地域福祉フォーラムを設置し、風早北部地区の地域づくり等を検討し、風早北部地域の活性化を図る。	<p>(1年目)</p> <p>①地区社協の中に地域福祉フォーラム設置に向けた関係団体会議を組織し、先駆的な他地区社協等のフォーラムでの活動内容等について検証する。</p> <p>②今後の地区社協の役割や期待像などに関するアンケート調査を、地区内の全世帯を対象として実施するための調査内容等の検討を行い調査項目を決定する。</p> <p>③事務局体制を整備するため、パソコンを更新(現在のXPモデルから新型(USBリンク式)に変更)し、同時にUSBリンク型印刷機へ変更し、事務局と周辺とのOA環境を整合させ、情報伝達の円滑化を図る。</p> <p>(2年目以降)</p> <p>①今後の地区社協の役割や期待像などに関するアンケート調査を、地区内の全世帯を対象として実施し、その結果を集計し、その内容をもとに、本地区社協が、今後推進するための課題等を抽出し、実行委員会での検討課題に加え、審議・協議する。</p> <p>②地区内の関係団体により「関係者会議」を開催し、開催趣旨の承認(賛同)を得て、「風早北部地域福祉フォーラム実行委員会」に移行する。</p> <p>③同時に、地域福祉フォーラム設置支援事業費の一部を活用し、広報紙を、これまでの簡易印刷機による発行から外部印刷方式に試験的に移行し、写真製版等の精度を高め、情報提供の向上を図り、もっと「より親しまれる広報紙」発行に期する。</p> <p>④アンケート調査結果と地域福祉フォーラム実行委員会での審議・協議結果に基づき決定した成果の継承を行い、今後の地区社協活動の指針とする。</p> <p>⑤本地区社協が、現在課題として捉えている、①:地域福祉活動の将来像を実現するための地域内の関係団体との連携、②:更なる地域福祉活動支援者(ボランティア)の確保などの、今後の発展課題等を把握し、実践に向けた活動等に結びつけていく。</p>
21	長柄町	日吉・水上地区	日吉・水上地区社協	H27.12.9	200千円	日吉・水上地区住民が連帯と協働の精神で活動を展開し明るく、健康で永く住み慣れた地域に住み続けられる地域づくり推進のため、地域福祉フォーラムを設置する。	<p>(1年目)</p> <p>当地区社協は主に地区ボランティア、民生・児童委員およびその経験者を中心に組織されていて長柄町福祉センターを拠点にして、ゆうあい訪問やお楽しみ会やいきいきサロン、世代間交流事業などを展開していく。</p> <p>活動地域は高齢化が著しく、今後どのような活動を展開していき、多くの方が住み慣れた地域で暮らしていけるかを、地域住民を交えて考えていく座談会(フォーラム)を開催し、町部局・町社協などが実施した各種調査結果などの提供も受け、参考にしつつ地域の課題、隠れたニーズを汲み上げるとともに、地域の住民などの各種つながりを検証し、地域で地域を支える仕組みづくりを推進していく。</p> <p>(2年目以降)</p> <p>次年度は初年度の話し合いを踏まえて地域住民や地区の関係者のみならず、町内で活動する福祉団体、行政関係者など多様な関係者の参加を要請し、座談会や研修会を実施し課題やニーズの把握や明確化を図る方法を関係者が習得するとともに、高齢化が著しい地域の支え合い推進するとともに、福祉は高齢者のみが対象ではないという認識のもと、地域の児童・生徒、障害者なども含めた包括的な地域福祉のあり方を更に話し合ってきた。</p> <p>最終年度はこれまでの検討を踏まえ、担い手確保や持続可能な仕組みづくりを見据えた地域の話し合いの場として更にフォーラムを発展させていき、事業が終了してもこうした取り組みを継続できる場とさせたい。</p>

平成26年度新規フォーラム一覧

設置数:332[基本:25 小域:297]※平成26年12月末現在

	地域	事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	神崎町	神崎町社協	H26.9.5	300千円	町における生活課題の解決に向けて、住民ニーズを把握し、生活を支援する方策を検討すべく地域福祉フォーラムを設置し、地域におけるサポート体制の構築を目指す。	(1年目) ①神崎町社協に地域福祉フォーラム実行委員会を組織する。 ②実行委員会内に、大学教授、民間企業、社協専門職等で構成する専門部会を設置する。 ③地域福祉フォーラムのあり方について勉強会を開催するとともに、地域生活支援事業の先進地を視察する。 ④住民の生活支援や見守りを地域ぐるみでサポートできる体制を検討するにあたり、高齢者が抱える生活課題及び将来の不安要素などの調査を行う。 ⑤専門部会において調査結果を集計・分析し、実行委員会に報告するとともに調査報告書を作成する。 ⑥実行委員会において、第6期神崎町保険計画・老人福祉計画策定の資料として作成する。 ⑦調査報告書をもとに、地域の様々な団体・個人が参加する1次地域福祉フォーラムを開催する。 (2年目以降) ①専門部会において調査報告書に示された地域生活ニーズや、それによる課題、前年の地域福祉フォーラムで出た意見等を再検証するとともに、個別事例などから検討する。その結果を実行委員会へ報告し、住民の生活支援や見守りを地域ぐるみでサポートできる体制「地域生活支援システム」を検討する。 ②実行委員会を開催し、専門部会で検討された内容について協議し、町担当部局と意見交換を実施する。 ③「地域生活支援システム」構築に向けた説明会を、2次地域福祉フォーラムを開催に併せて実施する。 ④2次地域福祉フォーラムでの意見などを踏まえ、「地域生活支援システム」の試験運用開始に向け、協議、検討する。 ⑤「地域生活支援システム」の説明・意見交換と試験運用にかかるボランティア募集の3次地域福祉フォーラムを開催する。 ⑥実行委員会において、地域福祉フォーラム実施による報告書を作成する。
2	習志野市 香澄地区	習志野市社協 香澄支部	H26.4.4	400千円	地域福祉懇談会の中で、住民同士の支え合いをさらに発展させるための話し合いや、習志野市が推進する「てんとむし体操」などを取り入れながら、生涯にわたっていきいきと安心して暮らせる支え合いのある健康なまちづくりを目指す。	(1年目) ①地区内の関係団体と意見交換会を開き、今後の地域福祉フォーラムの進め方について協議をする。 ②地域福祉懇談会を開催し、「習志野市健康なまちづくり条例」や「てんとむし体操」について理解を深める。 ③香澄地区の住民が生涯にわたっていきいきと安心して生活するために、住民として何が出来るかを協議する。 ④健康なまちづくりの第1歩として、てんとむし体操を実施する。 ⑤てんとむし体操実施に向け、市健康支援課や関係団体とも連携し、立ち上げ準備を進める。 (2年目以降) ・定期的に意見交換会を開催し、地域福祉フォーラムの進め方について意志の疎通を図る。
3	習志野市 東習志野地区	習志野市社協 東習志野支部	H26.6.3	200千円	地域全体の防災体制の強化を目的として地域福祉フォーラムを開催し、これまで各々行っている自主防災組織活動や防災倉庫等の活動資源を集約し、地域住民の安全・安心して暮らせるまちづくりを推進する。	(1年目) ①地区内の関係団体と意見交換会を開き、今後の地域福祉フォーラムの進め方について協議をする。 ②防災対策連絡会議(仮称)の立ち上げ準備を進める。 ③地域福祉懇談会を開催し、講師を招き、防災についての最新情報を学んだり、地域の防災について理解を深め、この地域の防災体制について協議をする。 ④各町会が行う防災訓練、市が行う総合防災訓練に参加する。 (2年目以降) ①定期的に防災対策連絡会議(仮称)を開催し、地域福祉フォーラムの進め方について意志の疎通を図る。 ②各町会が行う防災訓練、市が行う総合防災訓練に引き続き参加する。
4	習志野市 屋敷地区	習志野市社協 屋敷支部	H26.6.3	200千円	「高齢者・障がい者・子どもたちが安心して暮らせる地域づくり」の具体的な取り組みについて考え、そのために必要なまちづくりの先進地の視察やまちづくりについて考える講演会を企画し、地域住民が一体となって目標とする地域を作り上げていく機運を高め、自助、共助のネットワークの構築につなげる。	(1年目) ①地区内の諸団体と協議し、実行委員会を組織する。 ②地域福祉フォーラムの進め方について、勉強会を開催する。 ③「高齢者・障がい者・子どもたちが安心して暮らせる地域づくり」に必要な多くの人の意見を聴取し、その具体的な取り組みについて考える地域福祉懇談会を開催。 ④地域にある諸団体や住民の参加を促しながら実行委員会を組織し、次年度以降の活動の具体案を作成する。 (2年目以降) ①定期的に実行委員会を開催し、意志の疎通を図る。 ②1年目に作成した具体案をもとに、まちづくりについて考える講演会の企画、注意喚起を促す看板の設置、協力体制を視覚化したマップの作成等について検討していく。 ③地域の自助、共助のネットワークの構築につなげていけるよう、地域福祉懇談会を開催する。 ④地域福祉フォーラム終了後も活動を長く続けられるよう報告書を取りまとめる。 ⑤災害時の支援体制の確立と、防災訓練の実施を続ける。
5	市原市 (加茂地区) 旧白鳥小学校区	加茂地区社協	H26.8.7	200千円	旧白鳥小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目) ①アンケート調査等を行い、地域の課題・問題点・ニーズの抽出を行い、課題解決への取り組みにつなげていく。 ②具体的な活動の取り組みに向け、地域で活動している他団体と情報交換し連携を図る。 ③ネットワーク推進委員が知識や情報を得ることを目的に、研修会に参加する。 ④ネットワーク推進委員会が、地域の課題発掘屋解決方法について検討を行い、推進委員同士が共有し連携を深める。 (2年目以降) ①具体的な活動の取り組みに向け、引き続き地域で活動している他団体と情報交換し連携を図る。 ②ネットワーク推進委員が知識や情報を得ることを目的に、研修会に参加する。 ③ネットワーク及び構成諸団体の活動報告のための広報紙を作成。 ④高齢化の進行を鑑み、地域住民同士で助け合いができる仕組みづくりができるような環境の構築と助け合う地域づくりを進めるための検討を行う。

6	市原市	(志津地区) 市東第一小学校区	市津地区社協	H26.8.7	200千円	市東第一小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目) ①地域の課題発掘のため座談会の検討及び開催。 ②地域住民が互いに挨拶し合う地域づくりを目的とし、ネットワークを中心に実施。 ③学校及び通学路の除草作業等の環境整備。 ④地域住民と児童が交流できる事業の開催及び学校行事への参加。 ⑤高齢者を中心とした見守り活動の検討及び実施。 ⑥構成員による定例会議「ネットワーク会議」を開催。地域課題の発掘方法及び取り組み、課題解決方法について検討する。 (2年目以降) ①あいさつ運動、環境整備、見守り支援、ネットワーク会議を継続して実施するとともに、「茶話会」として 高齢者が気軽に集える場の検討及び開催等に取り組む。
7	市原市	(市津地区) 湿津小学校区	市津地区社協	H26.8.7	200千円	湿津小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目) ①構成員による定例会議「ネットワーク会議」を開催。地域課題の発掘方法及び取り組み、課題解決方法について検討する。 ②「茶話会」として高齢者が気軽に集える場の検討及び開催。 ③通学路の安全点検をPTAと協議し実施する。 ④学校、PTAと協議し、全面的に資源回収の協力をする。 ⑤茂原街道周辺の清掃活動及び花植え活動の実施。 ⑥ネットワークの活動を広く住民にPRする。 (2年目以降) ①1年目に引き続き、定例会議「ネットワーク会議」、「茶話会」等を継続して実施する。
8	大多喜町	大多喜地区	大多喜地区地域ぐるみ福祉協議会	H26.8.7	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区内の住民が相互の交流を盛んにして、特に東日本大震災を契機として、希薄になっている隣組の絆を深め、助け合いながら地域福祉の向上を図るための座談会を通じて地域ぐるみ福祉を進める。	(1年目) ①小学生と高齢者・区長会の三世代ふれあい事業として、昼間独居老人の方々をお招きして昼食会を実施する。 ②高齢者世帯への友愛訪問を実施する。 ③「災害時ひとりも見逃さない運動」を通じて地区内の災害時の避難救助のあり方を検討し、体制づくりを促進する。 ④会議への参加団体を増進し、地域の福祉意識の輪を広げる。 (2年目以降) ①本地区社協から発信して多くの団体や個人との連携を深めていくため検討会議を開催する。 ②組織の拡充により多くの参加団体の協力を募るようように努める。 ③問題解決に向けての勉強会の実施
9	佐倉市	志津地区	志津地区社協	H26.9.5	200千円	平成24年度から実施している、掃除や草取りなどを有償でお手伝いする「ふれ愛サービス」と、気軽に楽しめる喫茶店「ふれ愛喫茶」を運営しており、総称して「志津ふれ愛事業」としている。この事業を通じ、安心して暮らせる安全なまちづくりの実現を目的とする。	(1年目) ①平成24年度からスタートした「志津ふれ愛事業」を通じて、地域住民の支え合い・助け合いの仕組みをより良いものとし、自治会や町内会、地域包括支援センターなどの各種団体・組織とも提携してより安心安全な地域社会を築くとともに、地域住民の交流と憩いの場を提供していくことを主たる目的とする。 ②更なる事業の充実、サービス内容の向上を図るため、「センター運営会議」を開催する。 (2年目以降) ①更なる事業の充実、サービス内容の向上を図るため、引き続き「センター運営会議」を開催し、助成期間終了後も安定した事業継続ができるよう方向性を定めるほか、今後実施される地域支援事業等との関わり方も含め協議する。
10	習志野市	藤崎地区	習志野市社協 藤崎支部	H26.9.5	300千円	新住民が増えている地域のため、地域福祉懇談会を開催し、住民同士が繋がりを持てるような企画について話し合い、一丸となつて取り組める「藤崎音頭」の企画や、「子育てサロン」といった既存の事業のほかに、新たな地域行事の実施を検討する。こうした取り組みを通じ、住民同士の交流、健康づくり、生きがい支援につなげていく。	(1年目) ①実行委員会を開催し、地域福祉フォーラムの進め方について協議する。 ②地域福祉懇談会を開催し、「住民同士が繋がりを持てるような企画(藤崎音頭)」について協議する。 (2年目以降) ①前年度に企画された「藤崎音頭」について専門部会を立ち上げ、その事業の推進員の養成、研修会を実施する。 ②地域福祉懇談会を開催し、藤崎音頭の振り付けや様々な世代の住民同士の交流、健康づくり、生きがい支援につなげていけるよう、既存の地域行事や「ふれあいいきいきサロン」といった社協支部事業での展開のみならず、新たな地域行事での展開についても検討し、専門部会へ報告する。 ③実績報告書を取りまとめ、地域福祉フォーラム終了後も継続して取り組めるよう活かしていく。
11	市川市	信篤・二俣地区	信篤・二俣地区社協	H26.9.5	385千円	信篤・二俣地区の地域づくりを検討し、活性化を図る。	(1年目) ①地区社協内に事業検討部会を組織する。 ②事業検討部会において、年間計画、役割分担、事業内容について検討する。 ③地区内の店舗に対し、アンケート調査を実施する。 ④アンケート集計結果をもとに、「お買い物宅配マップ」を作成・配布する。 ⑤地域ケア推進連絡会(地区内で開催する地域関係団体、行政、社協等福祉関係団体が参加する会議)において、都度進捗状況を伝え、意見集約をする。 (2年目以降) ①事業検討部会を開催する。 ②配布した「お買い物宅配マップ」の感想、意見などを踏まえ、第2版の作成を検討する。(防災、病院等の情報を加えることを想定) ③地区内の誰もが安心して暮らせる街づくりを目指し、このマップを活用する。

12	栄町	酒直台小学校地区	酒直台自治会	H26.9.5	230千円	酒直台小学校地区の地域づくりを検討し、活性化を図る。	<p>(1年目)</p> <p>①酒直台自治会の下部組織として、地域福祉フォーラム実行委員会を発足し、事務局を設置する。</p> <p>②実行委員会のメンバーを選定して、地域に即した福祉活動計画を作成する。</p> <p>③自治会で活動している福利厚生、青少年育成、防犯防災の各専門部と協力して、進められる行事内容を検討する。</p> <p>④今までの自主防災組織を見直し、防災訓練や災害時の救援活動、被害情報確認等、活動範囲をブロック別に分け、住民同士の連帯感を増進させる。</p> <p>⑤小ブロック単位での防災活動計画の再検討</p> <p>⑥地域福祉フォーラム専門誌の定期発行</p> <p>⑦行政・他地区との意見交換会の開催</p> <p>⑧独居高齢者への見守り 等を実施する。</p> <p>(2年目以降)</p> <p>①自治会活動を通じて、小ブロック体制の意識づけと啓蒙を図る。</p> <p>②小ブロック単位での自主防災組織活動の確率。</p> <p>③実行委員会の定期開催</p> <p>④独居高齢者への見守り</p> <p>⑤地域福祉フォーラム専門誌の定期発行等を実施する。</p>
13	市川市	真間地区	真間地区社協	H26.11.5	280千円	地域福祉フォーラムを設置し、真間地区の地域づくりを検討し、真間地区の活性化を図る。	<p>(1年目)</p> <p>①真間地区内の住民を対象にした「防災に関するアンケート調査」を実施、地域住民の防災における意識ならびに今後の防災に関する取り組みとして必要な事項の確認を行う。</p> <p>②地区内の防災訓練の内容を、一時避難場所および避難所での運営を想定し、見直すこととする。今年度については、真間小学校と連携し全児童の訓練参加をもとに企画する。</p> <p>③小学校区避難所の周辺各自治会の「案内板(のぼり旗、プラカード等)」を整備するとともに、今後の災害時(防災訓練時)に必要な資機材について、会議・訓練を通して検討する。</p> <p>④関係機関とともに「真間小学校区防災拠点運営委員会」の立ち上げを検討し、更なる住民の支え合い・助け合い事業への足掛かりとする。</p> <p>(2年目以降)</p> <p>①「真間小学校区防災拠点運営委員会」を設置し、地区内の災害時の取り組み、ならびに防災訓練の企画運営について意見交換を行う。</p> <p>②今後の災害時(防災訓練時)に必要な資機材について、会議・訓練を通して検討する。</p> <p>③災害時の取り組みを通じ、更なる住民の支え合い・助け合い事業への足掛かりとし、誰でも安心して暮らしていくことのできる地域づくりに住民主体で取り組む。</p>
14	市原市	(加茂地区) 旧里見小学校区	加茂地区社協	H26.12.4	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、加茂地区の地域づくり等を検討し、旧里見小学校区の活性化を図る。	<p>(1年目)</p> <p>①ネットワーク委員会の開催。地域課題を明らかにし、どう有るべきかの検討を行い、推進委員同士が情報を共有して連携を深め、その解決に向けて活動する。</p> <p>②高齢者支援活動に向けた取り組み。地域実態調査を実施。要支援者の対し「見守り」「声掛け」支援活動を実施する。</p> <p>③研修会等の開催・参加。安心訪問員等の認定取得、その他推進員としての知識及び技能を深める。</p> <p>④地区住民に周知を図るための広報活動を実施する。(アンケート調査)</p> <p>(2年目以降)</p> <p>①ネットワーク推進委員会の開催。地域に密着し、より実質的活動を目指して、推進委員同士の連携を深める。</p> <p>②高齢者支援活動に向けた取り組み。「見守り」「声掛け」支援活動を継続し実施。他の支援活動に向けた検討を進める。</p> <p>③研修会の開催・参加。推進委員としての知識及び技能を深める。地域で活動している他団体との交流を深め、情報を交換し連携を図る。</p> <p>④地域住民に周知を図るための広報活動。ネットワークおよび構成団体の活動報告等、地域住民に活動を理解してもらうために広報紙(チラシ)を発行する。</p> <p>⑤小域版「ふれあいいきいきサロン」等の検討を行う。(例:茶会と折り紙教室又は茶会と健康体操 等)</p>
15	市原市	(加茂地区) 旧高滝小学校区	加茂地区社協	H26.12.4	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、加茂地区の地域づくり等を検討し、旧高滝小学校区の地域の活性化を図る。	<p>(1年目)</p> <p>①調査などによる情報収集。アンケート調査を行い。地域の課題・問題点・ニーズの抽出を行い、課題解決への取り組みにつなげていく。</p> <p>②他団体との情報交換。具体的な活動の取り組みに向け、地域で活動している他団体と情報交換し連携を図る。</p> <p>③研修会等への参加。ネットワーク推進委員が知識や情報を得ることを目的に研修会に参加する。</p> <p>④ネットワーク推進委員会の開催。ネットワーク推進委員が、地域の課題発掘や解決方法について検討を行い、推進委員同士が情報を共有し連携を深める。</p> <p>⑤高齢者支援の活動のに向けた方策の検討。安心生活見守り支援活動、高齢者を対象としたサロンの実施の検討。</p> <p>(2年目以降)</p> <p>①他団体との情報交換。具体的な活動の取り組みに向け、地域で活動している他団体と情報交換し連携を図る。</p> <p>②研修会等への参加。ネットワーク推進委員が知識や情報を得ることを目的に研修会に参加する。</p> <p>③ネットワーク推進委員会の開催。ネットワーク推進委員が、地域の課題発掘や解決方法について検討を行い、推進委員同士が情報を共有し連携を深める。</p> <p>④高齢者支援の活動のに向けた方策の検討。安心生活見守り支援活動、高齢者を対象としたサロンの実施の検討。</p> <p>⑤地域住民に周知を図るための広報活動。ネットワークの周知と理解を深めるため、広報紙(チラシ)を発行する。</p>

16	市原市	(加茂地区) 旧富山小学校区	加茂地区社協	H26.12.4	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、加茂地区の地域づくり等を検討し、旧富山小学校区の地域の活性化を図る。	<p>(1年目)</p> <p>①調査などによる情報収集。アンケート調査を行い、地域の課題・問題点・ニーズの抽出を行い、課題解決への取り組みにつなげていく。</p> <p>②他団体との情報交換。具体的な活動の取り組みに向け、地域で活動している他団体と情報交換し連携を図る。</p> <p>③研修会及び講演会等の開催。ネットワーク推進委員が知識や情報を得ることを目的に開催する。</p> <p>④ネットワーク推進委員会の開催。ネットワーク推進委員が、地域の課題発掘や解決方法について検討を行い、推進委員同士が情報を共有し連携を深める。</p> <p>⑤高齢者支援の活動のに向けた方策の検討。安心生活見守り支援活動、高齢者を対象としたサロンの実施の検討。</p> <p>(2年目以降)</p> <p>①他団体との情報交換。具体的な活動の取り組みに向け、地域で活動している他団体と情報交換し連携を図る。</p> <p>②研修会及び講演会等の開催。ネットワーク推進委員が知識や情報を得ることを目的に開催する。</p> <p>③ネットワーク推進委員会の開催。ネットワーク推進委員が、地域の課題発掘や解決方法について検討を行い、推進委員同士が情報を共有し連携を深める。</p> <p>④高齢者支援の活動のに向けた方策の検討。安心生活見守り支援活動、高齢者を対象としたサロンの実施の検討。</p> <p>⑤地域住民に周知のための広報活動。ネットワークの周知と理解を深めるため、広報紙(チラシ)を発行する。</p>
17	我孫子市	我孫子市北地区	我孫子市北地区社協	H26.12.4	120千円	地域福祉フォーラムを設置し、我孫子北地区の地域づくり等を検討し、我孫子北地域の活性化を図る。	<p>(1年目)</p> <p>①地区社協内に地域福祉フォーラム実行委員会を組織する。</p> <p>②実行委員会のメンバーで先駆的な他のフォーラムの資料を収集し、連絡アドバイスをもらう。</p> <p>③具体的な実施事項・内容に関して勉強会・打合せを行う。</p> <p>④我孫子市・市教育委員会・市社協・まちづくり協議会・地区内の小中学校・民生委員などとの意見交換会を活発にして地域で必要とされているニーズを把握する。</p> <p>⑤その他意見交換をもとにして、地域に必要なとされているニーズの実施のための地域福祉フォーラムを開催する。</p> <p>(2年目以降)</p> <p>①実行委員会を開催する。</p> <p>②前年度のアンケート、地域福祉フォーラム(エリア福祉懇談会)で出された意見をもとに個別事業の検討をそれぞれの専門部会で行う。(広報調査部会・世代間交流部会・ボランティア推進部会・文化交流部会・電話訪問サービスプロジェクト・子育て支援プロジェクト)</p> <p>③地域福祉フォーラムを開催し、専門部会の検討結果を報告。前年度計画の修正・検討・新規事業の検討を行う。</p> <p>④地域の幅広いメンバーの意見・協力も得て、より良い事業計画を作成する。</p> <p>⑤子どもも若い世代も高齢者も一人暮らしの高齢者も認知症の方も子育て世代も安心して暮らせる地域の協力サポーター関係を構築する。</p> <p>⑥小学校高学年の親子を対象とした解りやすい子ども向け認知症サポーター養成講座を実施し、小さな福祉への芽を育てていく。</p> <p>⑦大人向け、認知症サポーター養成講座修了者へフォローアップ講座を開催していく。</p>
18	富津市	天神山地区	天神山地区社協	H26.12.4	200千円	「介護度重度化予防」を基本とした地域福祉フォーラムを設置し、地区社協の存在意識を高め、「支え合う天神山地区を！」合言葉に地区の活性化を図る。	<p>(1年目)</p> <p>①住民座談会の開催。地域住民に幅広く呼びかけ、介護の重度化防止を目的とした取り組みを介護福祉施設の協力のもと取り組んでいく。</p> <p>②一人暮らしの方と高齢者を囲む会の開催。「共に楽しく」とボランティアの皆さんの力を借りながら、コーラスや健康体操などに取り組んでいく。</p> <p>③スポーツ大会の開催。ふれあいスポーツ大会と銘打って、天神山小学校の5年生6年生とともに、グラウンドゴルフ大会を開催する。</p> <p>④専門部会の開催。地域福祉を目的としたバザーや福祉大会への参加・地域リハビリテーション支援事業公開フォーラムへの参加と取り組み発表等を検討する。また、取り組まれたアンケートの分析を行う。</p> <p>⑤広報活動の強化。広報紙の「せせらぎ」を地域に家庭にを合言葉に、号外やパンフレットで地域福祉フォーラムの浸透を図る。</p> <p>(2年目以降)</p> <p>①初年度事業の拡充を図りつつ、取り組まれたアンケートの分析に基づいた活動に取り組む。</p> <p>②地区別福祉フォーラムを中心とした取り組みを地域のボランティアのみならず、介護福祉施設の協力も得ながら展開し、地区全体に介護度の重度化防止をし浸透させる。</p> <p>③千葉県主催の介護度防止研修会等々に受講生を積極的に派遣する。</p> <p>④防災等の緊急時に備える支援体制についての要望を取りまとめる。</p> <p>⑤地区別フォーラムでの意見や要望を受け止め専門部会で検討討議する。</p> <p>⑥広報活動を通して地域に情報を発信することにより、幅広く参加者を増やすとともに、協力者・支援者を掘り起し地域力のさらなる向上を目指す。</p>



平成25年度新規フォーラム一覧

設置数:14[基本:1、小域:13]

地域		事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	白子町 【基本フォーラム】	白子町社協	H25.9.11	191千円	住民アンケートを実施してフォーラムを行い、地域福祉に対する意見をまとめて地域福祉活動計画を策定する。	(1年目) ①町の代表で地域福祉活動計画策定委員会を組織し、アンケートを策定する。 ②福祉団体・子育て中の親に協力を仰ぎ、アンケート調査を実施する。 ③アンケートの内容を分析して地域の状況を把握し、地域の様々な団体等が参加する地域福祉フォーラムを開催して住民参加による街づくりについて意見をまとめる。 ④地域福祉計画の作成準備をする。 (2年目以降) ①前年アンケート、地域福祉フォーラムで出された意見をもとに、個別事案を検討する。 ②地域福祉活動計画策定委員会を開催して計画案を策定し、幅広く意見を求めたうえで策定する。 ③町民に地域福祉活動計画の活動に参加してもらえるように、ボランティア団体、保育所、小中学校、福祉団体を中心に周知していく。
2	市原市 (五井地区) 東海小・中学校区	五井地区社協	H25.8.15	200千円	五井地区の地域づくり等を検討し、東海小・中学校区地域の活性化を図る。	(1年目) ①広報誌を年2回発行し、ネットワーク情報を広く学区民に提供する。 ②挨拶・見守り活動、ふれあい活動等を実施する。 ③防災情報の共有体制、災害時要支援者対策の確立、防災訓練への参加、災害時避難体制の確立、講習会等に参加する。 ④防犯パトロール、ゴミゼロ運動、防犯講習会等に参加する。 ⑤上記以外の活動増進に向けて検討する。 ⑥構成員による定例会議を通して地域の課題解決に向けた協議を行う。 (2年目以降) ・前年度同様に継続的に活動をし、活動内容の充実を図ると共に、部会調整会議やネットワーク構成員の研修を実施する。
3	市原市 (五井地区) 千種小学校区	五井地区社協	H25.8.15	200千円	千種小学校区における福祉活動を促進することにより、地域福祉の向上と発展に寄与することを目的とする。	(1年目) ①各種団体(小中学校、子供会、PTA、他地区の同種活動団体等)との懇談会、各種組織(警察生活安全課、保護司等)からの聞き取りによる問題点の把握を行う。 ②アンケート調査により、地域の課題、問題点、要望の把握を行う。 ③ネットワーク構成員による定例会議を行い、問題点認識の共有化と課題解決への取り組みにつなげる。 ④課題別に部会を設置し、ネットワーク全体での調整を含めて課題解決を図る。 ⑤ネットワーク構成員の知識、能力向上のため他団体、組織の視察、研修を実施する。 ⑥要支援者リストや防災拠点をもとに、地域の防災マップを作成し防災活動に活用する。 (2年目以降) ①前年度と同様に懇親会の開催や、アンケート調査を実施する。 ②広報誌の発行を行うとともに、要支援者のリストを再検討し、援護者や防災協力者を発掘する等、防災マップのメンテナンスを行う。
4	習志野市 大久保地区	習志野市社協 大久保支部	H25.9.11	300千円	地域福祉懇談会を開催し、新築マンション等の新住民と旧住民等の住民同士が繋がりをもてるような企画について話し合い、互いに助け合い、誰もが安心して活き活き生活できる地域社会の実現を目指す。	(1年目) ①困っている人に手を差し伸べ、互いに助け合い、誰もが安心していきいき生活できる地域社会の実現を目指す。 ②新たな支部の拠点「市民プラザ大久保」を中心に、地域福祉に係る課題について話し合う「地域福祉懇談会」等を開催し、住民同士が繋がりをもてるような企画について話し合いを行う。 ③身の回りのお手伝いをする「ひこざサービス」、お年寄りが集い楽しむ「いきいきサロン」及び「囲碁の会」、妊婦・0歳児ママの子育て支援を行う「はいはいスタジオ」など様々な事業の充実に向けて検討する。 (2年目以降) ①前年度の事業の継続、各事業の一層の充実と拡大を図る。 ②市民プラザや市民プラザに登録しているサークルや、市民プラザ内に設置されている老人保健施設など、新たな団体の参加も求め、子どもから高齢者まで誰もが参加でき、異世代が交流できるような新たな事業を模索する。
5	習志野市 鷺沼台地区	習志野市社協 鷺沼台支部	H25.9.11	200千円	困った時に助けあえる地域社会の実現を目指し、住民やサポートを必要としている人たちの生活を理解する住民アンケートの実施、地域福祉懇談会の開催、防犯・防災活動、子育てサロン等の交流事業、住民参加型家事援助サービス事業の実現を目指す。	(1年目) ①住民アンケートを実施し、課題の抽出や課題解消のための担い手の発掘を行う。 ②アンケート結果をもとに地域福祉懇談会を実施し、住民各々が地域課題解消のために何が出来るか、現在取り組んでいる事業の今後の展開について検討する。 (2年目以降) ①前年度と同様に地域福祉懇談会を開催し、専門部会の立ち上げや現在取り組んでいる各事業の今後の展開について検討する。 ②3年目に先進的な地域福祉活動をしている市町村団体等を招いてシンポジウムを開催し、鷺沼台の取り組みの周知を図ると共に、住民主体の地域福祉活動の展開を図る。
6	茂原市 本納地区	本納地区社協	H25.10.2	200千円	本納地区住民が連帯と協調をもって活動を展開し、明るく住みよい調和のあるまちづくりを推進することを目的とする。	(1年目) ①敬老会の開催、小学生との世代間交流会、見守りを目的とした友愛訪問や食事サービス活動地域ごとのいきいきサロン、さわやかサロン等を実施する。 ②住民が参加できるような住民ニーズに合った活動を展開するため専門部会の設置を検討する。 (2年目以降) ①前年度と同様に継続的に展開すると共に、より多くの住民の参加を得るために、自治会などの協力を得ながら啓発活動を継続し、フォーラムの基盤強化を行う。 ②サロン事業を通じて、高齢者・児童・障害者に関わる防犯防災等、地域の福祉課題や生活課題を検討・把握し、解決を目指す。

7	市原市	(市津地区) 市東第二小学校区	市津地区社協	H25.10.2	200千円	市東第二小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目) ①地域の諸課題発掘のために座談会を検討し、開催する。 ②児童等の登下校の見守り支援を行う。 ③ネットワーク構成員による定例会議を開催し、地域課題の発掘方法や課題解決方法について検討する。 ④高齢者と児童が交流する事業を検討し、開催する。 ⑤ネットワークの活動を住民に広くPRする。 (2年目以降) ①前年度と同様に防犯パトロールやネットワーク会議等を実施する。 ②住民座談会を開催して諸課題を発掘するとともに、座談会に参加できない住民を対象にアンケートを実施、課題把握を行う。 ③ネットワーク構成員の知識を深めるために、他地区社協や地域福祉フォーラムを視察する。
8	市原市	(市原地区) 八幡小学校区	市原地区社協	H25.10.2	200千円	八幡小学校区の地域づくり等を検討して、地域の活性化を図る。	(1年目) ①各種団体(町会、民生委員、他各種団体)との定例会議、企画・運営を行い、地域課題の発掘及び解決に向けた検討協議を実施する。 ②子育て支援活動の内容及び体制を検討し、実施する。 ③小学校PTAと連携して児童の見守り活動を検討、実施する。 ④災害避難時に「無事です」タオルの掲示の訓練を定期的実施する。 ⑤広報誌を作成、発行する。 (2年目以降) ・前年度と同様にネットワーク会議の開催や、子育て支援活動を実施すると共に、一人暮らし高齢者世帯の見守り活動を実施する。
9	市原市	(市原地区) 菊間小学校区	市原地区社協	H25.10.2	200千円	菊間小学校区の地域づくり等を検討して、地域の活性化を図る。	(1年目) ①各種団体(町会、民生委員、他各種団体)との定例会議、企画・運営を行い、地域課題の発掘及び解決に向けた検討協議を実施する。 ②町会回覧等を利用して情報発信する。 ③高齢者サロン活動を実施する。 ④子育て支援活動を実施する。 ⑤関係団体への協力として、スクールガード、防犯防災活動を行う。 (2年目以降) ①前年度と同様にネットワーク会議の開催や、子育て支援活動を実施する。 ②関係団体が行う地域事業への協力を行う。 ③各種関係団体との情報交換会を行う。
10	八街市	二州地区	二州地区社協	H25.11.1	200千円	二州地区の防犯意識を高め、誰もが あんげんで、安心して暮らせる地域 づくりを進める。	(1年目) ○八街市二州地区の安全・安心な地域づくりのため、防犯対策を検討する地域福祉フォーラム実行委員会を組織する。 ○地域福祉フォーラムに事業を知ってもらうための広報活動を行う。 ○地域福祉フォーラム実行委員会を開催し、地域性を生かした防犯活動のあり方の企画立案を行う。 (2年目) ○講師を招いて二州地区全体の防犯講演会を開催する。防犯に対する連携を深め、地域福祉フォーラム防犯講演会に向けたテーマの検討、参加団体等の調整を行う。 ○地区別に地域福祉フォーラムを開催し、参加団体や参加者からの幅広い意見を参考に地域防犯活動の実施計画を作成する。 ○地域福祉フォーラム実行委員会を定期的開催し、既存の防犯パトロール団体、フォーラム参加団体、防犯関係部門との意見交換・勉強会などを行う。
11	八街市	六区地区	六区地区社協	H25.11.1	200千円	六区地区の防災を中心とした安全・ 安心なまちづくりを検討し、六区地区 の活性化を図る。	(1年目) ○地域性を考慮した区民の安全・安心なまちづくりのための防災対策を検討する地域福祉フォーラム実行委員会を組織する。 ○活動拠点施設の体制強化のため、実行委員会の開催。地域防災活動のあり方を調査研究するため、実行委員会メンバーによる勉強会を開催する。 ○防災講演会を開催し、防災に対する連携を深め、地域福祉フォーラム開催に向けたテーマの絞り込み、参加団体等の調整を行う。 (2年目) ○実態調査により、災害時の要支援者及び児童・生徒の保護者が長距離通勤等による帰宅困難者の世帯を把握する。 ○地域福祉フォーラムを開催し、実態調査等を基に参加団体・個人等と災害対策について議論を深め問題点の抽出を行う。 ○参加団体・参加者の意見を参考に地域防災活動の実施計画を策定する。 ○災害時に要支援者、帰宅困難者を非難、誘導を行うサポーターを募集し、組織化を図る。 ○要支援者、帰宅困難者、避難場所、避難経路等を網羅したマップを作成し、サポーターや区民に配布し災害時の避難誘導の周知を図る。

12	八街市	川上地区	川上地区社協	H25.12.4	200千円	防災を中心とした安全・安心なまちづくりを検討し、活性化を図る。	(1年目) ○地域性を考慮した区民の安全・安心なまちづくりのための防災対策を検討する地域福祉フォーラム実行委員会を組織する。 ○活動拠点施設の体制強化のため、実行委員会の開催。地域防災活動のあり方を調査研究するため、実行委員会メンバーによる勉強会を開催する。 ○防災講演会を開催し、関係団体等と防災に対する連携を深める。 (2年目) ○地域福祉フォーラムを開催し、実態調査等を基に参加団体・個人等と災害対策について議論を深め問題点の抽出を行う。 ○参加団体・参加者の意見を参考に地域防災活動の実施計画を策定する。 ○要支援者、帰宅困難者、避難場所、避難経路等を網羅したマップを作成し、区民に配布し避難誘導の周知を図る。 ○実行委員会、参加団体・参加者の会合をもち、災害時の行動計画を策定する。
13	市原市	(五井地区) 国府小学校区	五井地区社協	H25.12.4	200千円	福祉活動を推進することによる、地域福祉の向上と発展。	(1年目) ○各団体とのネットワーク会議を定期的に行い、企画運営を行う。また、地域課題の発掘及び課題解決に向けた検討会議を行う。 ○小学校PTAと連携し、児童登下校見守り運動の検討、実施。 ○高齢者見守り運動、活動内容及び体制の検討、実施。 ○地区内の危険箇所を調査し、災害時避難マップの作成。 ○定期的な校区内防犯パトロールの検討、実施。 (2年目以降) ○前年度同様ネットワーク会議の開催。児童登下校見守り運動の継続実施。 ○高齢者見守り運動の見守り希望者及び協力者の調査、実施。 ○災害時避難マップの意見集約及び見直し。緊急時の連絡体制づくりの検討。 ○防犯パトロールの人材確保及び活動の継続実施。 ○ネットワーク広報誌の検討、発行。
14	習志野市	谷津西部地区	習志野市社協 谷津西部支部	H25.12.4	100千円	実施している取り組みの検討、発展及び健康情報の提供や食事の大切さを考える機会の提供。課題について話し合い、災害発生時に対応できるように地域の活動をブロックごとに見守る地区会の組織化、ブロックリーダーの養成。共助マップの作成等を通じ、自助共助のネットワーク構築に繋げる。	(1年目) ○地区内の諸団体と協議し、実行委員を組織する。 ○地域福祉フォーラムの進め方について、勉強会を開催する。 ○市の関係部署や習志野市社協の意見も参考にする。 ○地域通信を発行し、多くの住民に理解と参加を呼び掛ける。 ○地域福祉懇談会の開催。多くの人の意見を聴取し、今後の活動の参考にするとともに、地域にある諸団体や住民の参加を促す。 (2年目) ○前年度同様実行委員会、地域懇談会の開催。共助マップの作成。 ○諸問題を解決するため専門委員会を組織し、内容の検討と解決方法を協議する。 ○地区ブロックごとの問題解決のため地区会を組織、開催し、きめ細かい共助の体制を構築すると共に、住民に必要な情報を伝達する。また、地域福祉活動の担い手としてブロックリーダーの募集、養成を行う。 ○活動マニュアルの作成。また、活動立ち上げからの経過記録も作成する。 ○災害時の支援体制の確立と防災訓練の実施を続ける。

平成24年度新規フォーラム一覧

設置数:24[基本:3、小域:21]

地域		事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	酒々井町	酒々井町社協	H24.12.27	200千円	酒々井町地域福祉活動計画の策定に向けて、地域課題の把握のためアンケート調査をおこなうとともに、関係機関との連携を図りながら策定委員会を設置し、地域福祉の推進を図ることを目的とする。	(1年目) 住民アンケート調査や地域福祉フォーラムでの住民意見の調査を行い、地域課題を把握するとともに、委員会を設置し地域福祉活動計画並びに地域福祉活動計画の平成25年度施行に向けて実施する。また、住民意識の向上を図るため、講演会を開催し計画の周知を図る。 (2年目以降) 平成25年度に施行された地域福祉活動計画並びに地域福祉活動計画の推進のため、地域福祉フォーラムを開催し地域住民や関連団体との連携を深めるとともに、計画の啓発活動や講演会を行う。
2	君津市	君津市社協	H25.2.25	200千円	君津市を圏域として基本圏域地域福祉フォーラムを設置し、地域福祉に関する住民参加の促進並びに小域福祉圏における住民活動の支援と連絡調整等を図る。	(1年目) ○地域福祉活動計画の推進にあたり、本計画の趣旨や今後の取り組み方について、地域住民と関係者の相互理解を深めることを目的として計画推進フォーラムを開催する。 ○地域福祉活動計画について、小域福祉圏8地区ごとに地区が設定した重点目標の達成に向けて意見交換を行う。 ○地域福祉活動計画の推進と評価のため、小域福祉圏8地区ごとに地区福祉推進委員会議を開催して協議する。 ○地域福祉活動計画の趣旨と小域福祉圏ごとの取り組みを周知するため、毎戸と関係団体に向けてパンフレットを配布する。 (2年目以降) ○平成25年度以降も、年度ごとのテーマについて専門家による講演と先駆的な活動事例の紹介をするためにシンポジウムを開催する。 ○平成26年度からの次期計画策定に向けた意見・提案をとりまとめるため、地区懇談会及びアンケート調査を行う。
3	栄町	栄町社協	H25.2.25	60千円	地域福祉フォーラムを設置し、栄町の福祉活動計画を策定し栄町全体の活性化を図る。	(1年目) 地域での支えあいの仕組みづくりや、今後のよりよいサービス提供を目指した地域福祉活動計画を策定するため、競技・検討を行うための委員会を設置するとともに、講師による講演会を実施する。 (2年目以降) ○栄町の総合計画や高齢者福祉計画等に沿った、意見・提案を取りまとめるためのタウンミーティングを6か所(小学校区)で開催する。 ○地域福祉活動計画の競技・検討を行うため、策定委員会を4回開催する。 ○策定計画は、進行管理が可能な計画づくりに心がけ、策定後の進捗状況を管理していく。 ○地域福祉活動計画書を200部作成するとともに概要版10,000部作成し、全世帯に配布する。
4	旭市 中央地区	中央地区社協	24.6.15	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、中央地区の地域づくり等を検討し、中央地区の活性化を図る。	(1年目) 開催テーマは中央地区の防災。ミニフォーラムを開催し、災害時要援護者として災害発生時に困ること、支援してほしいことについて聞き取り調査を実施する。地区内の1区をモデル地区として地域福祉フォーラムを開催する。 (2年目以降) 課題・解決方法は前年度の地域フォーラム、ミニフォーラムで出た意見を集約し、検討。引き続きミニフォーラムを開催し、災害時要援護者を対象として災害発生時に困ること、支援してほしいことについて聞き取り調査を実施する。地域福祉フォーラムはモデル地区から全地区へと拡大し実施する。災害リスク箇所について地域独自のマップを作成し、配布する。地域福祉フォーラム設置支援事業終了後も事業を継続できるよう検討。
5	市原市 (三和地区) 海上小学校区	市原市社協 三和支部	24.6.15	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、三和地区の地域づくり等を検討し、海上小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目) ①ネットワーク推進委員会議の開催し「支え合い・助け合い」のある地域づくりを模索する。 ②小域福祉ネットワークに多くの住民が賛同・参加できるよう、広報・PR活動について、「地域でのあいさつ運動」と連携し、地区内に看板の設置を進める。 ③知識や他地域の情報を得るため、地域福祉フォーラム等の研修会へ参加。 ④「小中学生の登下校時の声かけ」や「高齢者への労わりのことばがけ」など地域住民の活動への理解と参加を促す。 ⑤緊急時や災害時に活用出来る「緊急時連絡カード」の配布を検討。 (2年目以降) 前年度と同様にネットワーク推進委員会を開催し、「支え合い・助け合い」のある地域づくりを模索する。
6	市原市 (有秋地区) 有秋南 小学校区	市原市社協 有秋支部	24.6.15	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、団体や個人の連携によりその自立的活動を相互に補完しながら協働活動を推進して、有秋南小学校区地域の安心安全なまち創りを進める。	(1年目) ①ネットワーク推進委員会議を毎月1回実施し、具体的な活動に向けた取り組み内容の検討。 ②ネットワーク部会会議を開催し、推進委員会での検討事項及び活動内容の進捗状況の把握、予算管理等を行い、具体的取り組み内容について検討、推進委員会へ図る。 ③ネットワーク専門部会議の開催、総務部・安全部・子育て支援部に分け、それぞれの支援活動内容の検討をする。 (2年目以降)前年度と同様にネットワーク推進委員会議やネットワーク部会会議などを開催し、取り組み内容の検討を実施する。

7	市原市	(ちはら台地区) ちはら台桜小学校区	市原市社協 ちはら台支部	24.6.15	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、ちはら台地区の地域づくり等を検討し、ちはら台桜小学校区地域の活性化を図る。	(1年目) ①地域の諸課題発掘のため座談会の検討及び開催。 ②座談会に参加できない住民対象にしたアンケートを実施し、課題把握を行う。 ③地域課題発掘方法及び取組、課題解決方法について検討のためのネットワーク会議を開催。 ④広報紙の発行やちはら台ケーブルTV等を活用し、地域福祉への参加の呼びかけ及び啓蒙を行う。 ⑤知識と理解を深めるため、地区社協や地域福祉フォーラム等先進地の取組を視察。 (2年目以降) 前年度と同様にネットワーク会議の開催や広報活動を行うと共に、部会・委員会等の設置検討や支援会員の発掘・育成を行う。
8	茂原市	西部地区	西部地区社協	24.6.20	200千円	西部地区住民が連帯と協調をもって活動を展開し、明るく住みよい調和のあるまちづくりを推進することを目的とするため、地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目) ○高齢者向けのサロン活動を中心に据え、希薄化した住民相互の絆をより緊密化し、多くの人が更に楽しんでもらえるように検討する。 ○住民ニーズにあった活動を展開するため、アンケートを実施する。 (2年目以降) ○アンケート結果から、住民ニーズを課題として解決や実現に向けて討議する。 ○防災専門部会を設置し、防災の問題点を整理し、防災意識の向上と技術の習得を図るため、講習会や研修会を開催する。 (1年目) ○はら台が一体としたい防災、福祉活動等に参加できるように検討する。
9	佐倉市	志津南地区	志津南地区社協	24.6.20	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、志津南地区を中心に、佐倉市内において認知症の正しい理解と防災、防犯等地域住民に密着した問題を取り上げ、寸劇を通して啓発活動を行う。	(1年目) ○様々な講座や研修等の場で、認知症についての講演や寸劇上演することにより、佐倉市内における認知症の理解を広めていく。また、地域住民ボランティアが関わることで、住民がより身近に感じることを目的としている。 ○夏休みの親子教室にて、認知症の講演や寸劇上演を実施し、親子で理解を深めると共に、次年度の学校での講演をしていくための、基盤づくりを行う。 ○認知症や高齢社会以外の社会課題をリサーチするため、アンケート調査を実施する。 (2年目以降) ○市内小中学校において、福祉教育として認知症の啓発講演と寸劇上演が行えるよう働きかけていく。 ○アンケート調査をもとに、関心が高い社会課題の演目を取り入れていく。また、社会課題に興味を持ってもらい、今後の話し合いや対策のきっかけとなるような活動へ発展させていく。依頼があれば、出前講演を行う。
10	市原市	(五井地区) 白金小学校区	市原市社協 五井支部	24.6.20	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、五井地区の地域づくり等を検討し、市原市白金小学校区地域の活性化を図る。	(1年目) ①地域の高齢者や学校等と定期的に座談会を開催し、地域課題等の情報収集を図る。 ②ネットワークの構成員による定例会議において、地域課題発掘・取組み・課題解決について検討する。 ③課題の部会を設置し、解決方法を検討する。 ④広報誌を発行しネットワークの宣伝を行い、活動に賛同できる方の発掘に努める。 ⑤地区社協や地域フォーラムでの取組みについて視察・研修の実施。 (2年目以降) 前年度と同様に座談会やネットワーク会議の開催や広報活動を行うと共に、踏切や交差点での見守り活動の強化を検討する。
11	市原市	(五井地区) 若葉小学校区	市原市社協 五井支部	24.6.20	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、若葉地区において「支え合い・助け合い」の仕組みを構築し、誰もが地域での暮らし易さを確保するとともに、安心して生活できる地域社会づくりを目的とする。	(1年目) ①地域福祉活動の実情把握、地域課題や福祉ニーズの抽出等、情報収集を目的としたアンケート調査を実施する。 ②情報の発信・交換等、住民相互理解のための啓発活動を行う。 ③子供の見守りや防災・防犯活動の支援等、関係団体の活動を支援する。 (2年目以降) 前年度同様に地域の啓発活動や関係団体の支援活動をするともに、地域の抱えた課題の解決のため、各部会活動を推進する。
12	富津市	吉野地区	吉野地区社協	24.6.20	200千円	「防災」「孤立化防止」に観点を置き地域福祉フォーラムを設置し、地区社協の存在意識を高め、吉野地区の支え合う地域づくりを検討し地域の活性化を図る。	(1年目) ○地域で抱えている福祉の問題点やニーズについて話し合う、住民懇話会を開催する。 ○小範囲での懇話会を開催し、関係者との会合を重ね、地域フォーラム活動につなげていく。 ○地区社協の周知を図り、地域福祉フォーラムの理解が得られるような広報活動を実施する。 ○住民の意見を基に個別事業の専門部会の検討及び設置を図る。 (2年目以降) 前年度同様、小範囲懇話会を実施し、地区全域にて地域フォーラムを開催、及び地域の取組み方の更なる意見を取りまとめる。また、個別事業の専門部会を開催したり、情報発信をすることにより幅広く参加者を増やしながら、地域力の更なる向上を目指す。
13	茂原市	新治地区	新治地区社協	24.7.25	200千円	新治地区住民が連帯と協調をもって活動を展開し、明るく住みよい調和のあるまちづくりを推進することを目的として、地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目) 地域住民が協力し合い、助け合える地域福祉の向上に努め、敬老会の開催や見守り活動、いきいきサロン等に力を注いで行く。また、今後地域住民の全てが参加できるような、ニーズにあった活動を展開する為、専門部会の設置を検討する。 (2年目以降) 地域福祉フォーラムを継続的に展開しながら、参加者からの意見を取りまとめ、関係機関や団体との協力関係の構築を図り、より多くの住民参加を得る為、啓発活動を継続し、地域づくりの為のフォーラムとしての基盤を強化する。また、いきいきサロン等の事業を通じて、地域の福祉課題や生活課題の検討、把握、解決に繋げる対策に発展させたい。
14	旭市	干潟地区	干潟地区社協	24.7.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、干潟地区の地域づくり等を検討し、干潟地域の活性化を図る。	(1年目) ○開催テーマは干潟地区の防災。ミニフォーラムを開催し、災害時要援護者として災害発生時に困ること、支援してほしいことについて聞き取り調査を実施する。 ○地域福祉フォーラムを開催、活動についての広報等を作成、配布する。 (2年目以降) ○前年度の地域福祉フォーラム等で出た意見を集約すると共に、引き続きミニフォーラムを開催し、災害時要援護者を対象とした聞き取り調査を実施する。 ○地域福祉フォーラムの定着を目指し、調査・啓発活動を継続する。 ○地域福祉フォーラム設置支援事業終了後も事業を継続できるよう検討する。

15	芝山町	菱田地区	菱田地区社協		24.7.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、芝山町菱田地区の地域の課題を検討し、地域の活性化を図る。	(1年目) ○地域福祉フォーラムの先進地から講師を招き、菱田地区社協委員の理解を深める研修を実施する。 ○菱田地区社協が中心となり、地域の福祉課題について話し合いを行う。また、そこで出た課題に対する取り組みについての話し合い(地域座談会)を、広く参加者を募り開催する。 (2年目以降) ○前年度と同様に委員の研修や地域座談会を開催し、地域の福祉課題の発見・解決に向けて活動を行う。 ○継続的な取り組みが必要な課題については、助成期間終了後、どのように継続していくか検討する。
16	大多喜町	西畑地区	西畑地区地域ぐるみ福祉協議会		24.7.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区内の住民が相互の交流をさかんにして、特に東日本大震災を契機として、希薄になっている隣組の絆を深め、助け合いながら地域福祉の向上を図るための座談会を通じて地域ぐるみ福祉を進める。	(1年目) ○西畑地区の様々なふれあい事業への新たな参加者・団体等を増員し、東日本大震災を契機に希薄になった隣組との絆を見直し、災害時要援護者に対して、安否確認や避難・救助などお互いに助け合う新たな地域づくりを進めるための検討会議を開催する。 ○広報誌等で地区社協の周知を図り、参加団体の協力及び多くの参加者を募集して、福祉意識向上の輪を広げていく。 (2年目以降) ○地域ぐるみ福祉協議会から発信して、多くの団体や個人と連携を深めていくため、検討会議を開催する。 ○地区社協の組織の拡充により、多くの参加団体やボランティアの協力を募るように努める。 ○問題解決に向けて、多くの参加者とともに勉強会を開催する。
17	大多喜町	総元地区	総元地区地域ぐるみ福祉協議会		24.8.14	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区内の住民が相互の交流を盛んにして、助け合いながら地域福祉の向上を図るための座談会を通じて地域ぐるみ福祉を進める。	(1年目) * 総元地区の様々なふれあい事業への新たな参加者・団体等を増員し、新たな地域づくりを考えるための検討会議を開催する。 * 「災害時ひとりも見逃さない運動」を通して、地区内の災害時の避難救助のありかたを検討し、体制づくりを検討する。 * 会議への参加団体を増進し、地域の福祉意識の輪を広げる。 (2年目以降) * 地区社協から発信し、多くの団体や個人と連携を深めていくため、検討会議を開催する。 * 組織の拡充により、より多くの参加団体や協力を募るように努める。 * 問題解決に向けての勉強会を開催する。
18	市原市	(有秋地区) 有秋東小学校区	市原市社協 有秋支部		24.9.18	200千円	市原市地域福祉計画及び市原市地域福祉活動計画に基づき、有秋東小学校区に居住する全ての人が「支え合い・助け合い」の仕組みをつくり、誰もが安全で安心して生活できる地域社会づくりを目指す事を目的とする。	(1年目) ①ネットワーク推進委員会を毎月1回実施し、具体的な活動に向けた取り組み内容の検討する。 ②ネットワーク役員会議を開催し、推進委員会での検討事項及び活動内容の進捗状況の把握、予算管理等を行い、具体的取り組み内容について検討、推進委員会へ図る。 ③地域へのネットワーク周知理解のため広報活動を行い、多くの住民に活動に賛同・参加してもらえるよう努める。 ④防災の取り組みとして、災害時における危険率の高い場所等の調査を実施する。 ⑤学校支援の取り組みとして、見守りあいさつ運動や学校行事に参加及び協力を行う。 (2年目以降) ①前年度と同様にネットワーク推進委員会やネットワーク役員会議などを開催し、取り組み内容の検討を実施する。また、広報活動や防災・学校支援に関する取り組みを継続する。 ②推進委員会のメンバーを活動内容ごとの専門部に分け、それぞれの分野での支援活動内容の検討する。
19	市原市	(有秋地区) 有秋西小学校区	市原市社協 有秋支部		24.9.18	200千円	市原市地域福祉計画及び市原市地域福祉活動計画に基づき、有秋西小学校区に居住する全ての人が「支え合い・助け合い」の仕組みをつくり、誰もが安全で安心して生活できる地域社会づくりを目指す事を目的とする。	(1年目) ①ネットワーク推進委員会を毎月1回実施し、具体的な活動に向けた取り組み内容の検討する。 ②ネットワーク役員会議を開催し、推進委員会での検討事項及び活動内容の進捗状況の把握、予算管理等を行い、具体的取り組み内容について検討し、推進委員会へ図る。 ③地域へのネットワーク周知理解のため広報活動を行い、多くの住民に活動に賛同・参加してもらえるよう努める。 ④防災への取り組みとして、各団体で実施する活動内容の整理及び検討を行う。 ⑤子ども支援の取り組みとして、学校行事に参加及び協力を行う。 (2年目以降) ①前年度と同様にネットワーク推進委員会やネットワーク役員会議を開催し、取り組み内容の検討を行う。また、広報活動や防災・子ども支援に関する取り組みについても継続していく。 ②推進委員会のメンバーを活動内容ごとの専門部に分け、それぞれの分野での支援活動内容の検討する。
20	船橋市	高根・金杉地区	高根・金杉地区社協		24.10.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、高根・金杉地域の活性化を図るために、安心して暮らせる街づくり会議を改正し、地域の皆さんと考えることとする。	(1年目) 地域福祉フォーラムを開催するにあたり、地域の団体や企業、福祉団体や町会住民を中心とした「街づくり会議」をたちあげ、安心して暮らせる地域を皆んなで考えていく。初年度は災害をテーマにとりあげ、講演会と避難所訓練等を行う。 (2年目以降) 地域住民が健康で安心・安全に生活できるよう、身近な話題として、笑いをテーマに「健康塾」を開催する。「健康塾」は地域福祉フォーラムの3年間の助成が終了しても、地区社会福祉協議会の事業として、継続していくことしたい。最終年度は、3年間の地域福祉フォーラムに関わりのある個人、団体が参加しまとめのシンポジウムを開催する。

21	茂原市	中の島地区	中の島地区社協	24.10.25	200千円	中の島地区の住民が連帯と協調性を持って活動を展開し、明るく地域内の差のない住みよい調和のあるまちづくりを目的とするため、地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目) 中の島地区社協は、民生委員児童委員を始め、各自治会・長寿会・小中学校ほか、各種団体の協力の元に地域福祉活動を展開している。平成23年度からは福祉教育パッケージ指定団体となり、更なる福祉活動を推進している。中の島地域においても高齢化問題、核家族化は大きな問題となっており、地域住民の相互扶助活動を活性化させるための仕組み作りが急務となっている。これらの実現の為、ニーズを把握し、専門部会、検討委員会等を立ち上げる活動を展開する。 (2年目) 地域で活動する様々な団体と協議し、アンケート等の実施によって地域の特性を調査研究し、必要な住民主体のサービスや仕組み作りについて話し合っていく。
22	市原市	(市原地区) 石塚 小学校区	市原市社協 市原支部	24.11.26	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、石塚小学校区の地域づくり等を検討して、地域の活性化を図る。	(1年目) ①石塚小学校区の各種団体との会議を定期的に行い、企画・運営を行う。また、地域課題の発掘及び課題解決に向けた検討協議を行う。 ②防犯パトロールの活動及び内容の検討、実施。 ③小学校PTAと連携した児童の見守り活動の検討、実施。 ④防災マップの作成、各世帯への配布。 ⑤広報誌の作成、発行。 (2年目以降) 前年度と同様にネットワーク会議・検討会を開催するとともに、防災活動や広報活動も継続的に行う。また、高齢者サロンの実施する。
23	市原市	(市原地区) 五所 小学校区	市原市社協 市原支部	24.11.26	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、五所小学校区の地域づくり等を検討して、地域の活性化を図る。	(1年目) ①石塚小学校区の各種団体との会議を定期的に行い、企画・運営を行う。また、地域課題の発掘及び課題解決に向けた検討協議を行う。 ②町会回覧等を利用した情報発信を行う。 ③関係団体の活動支援(スクールガード)を行う。 (2年目以降) 前年度と同様にネットワーク会議・検討会を開催するとともに、防災活動や啓発活動も継続的に行う。また、高齢者サロンの実施する。
24	市原市	(国分寺台地区) 国分寺台東 小学校区	市原市社協 国分寺台支部	25.2.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、国分寺台地区の地域づくり等を検討し、市原市国分寺台東小学校区地域の活性化を図る。	(1年目) ①「支えあい・助け合い」の仕組みをつくるための最初取り組みとして、地域住民の交流の促進とともに、ネットワークの活動の周知を図るため、各家庭にプレート配布する。 ②ネットワークを構成する団体の課題を把握するためのアンケート調査を実施する。また、今後の活動を検討するため、先進事例研究や専門家等を招いて研修会等を実施する。 (2年目以降) ①ネットワークを構成する団体の活動を知り、情報共有を図るための懇話会を開催する。 ②住民目線の地域課題把握のためのアンケートを実施する。 ③月1回の推進委員会を定期的に開催し、得られた課題に対応する部会を設置する。 ④諸団体の活動報告のための広報誌を発行する。 ⑤前年度と同様に専門家等を招いての研修会を実施する。 ⑥地域における喫緊の課題対応として、大規模災害の対応を速やかに図れるよう緊急時要援護者マップ作成に着手する。

平成23年度新規フォーラム一覧

設置数:13[基本:2、小域:11]

地域		事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	茂原市	茂原市社協	H23.5.19	200千円	茂原市住民が連帯と協調をもって活動を展開し、明るく住みよい調和のあるまちづくりを推進することを目的とし、地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)・地域の様々な団体を交え、茂原市全体の活性化を目指し、それに伴った課題についての話し合い、地域福祉フォーラムを開催する。 ・茂原市では小域福祉フォーラムが立ち上がっているため、基本福祉フォーラムとして、小域フォーラムの円滑な運営のための支援、バックアップを行っていく。 ・地域福祉啓発イベントを開催。地域住民に地域福祉についての理解と関心を深めてもらうことを目的として開催する。地域住民に地域福祉についての理解と関心を深めてもらうことを目的とする。 以上の3点を茂原市フォーラムの柱として活動を進めていく。 (2年目以降)・前年度の活動の反省を踏まえ、次年度以降も地域の活性化を目的とした、地域福祉フォーラムを開催する。 ・前年度と同様に、茂原市では8地区の小域福祉フォーラムが立ち上がっているため、基本福祉フォーラムとして、小域フォーラムの円滑な運営のための支援、バックアップを行っていく。 ・地域福祉啓発イベントの開催。地域住民に地域福祉についての理解と関心を深めてもらうことを目的とする。
2	船橋市	船橋市社協	H23.12.22	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、船橋市の地域づくり等を検討し、地域の活性化を図ることを目的とする。	(1年目) 平成23年度3月に「第2次船橋市地域福祉活動計画」を策定した。市活動計画の推進を図るために、市内24地区社会福祉協議会で「安心して住める地区社会を目指して」各地区社会福祉協議会で活動計画をつくり、推進していくための会議を開催する。 (2年目以降) 第2次船橋市地域福祉活動計画は5年計画であり、市内24地区社会福祉協議会において、「地域福祉力の向上」「明るい地域社会」を目指して検討協議を重ねて推進を図っていく。
3	茂原市 二宮地区	二宮地区社協	H23.5.19	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、二宮地区の安心安全なまちづくり等を検討し、二宮地域の活性化を図る。	(1年目)二宮地区は高齢化、核家族化さらには超高齢化夫婦世帯、独居の増加に伴い、地域ぐるみの防犯、防災対策の観点を加えた総合的なセーフティネットワークの構築が緊急の課題となってきた。これを機に地域福祉フォーラムを立ち上げ、二宮小、緑ヶ丘小両校区内の住民が一体となって相互扶助活動や防犯・防災・福祉活動に参加できる場をつくるため専門部会を創設する。地区社協構成団体・個人が中心となって住民に呼びかけあらゆる年代を包含した「二宮のまちづくりを語る会」を立ち上げる。 (2年目)地域福祉フォーラム「二宮地区安心安全まちづくり協議会」の意見・方向や地域住民の地域活動の実態をふまえてまちづくり活動を具体的に進めるための役割を担う専門部会を設置する。専門部会は必要機能で考え、総務部会などの部会の設置を考える。専門部会は、それぞれの目的・役割に従い、各種研修関係組織・器官、行政当局等との意見交換・研修・交流を図る。また、「二宮のまちづくりを語る会」を発展させる。地域住民や各種団体・サークルに呼びかけ、誰もが生きがいのある生活を営むことができる地域実現を目指して、活動するための動機付けの場として活用する。
4	茂原市 鶴枝地区	鶴枝地区社協	H23.5.19	200千円	鶴枝地区の住民が協調性をもって活動を展開し、明るく地域内の差のない住みよい調和のあるまちづくりを目的とするため、地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)○鶴枝地区の自治会、地区社協等多様な団体の参加を見込み、地区住民が連帯と協調性をもち、明るく住んでよかった【地区内の差がない住みよい調和のあるまちづくり】を実現するため、「鶴枝地区福祉フォーラム」を立ち上げる。 ○希薄化した地区住民の絆を深めるための各種事業の運営方法の懇話会を開催する。 ○専門部会(防犯防災、教育福祉文化、地区交流、環境衛生等)の設置を検討する。 (2年目以降)○地域福祉フォーラムの意見を踏まえ、鶴枝地区、地区内の差のない住みよい調和のあるまちづくりのため各専門部会ごとに活動する。 ○懇話会で参加者から募った意見を参考に地区交流等、地域づくりの推進を図る。 ○各専門部会は、地区住民をはじめ、行政機関等の意見交換等を密にし、課題解決に向けての事業推進を図る。
5	市原市 (三和地区) 光風台小学校区	市原市社協 三和支部	H23.8.19	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、三和地区の地域づくり等を検討し、光風台小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目)①ネットワーク推進員会議の開催。「支え合い・助け合い」のある地域づくりを模索する。 ②ネットワーク部会会議の開催。1.こども福祉関連。2.シニア福祉関連。3.その他地域福祉関連。 ③広報活動、小域福祉ネットワークに多くの住民が賛同・参加できるように広報・PR活動に努める。また、住民への周知と理解を深めるための方法を検討する。 ④研修会等への参加。知識と理解を深めるために、地域福祉フォーラム等の研修会への参加。 (2年目以降)前年度と同様にネットワーク推進員会議やネットワーク部会会議などを開催していく。また、広報活動や研修会への参加も行う。
6	匝瑳市 須賀地区	須賀地区社協	H23.8.19	200千円	サテライトでイサービス、歳末見舞品、施設訪問、災害時緊急時見回り安全確認などの活動に加え地域住民の手で高齢者の生活を守り安心・安全に暮らせる地域にしていくために「地域福祉フォーラム」を開設する。	(1年目)○フォーラム企画実行委員会。今年度の計画を実行していく上での委員会、選任された実行委員で2ヶ月に1回程度開催する。○高齢者へのアンケート調査を行い、今まで表面化しなかったニーズの掘り起こしを行う。○フォーラム便りの発刊。アンケートの調査結果を地区に公表する。内容・進行状況を周知するとともにフォーラム参加・協力も依頼する。 ○地域交流会開催。地域をあげての高齢者支援を実施するために、世代を超えた地域交流会を行う。○高齢者対策。日常生活における高齢者への手助けを検討し実施していく。 (2年目以降)○フォーラム企画実行委員会。○タウンミーティング。アンケート結果や実行委員会での話し合いの結果をふまえて、タウンミーティングを開催し、より多くの地域の方からの意見を集める。○フォーラム便りの発刊。○地域交流会開催。○高齢者対策を実施していく。



7	市原市	(三和地区) 市西小学校区	市原市社協 三和支部	H23.9.15	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、三和地区の地域づくり等を検討し、市西小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目)①ネットワーク推進委員会議の開催、町会長及び各種団体から構成されたメンバーが、地域の課題・問題点の具体的な解決に向けた活動の取り組み内容を検討する。定例的に会議を開催(2ヶ月毎)。 そのほかにも②他団体との調整会議や③広報活動、④研修会等への参加、⑤災害時緊急連絡体制の検討を行っていく。 (2年目以降)1年目と同様に①～④の事業を行っていくと共に⑤地域の交通問題について検討会を立上げるため、話し合っていく。
8	南房総市	滝田地区	滝田地区社協	H23.9.15	200千円	南房総市滝田地区の社会福祉を充実させ、地域住民が生きがいを持ち、安心して暮らせる地域社会づくりのあり方を探り、課題解決に取り組み、滝田地区の活性化を図る。	(1年目)滝田地区では、少子高齢化が顕著で、全地域住民の中で、独居老人や高齢者2人世帯の占める割合が高い。そのため、高齢者の医療や介護・健康問題・災害時の安否確認や避難支援活動等への関心も高く、それへの対応が求められている。またこれまで7クラブあった老人クラブは2クラブに減り、相互の交流の場も減ってきている。これらの実態を踏まえて「福祉フォーラム」を開催し、地域住民の福祉の向上と地域の活性化を図りたいと考えている。 (2年目以降)前年度の反省と住民のニーズを踏まえて、住民への福祉フォーラムについての理解の浸透を図ると共に活動の更なる充実発展のための方策を考え実施する。
9	大多喜町	老川地区	老川地区 地域ぐるみ福祉協議会	H23.9.20	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区内の住民が相互の交流をさかんにして、特に東日本大震災を契機として、希薄になっている隣組の絆を深め、助け合いながら地域福祉の向上を図るための座談会を通じて地域ぐるみ福祉を進める。	(1年目)本地区は高齢者の集いによる地域住民との交流事業を積極的に取り組んでいる。その事業への新たな参加者や団体等を増員して「災害時要援護者」に対して、安否確認や避難・救助など地域でお互いに助け合う新たな地域づくりを考えるための検討会を主催する。※会議への参加団体を増やして、地域環境の美化や福祉意識向上の輪をさらに広めていく。 (2年目以降)地域ぐるみ福祉協議会から発信して、多くの団体や個人との連携を深めてゆくと、検討会議を開催する。組織の充実・拡大により、より多くの参加団体や個人の協力を募るように努めてゆく。問題解決に向けて、多くの参加者とともにも勉強会を開催する。
10	市原市	(三和地区) 養老小学校区	市原市社協 三和支部	H23.11.22	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、三和地区の地域づくり等を検討し、養老小学校区の地域活性化を図る。	(1年目)町長会や各種団体から構成されたメンバーでネットワーク推進委員会議を開催する。また、他団体との調整会議や広報活動、災害時の避難体制や緊急連絡体制の検討、交通問題に関しての住民への周知及び課題・問題点の抽出を行う。 (2年目以降)1年目の事業を継続して行っていく。また、今後につなげるため、地域住民からの参加者の発掘方法を検討する。
11	南房総市	平群地区	平群地区社協	H23.11.22	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、平群地区の地域づくり等を検討し、地区内の活性化を図る。	(1年目)フォーラムを進めるために、実行委員会を立ち上げ、委員や地域の参加者の勉強会や近隣地区・先進地への視察研修等を行う。また、平群地区の住民へ、幅広くフォーラムについて理解してもらい、地域のよい点や課題について地域皆で話し合うフォーラムを実施する。 (2年目以降)前年度のフォーラムを受けて、地域課題の絞込みをする。更に課題解決に向けてのフォーラムを実施する。また、必要に応じて課題にあわせたシンポジウムを開催する。フォーラムで話し合われた意見は、地域づくりや地域福祉の活動に取り組み際の参考にする。
12	茂原市	豊岡地区	豊岡地区社協	H23.11.22	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、豊岡地区の安全安心なまちづくり等を検討し、豊岡地区の活性化を図る。	(1年目)子どもを取り巻く環境の中で、関係団体や地域団体の問題が露呈してきています。そこで、豊岡地区としていち早く解決する必要があるものを先送りにせず対応するための抽出を図ります。方法としては、アンケートの実施や各種団体での協議会を利用する。抽出後は解決しなければいけないテーマの決定を行う。 (2年目以降)解決しなければいけないテーマに対して「豊岡地区地域きずなフォーラム」を開催し、各種団体の方々と交流を持ち、問題解決を行う。
13	南房総市	国府地区	国府地区社協	H23.12.22	200千円	南房総市国府地区の社会福祉を充実させ、1人暮らし高齢者が安全で、安心して住める福祉の充実を検討し、実施する。	(1年目) 国府地区の生活文化を大切に、子どもから老人まで安心して生活できる生活環境を目指し、地域住民の交流を図り社会福祉の充実と住みよい明るい地域づくりを検討し実施する。 活動内容は、1実行員会の立上げ、2フォーラム開催・住民ニーズ把握調査実施、3安全で安心な生活環境の整備 (2年目以降) 前年度のニーズ調査を基に専門部会の設置等を検討し実施する。 活動内容は、1安心で安全な生活環境の整備、2地域包括ケア体制の構築、3追いつきに支え合う地域社会づくり、4子育て支援「なかよし広場」等、5高齢者や防災に関する勉強会等

平成22年度新規フォーラム一覧

設置数:35[基本:0、小域:35]

地域		事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	鎌ヶ谷市 西部地区	上総掘りでピオトープ ・西部地区 プロジェクト実行委員会	H22.6.15	200千円	新しい形の地域コミュニティを創出し、地域と子ども達の交流・憩いの場をつくる。千葉県の伝統技術である上総掘りで井戸を掘り、その水源を利用してピオトープをつくる。	(1年目)災害非常時に、上総掘りで作った井戸の水源を用いて避難住民などの支援に役立てる。そのため、日常的にピオトープを拠点とした「人の集まり」を構築していく。 ①ピオトープ周囲に休憩所を設け、地域住民や保護者の安らぎの場とすることで児童と大人のふれあいを図る。 ②ピオトープ周辺も話し合いやふれあいの拠点として活用されることが見込まれる。 ③民生委員児童委員、地区社協と協働することで、今まで以上のつながりを構築していく。 ④水源が確保できることから、炊き出し等の避難訓練に活用していく。 ⑤鎌ヶ谷市から備蓄倉庫がつけられることになっており、避難訓練に利用することができる。 (2年目以降)活動を展開していくことで、地域住民、ボランティア、民生委員児童委員、社会福祉協議会、自治会役員、消防団等の様々な団体が集まるためのきっかけとし、学校職員も含めて地域の課題解決や子どもを支援していくための協議や事業を展開していく。
2	白井市 大山口小学校区	大山口小学校区地区社協	H22.6.15	200千円	地域住民の地区社協に対する関心度、参画を高めることを目的として次のようなことを行う。自治会(町会)をはじめとする各種住民団体等と情報交換、話し合い、更には講演会等を通じて地域が抱えている各種の課題や要望について認識の共通化を図り、地域の新しい協働体制と役割分担の考え方を模索する。	(1年目)地域のあたらぬニーズを把握、解決するために、 ①コミュニティづくりを発展させ、各自治会などとの話し合い・情報交換を行い、地域の新たな協働のあり方、役割分担の考え方等についての共通認識を構築していくための活動を行う。 ②具体的には情報交換、話し合いのために他団体と協議し、詳細な計画をつくりあげる。 ③参考として、地域福祉フォーラムの先駆的な活動をされている団体などとの交流会を行う。 ④地区社協の行事参加者、ボランティアの方々との懇談会やアンケート調査を実施することにより新たなニーズの把握を行う。 (2年目以降)①前年度の活動を踏まえて事業評価を行い、計画の見直しを行いながら話し合い、情報交換の対象を広げていく。②自治会代表者が単年度で交代する地区が多いため、協議を通じて理解を深める。 ③前年度の話し合いを継続して行う。 ④防災関連については、白井市地域福祉フォーラムの協力仰ぎ、各自治会などとの話し合いの充実を図る。先駆的な地域づくり活動をしている地域福祉フォーラムや団体を講師に招きシンポジウムなどを開催し、今後の活動に活かしていく。
3	佐倉市 千代田地区	千代田地区社協	H22.6.21	200千円	高齢者、障がい者のための地域福祉マップ作成。マップの作成の活動を通して地域内の学校や消防・自治会・各種団体・一般住民との結びつきを深め、共に助け合って安心して生活できる街づくりを目指して、地域の福祉課題の発見・解決の一助とする。	(1年目)○地域福祉マップの具体化としてのたたき台作成。従来より千代田地区社協・障がい者福祉事業部で進めていた調査・とりまとめを基に、たたき台として試作版を作成。障がい者や高齢者に、或いは掲載の施設、店舗へ配布し意見・要望を聞き改善の糧とする。○福祉マップ作成についての理解・協力要請に努力。住民懇談会、町内会・自治会役員との懇談会、高齢者との食事会など地区社協活動の機会を利用して福祉マップ作成への理解、協力を求めるとともに、地域の一人として意見交換の場とする。 ○企画委員会の定期開催。地域福祉やマップ作りの専門家の指導を仰ぎ、また活動のスケジュールの徹底、進捗状況の確認に努める。 (2年目以降)企画委員会の定期開催や地域福祉マップ原稿の確認作業や校正・編集作業などを行う。3年目は地域福祉マップを印刷・製本して配布する。また住民福祉懇談会を開催する。
4	南房総市 丸山地区	丸山地区社協	H22.6.21	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、丸山地区の地域づくり等を検討し、丸山地域の活性化を図る。	(1年目)○フォーラム運営についての委員協議会を行い、目的を明確にし、意見の集約と意見統一(共有化)を図り、活動の方向を確認する。 ○住民のニーズ調査を行いフォーラムテーマ等を把握する。 ○ニーズ調査の結果を基に、地域の様々な団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。 (2年目以降)○住民ニーズ調査に対して出た意見・問題について、タウンミーティングを開催する。また、地域のより多くの方々に、地域の住民ニーズの実態を理解し、深めてもらう。 ○住民ニーズの意見・問題点に取り組んでいる先進地域の団体を見学し、意見交換を行ない、今後の活動の糧にする。 ○地域づくり・地域福祉の先進的な活動をしている市町村・団体等を招いてシンポジウムを開催する。
5	南房総市 白浜地区	白浜地区社協	H22.6.21	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、白浜地区の地域づくり等を検討し、白浜地区の活性化を図る。	(1年目)住民のニーズ調査実施。地域の住民に地域福祉フォーラムを理解してもらい、地域で不足するサービス、フォーラムへの参加の意向、フォーラムへ期待すること、フォーラムで検討すべきテーマ等を把握するための地区内で行っている事業等で参加者のニーズ調査を実施する。そして、その調査結果を基に、フォーラムを開催する。 (2年目以降)前年度の取り組みを継続すると共に、実施経過の分析を行い、より充実したフォーラムにしていく。活動としては、 ○講座の開催を実施する。 ○ニーズ調査の結果を基に、地域の様々な団体・個人が参加するフォーラムを開催する。 ○市の地域福祉計画、支援計画策定に向けた意見・提案を取りまとめるためにフォーラムを開催していく。 ○今後ますます加速していく少子高齢化に向け、必要とされる福祉サービスの充実を検討していく。
6	南房総市 和田地区	和田地区社協	H22.6.21	200千円	高齢化社会に対応していく地域社会づくりフォーラムの開催。	(1年目)地区社会福祉協議会委員等を中心に、地域住民に地域福祉フォーラムについての理解と参加を求め、住民ニーズを把握する。また、地域で求められているニーズについて、多くの方々の考えを考慮しながら、総合的に検討するためにフォーラムを開催する。 (2年目以降)座談会を開催し、情報交換・情報収集を行い、課題の整理をする。地域福祉に関する意識調査を実施し、地域内の実態調査を行なう。専門部会を設置して、各地区等、外部諸団体との連携を持ち、住民が関心あるテーマでの講演会講師を招いてセミナーを開催するとともに、地域の方々に広く呼びかけ、住民主体の福祉活動の展開を図る。

7	南房総市	稲都地区	稲都地区社協	H22.6.21	200千円	南房総市稲都地区の社会福祉を充実させ、1人暮らしの高齢者が安全で、安心して住める福祉の充実を検討し、実施する。	(1年目)稲都地区の社会福祉を充実させ、1人暮らし世帯の方が、住みなれた地域に安全で安心して住める福祉の充実を検討する。実際には実行委員会を立ち上げる。また、福祉ニーズ調査実施、1人暮らし世帯等の把握して、フォーラム開催する。 (2年目以降)地域福祉フォーラムを地域住民へ理解・浸透させる。前年度のニーズ調査を基に、地域の様々な団体・個人が参加するふフォーラムを開催し、また個別事業の検討を行なう専門部会を設置する。具体的な活動内容としては、専門部会の設置をし、1人暮らし世帯災害マップ作成などを行なう。また、1人暮らし世帯見回り隊(年齢随時)活動を行い、該当者と会食し、今までの反省・希望を聞く会を実施する。
8	南房総市	岩井地区	岩井地区社協	H22.6.21	200千円	地域フォーラムを設置し、岩井地区(小域福祉圏)の福祉まちづくり等を検討し、地区内の活性化を図る。	(1年目)○フォーラムの設置準備会。 ○住民アンケートを実施する。フォーラムで検討すべきテーマ等を把握するため地区内のアンケート調査を関係団体等の協力の基に実施する。また、アンケート結果を基に地域の様々な団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。 ○新たな地域資源の開発。 (2年目以降)来年度以降の事業は○地域福祉フォーラム計画策定に向けた意見・提案を取りまとめ、座談会を開催する。 ○専門部会の設置の検討を行なう。 ○前年度のアンケートを基に、検討会を開催、特に個別のニーズの検討を行なう。 平成24年度以降も、3年間の課程で培ったノウハウを最大限に活用し、地域づくりの先進的な活動を展開している団体とのネットワークを図り、地域福祉フォーラムを開催予定。
9	南房総市	上三原地区	上三原地区社協	H22.6.21	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、上三原地区の地域づくり等を検討し、上三原地域の活性化を図る。	(1年目)住民アンケートを実施。上三原地区の住民に地域福祉フォーラムを理解してもらい、地位で不足しているサービスやフォーラムで検討すべきテーマ等を把握し、実効性のある事業とするため自治会の協力を得てアンケートを実施する。また、先進地に類似する地域の活動を視察し、事業の充実を図る。 (2年目以降)各種団体を中心に意見交換会を行ない、そこで出された意見や提案を基にタウンミーティングを開催する。総括として、結果報告と先進的な活動をしている団体や関係機関を招いて、シンポジウムを開催する。事業の成果を基に、地域の賑わいや安心安全、生きがいづくりのための、活動を推進する。
10	南房総市	北三原地区	北三原地区社協	H22.6.21	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、北三原地区の地域づくり等を検討し、北三原地域の活性化を図る。	(1年目)地域の住民に地域福祉フォーラムを理解してもらい、地域で不足するサービス、フォーラムへの参加の意向、フォーラムへ期待することやフォーラムで検討すべきテーマ等を把握するため地区内でアンケート調査を自治会・民生委員等の協力の基に実施する。アンケート結果を基に、地域の様々な団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。 (2年目以降)前年度のアンケートを基に、個別事業の検討を行なう専門部会を設置する。(不足しているサービスと既存・新規資源の検討)また、地域の意見・提案を取りまとめるための、タウンミーティングを開催する。平成23年度以降も、地域づくり・地域福祉の先進的な活動をしている市町村・団体等を招いてシンポジウムを開催する。
11	南房総市	南三原地区	南三原地区社協	H22.6.21	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、南三原地区の地域づくり等を検討し、南三原地域の活性化を図る。	(1年目)地区社会福祉協議会等の委員を中心に、地域住民に地域福祉フォーラムについて説明会を開催し、地域住民のニーズを把握する。また、地域で求められているニーズなどを拾い上げるために、地域福祉フォーラムを開催し、三新地の視察研修を実施する。 (2年目以降)地域住民の意見を取りまとめ、地域の多様な団体の活動を基に、地域福祉フォーラムを開催する。事業を継続展開しながら、地域住民の要望を拾い上げ、地域の活性化を図るために地域福祉フォーラムを開催する。
12	茂原市	東部地区	東部地区社協	H22.6.21	200千円	東部地区住民が連帯と協調をもって活動を展開し、明るく住みよい調和のある町づくりを推進することを目的として、地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)今後、地域住民と地区社会福祉協議会の活動拠点である東部台文化会館を中心に地域住民の全てが参加できるような組織体制を構築するための検討会(懇談会)を組織して、地域ニーズをくみ上げ、希薄化した地域住民相互の絆をより親密にする方策を模索する会議を開催する。 (2年目)懇談会を継続的に開催しながら、参加者からの意見を取りまとめ、関係各機関や団体との協力関係の構築を図り、より多くの住民の参加を得るため、地域の自治会等の団体との協力をしながら啓発活動を継続し、地域づくりのためのフォーラムとしての基盤を強化する。また、懇談会の開催に併せて、地区社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業を通じて、特に児童・高齢者・障害者に関わる防犯・防災等地域の福祉課題や生活課題の検討・把握・解決につなげる対策に発展させていきたい。
13	茂原市	北部地区	北部地区社協	H22.6.21	200千円	北部地区住民が連帯と協調を持って活動を展開し、明るく住みよい調和のある町づくりを推進することを目的として、地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)現状から初年度において、いきいきサロン等地区社協の活動を中心にすえ、サロン部会を開催し、サロン終了者参加者の有志による話し合いを持つことにより、地域の様々な課題や地域住民のニーズをくみ上げ、活動方針の策定を資とする。 (2年目)地域福祉フォーラム(座談会)への参加者の枠を広げ、福祉関係以外の各分野の方々(商工関係、防災・防犯関係、子ども会育成会関係、医療関係等)の参加を求め、座談会を開催し、地域における課題やニーズの一層の明確化を図る。世代間交流事業の一層の推進を図るため保育園児、小・中学校の児童生徒の父兄に対し積極的に参加協力を呼びかけ「三世代交流」を展開する。子育て支援への取り組みは、主任児童委員、保健センター(保健師)と連携し、子育てサロンの開発及び、ネットワークの構築を推進する。

14	市原市	国分寺台小学校区	市原市社協五井支部	H22.8.31	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、五井地区の地域づくり等を検討し、国分寺台小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目)①座談会の開催。学区区会議・学校行事等を活用し、座談会を開催し地域課題等を情報収集を図る。 ②住民アンケート実施。座談会を開催し、地域課題の把握に努める。 ③ネットワーク会議の開催。定例会議や地域課題発掘方法及び取り組み、課題解決方法について検討する。 ④部会活動。課題の部会を設置し、解決方法の検討をする。 ⑤広報活動。広報紙を発行し、ネットワークの宣伝を行い、活動に賛同できる方の発掘に努める。 ⑥視察研修会の実施。知識と理解を深めるために、地区社協や地域福祉フォーラムでの取り組みについて視察。 (2年目以降)1年目と同様に座談会やネットワーク会議や広報活動を行う。その他、研修会への参加・実施をしていく。知識と理解を深めるため、コミュニティソーシャルワーカー研修への参加、講義形式での研修会を実施を考えている。場合によっては住民への啓発をかねた研修も視野に入れ検討したい。また、座談会によって把握した情報をもとに、高齢者・子どもの見守りを中心として解決方法を検討していく。常設の居場所作りを目指し安否確認体制も検討する。
15	市原市	(姉崎地区) 明神小学校区	市原市社協姉崎支部	H22.8.31	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、姉崎地区の地域づくり等を検討し、明神小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目)①座談会の開催。児童に的を絞って定期的に小学校区内の通学時下校時の見守りと防犯協力などについて自治会館・学校等を利用し、座談会を開催し地域課題等の情報収集を図る。 ②住民アンケートの実施。座談会のほかに地域課題の把握に努める。 ③ネットワーク会議の開催。ネットワーク構成メンバーと各種団体との具体的な活動に向けた取り組み内容の検討。 ④明神小学校区内での福祉資源の洗い出し作業。 ⑤近隣の子育て支援、児童施設等福祉資源の視察。知識と理解を深めるために、施設見学やボランティア活動の見学を実施。 (2年目以降)1年目と同様に座談会・アンケート・ネットワーク会議を行う。また、広報活動や近隣の障害者、高齢者施設等福祉資源の視察を行う。知識と理解を深めるために、老人ホーム等の施設見学や地域でのボランティア活動の見学を実施。
16	南房総市	千倉地区	千倉地区社協	H22.8.31	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、千倉地区の地域づくりを検討し、千倉地域の活性化を図る。	(1年目)○住民アンケートの実施。フォーラムで検討すべきテーマ等を把握のために自治会・民生委員等の協力の基に実施する。 ○アンケート結果を基に、地域の様々な団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。 (2年目以降)○市の計画策定に向けた意見・提案をとりまとめるための、タウンミーティングを開催する。 ○市の計画の実現に向けた取り組みを行うため、専門部会を設置し検討を行う。 ○前年のアンケートを基に、個別事案の検討を行う専門部会を設置する。 平成22年度以降も、地域づくり・地域福祉の先進的な活動をしている市町村・団体等を招いてシンポジウムを開催する。
17	茂原市	中央地区	中央地区社協	H22.8.31	200千円	中央地区住民が連帯と協調をもって活動を展開し、明るく住みよい調和のあるまちづくりを推進することを目的とするため、地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)茂原市中央地区において、住民主体の自主防災組織を立ち上げることを目的に、地域の任意組織である自治会を中心に参加を募り、組織化に向けて地域での意識調査などを行なう。 委員会を組織して調査結果をもとに市役所や消防署の協力を得ながら、地域住民に自主防災についての意識の向上と防災技術の習得を図るために、講習会やフォーラムを開催する。 (2年目以降)前年度の取り組みを継続するとともに、地域住民に自主防災についての理解を深めてもらうための講習会を開催し、地域(自治会単位)での防災についての取り組み方のマニュアルを作成する。 地域内の全ての自治会に自主防災組織を立ち上げることを目標に継続したフォーラムとしての活動を実施する。
18	香取市	津宮地区	津宮地区社協	H22.9.21	200千円	津宮地区社協は、地域全体で支えあえる福祉社会の実現を目指しています。そのような地域にするためには高齢者等支援を必要としている人々の生活や課題を理解することが重要です。住民誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催するとともに、懇談会での意見や要望を基に、市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築を目指します。	(1年目)津宮地区社協は「津宮小ミニ集会」と「配食サービス」、「敬老会」を中心に事業を展開しています。特に「敬老会」には地区内の津宮小学校の運動会に合わせて開催され、各種団体より多くの方々に参加していただいているため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立されているものと思われます。このネットワークを利用して、子どもだけでなく、障害者や高齢者等あらゆる支援の必要な方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるにはフォーラムとしてどうしたら良いかを地域福祉懇談会を開催し、考えていきたいと思っています。 (2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催し、そこで得たニーズを取りまとめ、市や市社協と連携し、当地区にマッチした新たな地域福祉サービスの推進に努めたいと考えます。現在も協力していただけるフォーラムのメンバーだけでなく、より多くの分野の皆さんにフォーラムに参加していただくことを重要視しています。このことから、助成期間後も、地域の方々に広く呼びかけ住民主体の住民のための地域福祉活動の展開を目指したいと思っています。
19	香取市	香西地区	香西地区社協	H22.9.21	200千円	香西地区社協は地域全体で支えあえる福祉社会の実現を目指しています。そのような地域にするためには高齢者等支援を必要としている人々の生活や課題を理解することが重要です。住民誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催するとともに、懇談会での意見や要望を基に、市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築を目指します。	(1年目)香西地区社協は「友愛訪問」と「配食サービス」を中心に事業を展開しています。特に20年度より「福祉教育推進団体」として以前はあまり関わりのなかった福祉教育に関する各種団体より多くの方々に参加していただいているため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立されているものと思われます。このネットワークを利用して、子どもだけでなく、障害者や高齢者等あらゆる支援の必要な方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるにはフォーラムとしてどうしたら良いかを地域福祉懇談会を開催し、考えていきたいと思っています。 (2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催し、そこで得たニーズを取りまとめ、市や市社協と連携し、当地区にマッチした新たな地域福祉サービスの推進に努めたいと考えます。現在も協力していただけるフォーラムのメンバーだけでなく、より多くの分野の皆さんにフォーラムに参加していただくことを重要視しています。このことから、助成期間後も、地域の方々に広く呼びかけ住民主体の住民のための地域福祉活動の展開を目指したいと思っています。

20	香取市	本宿地区	本宿地区社協	H22.9.21	200千円	本宿地区社協は、地域全体で支えあえる福祉社会の実現を目指しています。そのような地域にするためには高齢者等支援を必要としている人々の生活や課題を理解することが重要です。住民誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催するとともに、懇談会での意見や要望を基に、市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築を目指します。	(1年目)本宿地区社協は「いきいきふれあいタイム」と「施設慰問」、「いきいきふれあい旅」を中心に事業を展開しています。特に「いきいきふれあい旅」には、各種団体より多くの方々に参加していただいているため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立されているものと思われます。このネットワークを利用して、子どもだけでなく、障害者や高齢者等あらゆる支援が必要な方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるにはフォーラムとしてどうしたら良いかを地域福祉懇談会を開催し、考えていきたいと思えます。 (2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催し、そこで得たニーズを取りまとめ、市や市社協と連携し、当地区にマッチした新たな地域福祉サービスの推進に努めたいと考えます。現在も協力して下さるフォーラムのメンバーだけでなく、より多くの分野の皆さんにフォーラムに参加していただくことを重要視しています。このことから、助成期間後も、地域の方々に広く呼びかけ住民主体の住民のための地域福祉活動の展開を目指したいと思えます。
21	旭市	滝郷地区	滝郷地区社協	H22.9.28	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、旭市滝郷地区の地域づくりを検討し、滝郷地区の活性化を図る。	(1年目)滝郷地区社会福祉協議会では、本役員会及び総会で地域福祉フォーラムの課題を協議した結果「高齢者の防犯、児童の交通安全、米の盗難について」をテーマに開催する。 ○地域福祉フォーラム役員の確保。 (2年目以降)「高齢者の防犯、児童の交通安全、米の盗難について」について、前年度同様、継続するとともに、テーマについて理解を深め、更に役員相互の協力を求める。また、前年度にでた意見を集約し、地域福祉フォーラムメンバー及び本役員会、具体的行動について協議する。また、それぞれのメンバーが役割分担できるように部会を立ち上げることを検討する。 助成期間終了後も解決できる課題については、地区社協事業に盛り込み、また、解決が困難な課題については警察、消防団、行政等の関係機関と連携を図る。また、協力体制の確立を具現化地域福祉フォーラム等座談会、意見交換会を継続して実施したいと考えている。
22	南房総市	富浦地区	富浦地区社協	H22.9.28	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、富浦地区の地域づくりを検討し、富浦地域の活性化を図る。	(1年目)地区社会福祉協議会等の委員を中心に、地域住民に地域福祉フォーラムについて説明会を開催し、地域住民のニーズを把握する。また、地域で求められているニーズなどをひろいあげる為に地域福祉フォーラムを開催し、先進地の視察研修を実施する。 (2年目以降)住民アンケートの実施。地域の住民に地域福祉フォーラムを理解してもらい、地域で不足するサービス、フォーラムの参加の意向、フォーラムへ期待すること、フォーラムで検討すべきテーマ等を把握するために、区内各世帯のアンケート調査を自治会・民生委員等の協力の基に実施する。アンケート結果を基に、地域の様々な団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。
23	八街市	実住中央地区	実住中央地区社協	H22.9.28	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、実住中央地区の地域づくり等を検討し、「福祉防災フォーラム～地域防災ネットワークづくりを目指して～」をテーマに実住中央地区の活性化を図る。	(1年目)●福祉防災フォーラム～地域防災ネットワークづくりをめざして～をテーマに小域地域福祉フォーラムを展開していく。 ●住民のニーズの把握及び調査の実施。今後、地域福祉フォーラムを理解してもらい、地域で不足するサービス、フォーラムへの参加の意向、フォーラムへ期待すること、検討すべきテーマ等を把握するため調査を、区・自治会・民生委員等の協力を基に実施する ●住民のニーズの把握及び調査の結果を基に、地域の様々な団体、個人が参加する福祉防災フォーラムを開催する。 (2年目以降)●前年の調査を基に、地域防災ネットワークづくりなどの個別事業の検討を行う専門部会を設置する。 ●次年度以降、最終年度以降も地域づくり、地域の先進的な活動をしている市町村・団体等を招いてシンポジウムを開催するなど、フォーラムとしての活動を継続的に行っていく。
24	市原市	(姉崎地区) 青葉台小学校区	市原市社協 姉崎支部	H22.11.22	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、姉崎地区の地域づくり等を検討し、青葉台小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目)○地域の子どもから高齢者・障害者(地域の誰でも)が集えるサロンの設置。○地域の福祉・文化の向上事業。絵画展示会・陶芸展示会・書道展示会等。○子どもの育成・相談コーナー。○医療・介護・行政相談コーナー。○小域福祉ネットワークの推進拠点。○地域のニーズ調査(アンケート等による)を実施する。初年度はアンケート等を通したニーズ調査、随時議論の場(フォーラム)を設けていくための拠点を確保を優先して行っていく。 (2年目)1年目の事業を継続していくとともに、次年度以降は、サロン・相談コーナー等を利用して、随時住民同士で地域課題等について話し合いを行っていく。
25	香取市	八都小学区地区	八都小学区地区社協	H22.11.22	200千円	八都小学区地区社協は、誰もが安心して暮らせる地域を目指しています。そのような地域にするためには地域の福祉ニーズを把握することが重要です。地域住民が誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催するとともに、懇談会での意見や要望を基に市と市社協と関係団体等と協力し、それらに対応する事業の構築を目指します。	(1年目)八都小学区地区社協は「子ども達と高齢者との世代間交流」「バスハイキング」「敬老会」「学校・福祉施設環境美化支援」や「友愛訪問等」を中心に事業を展開しています。特に「子ども達と高齢者との世代間交流」では学校や保育園、父兄や老人クラブ会員や施設入居者、ボランティアなど多くの方々に支えられ地域福祉を推進しています。今後はこのような事業を展開しながらネットワークの強化を図り、住民が地域で安心して暮らせるにはどうしたら良いかを地域福祉懇談会等を開催し、考えていきたいと思えます。 (2年目以降)引き続き地域福祉懇談会等を開催し、地域福祉に関する要望などをまとめ、市や市社協、関係団体と協議・連携し当地区に必要な地域福祉サービスの推進に努めたいと考えます。 助成期間終了後も先進的な地域福祉活動を展開している地区や行政、他機関と連携し、地域の方々に広く呼びかけ住民主体の住民のための地域福祉活動の展開を目指したいと思えます。

26	香取市	八都第二小学区地区	八都第二小学区地区社協	H22.11.22	200千円	八都第二小学区地区社協は、誰もが安心して暮らせる地域を目指しています。そのためには福祉ニーズを把握することが重要です。地域住民が誰もが参加できる「地域福祉懇談会」を開催するとともに、懇談会での意見や要望を基に市と市社協と関係団体等と協力し、それらに対応する事業の構築を目指します。	(1年目)八都第二小学区地区社協は「世代間交流」「バスハイキング」「敬老会」「学校・福祉施設環境美化支援」や「友愛訪問等」を中心に事業を展開しています。これら各種事業では学校や、父兄や老人クラブ会員やボランティアなど多くの人々に支えられ地域福祉を推進しています。今後はこのような事業を展開しながらネットワークの強化を図り、住民が地域で安心して暮らせるにはどうしたら良いかを地域福祉懇談会等を開催し、考えていきたいと思ひます。(2年目以降)引き続き地域福祉懇談会等を開催し、地域福祉に関する要望などをまとめ、市や市社協、関係団体と協議・連携し当地区に必要な地域福祉サービスの推進に努めたいと思ひます。助成期間終了後も各種機関と連携し、地域の方々に広く呼びかけ住民主体の地域福祉活動の展開を目指したいと思ひます。
27	香取市	府馬小学区地区	府馬小学区地区社協	H22.11.22	200千円	府馬小学区地区社協は、誰もが安心して暮らせる地域を目指しています。そのために地域の福祉ニーズを把握することが重要です。地域住民が誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催するとともに、懇談会での意見や要望を基に市と市社協と関係団体等と協力し、それらに対応する事業の構築を目指します。	(1年目)府馬小学区地区社協は「園児と高齢者との世代間交流」「バスハイキング」「敬老会」「学校・福祉施設環境美化支援」や「友愛訪問等」を中心に事業を展開しています。特に「園児と高齢者との世代間交流」では学校や保育園、父兄や老人クラブ会員や施設入居者、ボランティアなど多くの方々に支えられ地域福祉を推進しています。今後はこのような事業を展開しながらネットワークの強化を図り、住民が地域で安心して暮らせるにはどうしたら良いかを地域福祉懇談会等を開催し、考えていきたいと思ひます。(2年目以降)引き続き地域福祉懇談会等を開催し、地域福祉に関する要望などをまとめ、市や市社協、関係団体と協議・連携し当地区に必要な地域福祉サービスの推進に努めたいと思ひます。助成期間終了後も各種機関と連携しながら地域の方々に広く呼びかけ住民主体の地域福祉活動の展開を目指したいと思ひます。
28	香取市	山倉小学区地区	山倉小学区地区社協	H22.11.22	200千円	山倉小学区地区社協は、誰もが安心して暮らせる地域を目指しています。そのために福祉ニーズを把握することが重要です。地域住民が誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催するとともに、懇談会での意見や要望を基に市と市社協と関係団体等と協力し、それらに対応する事業の構築を目指します。	(1年目)香取市社会福祉協議会山倉小学区地区社会福祉協議会は「子ども達と高齢者との世代間交流」「バスハイキング」「敬老会」「学校・福祉施設環境美化支援」や「友愛訪問等」を中心に事業を展開しています。これら各種事業では学校や、父兄や老人クラブ会員やボランティアなど多くの人々に支えられ地域福祉を推進しています。今後はこのような事業を展開しながらネットワークの強化を図り、子どもだけではなく障害者や高齢者等あらゆる支援の必要な方々が、住みなれた地域で安心して暮らせるにはフォーラムとしてどうしたら良いかを地域福祉懇談会等を開催し、考えていきたいと思ひます。(2年目以降)引き続き地域福祉懇談会等を開催し、地域福祉に関する要望などをまとめ、市や市社協、関係団体と協議・連携し当地区に必要な地域福祉サービスの推進に努めたいと思ひます。助成期間終了後も先進的な地域福祉活動を展開している地区や行政、他機関と連携し、より多くの分野の皆さんにフォーラムに参加していただけるように地域の方々に広く呼びかけ住民主体の住民のための地域福祉活動の展開を目指したいと思ひます。
29	香取市	第一山倉小学区地区	第一山倉小学区地区社協	H22.11.22	200千円	第一山倉小学区地区社協は、誰もが安心して暮らせる地域を目指しています。そのために福祉ニーズを把握し理解することが重要です。地域住民が誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催するとともに、懇談会での意見や要望を基に市と市社協と関係団体等と協力し、それらに対応する事業の構築を目指します。	(1年目)香取市社会福祉協議会第一山倉小学区地区社会福祉協議会は「子ども達と高齢者との世代間交流」「バスハイキング」「敬老会」「学校・福祉施設環境美化支援」や「友愛訪問等」を中心に事業を展開しています。これら各種事業では学校や、父兄や老人クラブ会員やボランティアなど多くの人々に支えられ地域福祉を推進しています。今後はこのような事業を展開しながらネットワークの強化を図り、子どもだけではなく障害者や高齢者等あらゆる支援の必要な方々が、住みなれた地域で安心して暮らせるにはフォーラムとしてどうしたら良いかを地域福祉懇談会等を開催し、考えていきたいと思ひます。(2年目以降)引き続き地域福祉懇談会等を開催し、地域福祉に関する要望などをまとめ、市や市社協、関係団体と協議・連携し当地区に必要な地域福祉サービスの推進に努めたいと思ひます。助成期間終了後も先進的な地域福祉活動を展開している地区や行政、他機関と連携し、より多くの分野の皆さんにフォーラムに参加していただけるように地域の方々に広く呼びかけ住民主体の住民のための地域福祉活動の展開を目指したいと思ひます。
30	市原市	(若宮地区) 若宮小学校区	市原市社協 市原支部	H22.12.13	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、若宮小学校区の地域づくり等を検討し、地域の活性化を図る。	(1年目)1、ネットワーク会議の開催。2、アンケート調査・実態調査、小学校区の全所帯に対して、高齢者のアンケート調査を検討、実施、地域課題の確認を行なう。3、要援護者支援検討。上記で行なったアンケートの結果に対して、地域課題としての要援護者対策の検討を行う。4、高齢者・乳児サロンの設置検討。小学校区の対象者に対して、随時情報交換が出来る場、悩み相談が出来る話し合いの場を設置、検討を行う。(2年目以降)1、ネットワーク会議を行う。2、要援護者支援活動。要支援者の見守り隊を設置し、継続的な活動を行う。3、乳児サロンの実施。週1回のサロンを開催し、0～1歳児の育児に対する親の悩みについて話し合いを出来る場を作る。4、高齢者サロンの開設。ふれあいいきいきサロンを行い、誰でも気軽に話が出来る場所の開設を行なう。5、助け合い活動の設置準備。お年寄りが、ちょっと出来ない事柄をお手伝いしてあげる体制の準備を行う。助成期間以降も随時話し合いの場を設け、また、地域課題を解決していくことができるように環境を整えていく。
31	八街市	実住地区	実住地区社協	H22.12.13	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、「安心して暮らせる美しい街づくりを目指して」をテーマに、非常災害時の対応について検討し、実住地区の活性化を図る。	(1年目)災害からわが身、わが町を守るため、まずは基礎知識を深めるための研修を実施する。その後地域住民の災害に対する意識の高揚を図るため、すでに発足している実行委員会や講演会のフォーラムを実施する中で、「災害の怖さを知る」「災害への備え」「災害への対応」など、自主防災、地域防災の基礎づくり、ネットワークづくりについて検討していく。具体的な内容としては 12月3日：災害に関する研修会の実施。2月13日：平成22年度実住地区社協小域地域福祉フォーラムの開催。 (2年目以降)フォーラムのテーマである「安心して暮らせる美しい街づくりを目指して」の実現を目指して、1年目にフォーラム・研修会で把握した現状や課題に対して、次年度以降も実行委員会を中心に、話し合いを重ねて検討・実施していく。
32	市原市	(ちはら台地区) 牧園小学校区	市原市社協 ちはら台支部	H22.1.5	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、ちはら台地区の地域づくり等を検討し、牧園小学校区地域の活性化を図る。	(1年目)①ネットワーク会議の開催。各種団体と座談会開催に向けた企画・運営。 ②座談会の開催地域内、地域近隣の福祉施設の調査項目検討、範囲等の座談会開催。 ③アンケート調査の実施。地域福祉に関する意識調査を実施し、地域住民のニーズや人材などの把握と地域内の実態調査。 ④広報活動。広報紙の発行をし、地域福祉に対する参加の呼びかけ及び啓蒙を行なう。ちはら台ケーブルTVを活用し、参加の呼びかけ及び啓蒙を行なう。ちはら台コミュニティだよりを活用し、参加の呼びかけ及び啓蒙を行なう。 (2年目以降)1年目と同様にネットワーク会議や座談会、広報活動を行っていく。また、ボランティア委員会の開催する。地域での助け合い活動の実践のため、把握した人材をネットワーク化し、情報交換と新たな人材の発掘を行なっていく。

33	旭市	鶴巻地区	鶴巻地区社協	H22.1.5	200千円	地域福祉フォーラムを設置し旭市鶴巻地区の地域づくりを検討し、鶴巻地区の活性化を図る。	(1年目)鶴巻地区社協では、幅広い選出区分の委員が中心となり、活動してきた。これまで本会役員会で地域福祉フォーラムの課題を協議した結果「ゴミの不法投棄、児童・生徒の登下校の支援、高齢者の生活安全について」をテーマに開催する。地域福祉フォーラム役員の確保。更なる組織体制の充実を図るため、このテーマに関連ある団体や、興味をもつ個人にも地域福祉フォーラムに積極的に参加して頂くための呼びかけを実施する。 (2年目)2年目以降については、テーマである「ゴミの不法投棄、児童・生徒の登下校の支援、高齢者の生活安全」について、前年度同様、継続すると共に、テーマについての理解を深め、更に役員相互の協力を求める。また、前年度に出た意見を集約し、具体的行動について協議する。また、それぞれのメンバーが役割分担できるよう部会を立ち上げることを検討する。 助成期間終了後も解決できる課題については、社協事業に盛りこみ、また解決が困難な課題については警察、行政等の関係機関と連携を図る。また、協力体制の確立のため、地域福祉フォーラム等座談会・意見交換会を継続して実施したいと考えている。
34	旭市	古城地区	古城地区社協	H22.1.5	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、古城地区の地域づくり等を検討し、古城地域の活性化を図る。	(1年目)○テーマ…古城地区社会福祉協議会員で検討を重ねた結果、テーマを「防災・防犯」とする。○協力メンバーの増強…地域福祉フォーラムを実施するにあたり、地域住民の理解とメンバー、協力者を増やして組織の強化を図る。また、地域福祉フォーラム開催の際、広く古城地区地域住民の参加を促し、活発な意見交換ができる地域福祉フォーラムとする。○地域福祉フォーラムの開催…テーマである「防災・防犯」について、地域福祉フォーラムを開催する。 (2年目以降)○課題についてかいつく方法の模索…前年度の地域福祉フォーラム、ミニフォーラムで出た意見について、集約をし、解決方法を検討する。必要があれば、課題別に検討する部会を設置する。○地域福祉フォーラムのステップアップ…先進的な活動をしている地域の代表者等の講師を呼び、講演会の開催及び座談会を継続していく。○地域福祉フォーラム設置支援事業終了後も事業を継続できるように検討を重ねる。
35	船橋市	三咲地区	三咲地区社協	H23.1.20	200千円	三咲地区の地域活性化と世代間交流を広げるために地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)地域における様々な福祉について定義やあり方を学び、参加者がディスカッションを通じ、安心して暮らせて楽しく過ごせるテーマを題材に講演会等を開催する。 (2年目以降)地域が元気で明るく暮らせる課題を事例などを通じて対話しながら地元活性の創出を図るテーマに絞り、フォーラムを開催する。期間満了後には3年間の活動実績を踏まえて、福祉力・組織力・活動力・ボランティア力を質・量ともに拡大していく。

平成21年度新規フォーラム一覧

設置数:51[基本:4、小域:47]

地域		事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	浦安市	浦安市社協	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムの設置により、地域課題の解決に向けて市民や様々な機関が、積極的に取り組むきっかけとなるような啓発イベントや会議等を開催し、具体的な地域づくりの検討と地域福祉の活性化を図ることを目的とする。	(1年目)浦安市地域福祉活動計画の策定に関連した会議・研修会を開催する。地域住民に広く地域福祉についての啓発を行う場として、「歳末チャリティ映画まつり」の際に、支部社協の活動紹介を行うとともに、地域の住民に地域福祉フォーラムを理解してもらい、地域で不足するサービス、フォーラムへの参加意向、期待すること、検討すべきテーマ等を把握するためのアンケート調査を実施する。 (2年目以降)地域福祉フォーラムを各地域で推進していくにあたり、各少小域地域福祉フォーラムの設置主体である支部社協推進委員を対象に、ひとりひとりが活動の目的を共有して活動していくための研修会を実施する。地域福祉活動啓発イベントを来年度も継続して実施する。地域福祉活動計画推進に関する進捗管理及び評価を行う。
2	佐倉市	佐倉市社協	H22.2.10	200千円	佐倉市地域福祉活動計画の推進、評価、策定を通じて、市民及び行政機関等との連携、協働による佐倉市圏内における地域福祉の推進を図る。	(1年目)地域住民に地域福祉の推進について理解してもらい、地域で抱える課題や意見を把握するため、市内4地区社協、民生委員児童委員協議会、保護司会、各種ボランティア団体、高齢者クラブ、福祉施設等並びに行政や市民に広く呼びかけ、「お互いさまのまちづくり」について考えるフォーラム(内容は講演会及び活動報告)を開催する予定である。 (2年目以降)平成22年度に、地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定に向けた、意見・提案を取りまとめるためのタウンミーティングを開催する。地域福祉活動計画の策定、推進に向けた取り組みを行うため、委員会を設置し、検討を行う。平成23年度に、地域福祉計画及び地域福祉活動計画実現のための地域福祉推進フォーラムを開催する。
3	市川市	市川市社協	H22.2.10	200千円	地域の課題や問題を住民同士が共有し、住民が主体的にそれらの課題を解決していくことをめざし、住民や地域の各種団体の関係者等が集まって交流や情報交換できる会議やフォーラムを開催する。	(1年目)市川市社協がめざすのは、「向こう三軒両隣」の様なご近所同士の顔が見え、困ったときには「お互いさま」と言って助け合える地域である。そのためにも、まずは市川市社協が中心となり自治会連合(町)会、市内14地区社協、民生委員児童委員協議会、保護司会、各種ボランティア団体、高齢者クラブ、福祉施設等並びに行政や市民に広く呼びかけ、「お互いさまのまちづくり」について考えるフォーラム(内容は講演会及び活動報告)を開催する予定である。 (2年目以降)次年度以降もフォーラムを継続して開催する。「防犯」や「子育て」といったテーマを設定してより具体的な内容にしていく予定である。また、より多くの関係団体が相互連携できるよう、市内の地域福祉推進に関係する各種団体に呼びかけ、「基本フォーラム関係団体連絡会議(仮称)」を立ち上げ、各種団体の活動紹介や地域の課題について話し合える機会を設けるとともに、会議での成果や問題提起等をフォーラムの場を活用して行うという展開を進めていく予定である。 助成終了後も活動を維持、強化していけるよう、具体的な取り組みについて検討していく。
4	香取市	香取市社協	H22.2.10	200千円	地域福祉フォーラムの設置により、地域の福祉課題や生活課題の解決に向けて、住民や各種団体が誰でも参加できる「話し合いの場」を設け、地域福祉の活性化を図る。また、市の「見守りネットワーク」と連携し、平常時や災害時等におけるたすけあいのネットワークづくりを推進する。	(1年目)地域の福祉課題や生活課題の解決に向けて、住民や各種団体等だれでも参加できる「話し合いの場」の設置を目標にする。準備段階として、「地区社協」の会員を対象とした研修会を開催し、公的なサービスでは対応が難しい福祉課題や生活課題に対してどのように対応していくのか等、地域で問題解決していくための意識づけを図りたい。だれでも参加できる「話し合いの場」を設置するためには、住民に地域福祉やフォーラムについて理解していただくことが重要である。「地域が必要とするサービス」や「住民が担うことができること」等を把握するため、アンケート調査を実施し、次年度の活動につなげたい。 (2年目以降)地区社協単位でフォーラムを立ち上げていくため、地区社協役員や会員を対象とした研修会を継続して開催する。前年度のアンケート調査結果を取りまとめ、結果に基づいたテーマを設定し、地域住民や福祉団体以外の各種団体、行政を交えての「話し合いの場(フォーラム)」を開催する。
5	大網白里町 増穂地区	大網白里町社協 増穂支部	H21.5.28	200千円	平成20年度に策定された町社協地域福祉活動計画の地域住民、諸団体への周知、理解を図るため、増穂地区の住民、団体との懇話会を開催し、併せて、地域の問題提起や意見等を求めていく。初期活動として、増穂地区での見守り活動の充実と住民意識の醸成を進めていくために地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)平成20年度に策定された町社協地域福祉活動計画の地域住民、諸団体への周知、理解を図るため、増穂地域の住民、諸団体との懇話会を開催する。併せて、地域の問題提起や意見等を求めていくとともに、初期活動として、現在支部社協が増穂地区で行っている独居高齢者及び高齢者世帯と子どもの見守り活動に向けての協力体制について理解を深めていき、地域福祉の実践について住民意識の醸成を進めていく。 (2年目以降)地域福祉活動計画策定後の進捗管理や見直しの提言、情報の提供等の役割を担う。それとともに、見守り活動の対象及び協力団体の拡大と日常の見守り活動から、緊急時の安否確認等の支援体制について検討・整備していく。また、懇話会を進めていく中で掘り起こされた問題についても、検討及び提言を行っていくこととする。 平成24年度以降も、「地域福祉フォーラム」の活動を継続させていくことで、地域住民総参加の地域ぐるみ福祉をめざし進めていく。
6	匝瑳市 飯高地区	飯高地区社協	H21.5.28	200千円	災害発生時に備え、自主防災組織の活性化及び地域住民の防災への取り組みをはじめとした、地域内での災害・防犯ネットワークの構築を図っていくことを目的とする。	(1年目)地域の様々な団体・個人が参加できるように呼びかけ、参加団体の交流の場を設置する。今後の事業(活動)の協力と取り組み方について話し合う。県外視察を通じ、広く地域づくりのあり方・取り組み方の実際に触れ、地域福祉フォーラムの開催の方法や促進について研修を通じて理解を深める。市内他地区の社協のメンバーとの交流を図り、これからの地域づくりに関して意見交換を行う。小学校、保育園、社会福祉施設の行事に参加し、よりよい地域づくりの場を広げる。 (2年目以降)各種団体との話し合いを通じて、地域における課題や住民が必要としているものを明確にする。地域内の要保護者の生活をいかに支えるか話し合い、マップづくり等、支援の具体策について検討する。関係団体を中心とした防災・避難に関する研修、防災マップ等の作成を通じて意識化を図る。市内他地域の社協等との意見交換の場を通じて、よりよい地域づくりの方向を見出し、県外視察を実施し、視野を広めるとともに会員同士の親睦を深め、各団体のあり方や立場を互いに理解しあい、よりよい地域づくりに努める。



7	茂原市	五郷地区	五郷地区社協	H21.5.28	200千円	五郷地区住民が連携と協調を持って活動を展開し、明るく住みよい調和のあるまちづくりを推進することを目的とするため、地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)五郷地区の自治会・地区社協・民生委員・ボランティア会等の多種多様な24団体の参加を見込み、地域住民の意見の集約及び行政機関との連絡調整の場として「五郷地区まちづくり協議会」を立ち上げ、地域福祉フォーラム(仮称:まちづくり委員会総会)を開催する。その他、地域住民のニーズに合致した活動を展開するため、専門部会の設置を検討する。 (2年目以降)地域福祉フォーラムの意見等を踏まえ、五郷地区まちづくりのため専門部会(教育福祉・防犯防災・環境衛生・地域交流等)を設置する。専門部会は、地域住民と行政機関との意見交換会(懇話会の開催)や防犯防災研修、地域内交流等、必要に応じて地域づくりのための事業の推進を図る。
8	一宮町	北部地区	北部地区社協	H21.8.25	200千円	困った時にはいつでも助け合えるような地域社会の実現をめざすため、各々が地域住民として何ができるかを考える「地域福祉懇談会」を開催するとともに、地域福祉の発信基地ともなれる住民主体の「ふれあいいきいきサロン」や「子育てサロン」の実現をめざす。	(1年目)北部地区社協は「ふれあいいきいきサロン」を各区の状況に合わせて開催しており、今後、在宅の高齢者に限らず、子どもたちや地域内の施設に通う障害者を受け入れることによって、総合的な地域福祉の発信基地になりたいと願っている。その実現に向けて、定期的に地域の様々な団体・個人が参加する地域福祉懇談会を開催する。 (2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催し、「ふれあいいきいきサロン」への住民参加を進める。平成24年以降も、地域づくり・地域福祉の研修会を開催し、地域の様々な団体・個人の参加を求めながら住民主体の地域福祉活動の展開を図る。
9	市原市	(南総地区) 平三小学校区	市原市社協 南総支部	H21.8.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、平三小学校区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)①各種団体及び地域住民も含めた構成員が、地域の課題・問題等の具体的な解決に向けた活動の取り組み内容を検討し、「支え合い、助け合い」のある地域づくりを模索する。②推進委員会のメンバーを2つの専門部会(1. 学校部会2. 環境部会)に分け支援内容を検討する。③町会座談会にて各町会の住民に「小域福祉ネットワーク」立ち上げの主旨を説明し、住民の理解を図る。併せて、住民が抱えている課題や問題、意見等を抽出する。④小域福祉ネットワークに多くの住民が賛同・参加できるよう、広報・PR活動に努める。 (2年目以降)前年度の活動を引き続き実施する。他に、学校行事や学校施設を利用した諸行事の支援について検討し、地域の活カアップに向けた協議をする。また、住環境の維持管理と防災・防犯対策及び高齢者対策等を協議し、各町会と各種団体との繋ぎ役を担いながら、住みよい地域づくりに向けた協議をする。
10	市原市	(姉崎地区) 姉崎小学校区	市原市社協 姉崎支部	H21.8.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、姉崎地区の地域づくり等を検討し、姉崎小学校区の地域の活性化を図る。	(1年目)①児童に的を絞って定期的に小学校区内の通学時、下校時の見守りと防犯協力等について自治会館/学校等を活用し、座談会を開催し地域課題の情報収集を図る。 ②住民アンケートを実施し、地域課題を把握する。 ③福祉協力員、姉崎小学校教員及びPTA本部役員などのメンバーや各種団体と具体的な活動に向けた取り組み内容の検討。 ④姉崎・椎津地区内での福祉資源の洗い出し作業。 ⑤広報誌を媒介とした、新規参加者の発掘。 ⑥知識と理解を深めるために、施設見学を実施。地域でのボランティア活動(子育てサロン等を含む)の見学を実施。 (2年目以降)①順次、高齢者、障害者に焦点を当て、定期的に姉崎小学校区内の自治会/学校/老人ホーム等を活用し、座談会を開催し地域課題の収集を図る。 ②昨年度同様アンケートを実施する。 ③ネットワーク会議、他団体との調整会議、分科会(高齢者・障がい者)の設置。 ④広報誌を発行し、ネットワークの宣伝を行い、活動に賛同できる方の発掘に努める。 ⑤老人ホーム等の施設及び地域でのボランティア活動を見学する。
11	白井市	第一小学校区	第一小学校区 地区社協	H21.8.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地域の課題を住民同士で話し合うことで地域住民のつながりを密にし、助け合える地域づくりをめざす。	(1年目)地域住民の居場所の必要性について住民座談会を開催し、支社協の協力を得て行政に要望していく。住民座談会を開催し、意見交換を行っていく。具体的なテーマとしては、要援護者等の把握とひきこもりがちなひとへの声かけを行う地域の力を引き出していく。地域生活支援センター「ぼけっと」と連携し、住民の理解と支援を推進する地域づくりを推進する。白井市地域福祉フォーラムと連携し、認知賞サポーターと個別支援へ向け居場所づくりを実施する。 (2年目以降)前年度の活動を踏まえて、事業の評価と今後の事業展開の方向性を住民座談会で模索する。各自治会ごとの住民座談会を開催し、住民の交流とニーズの発掘を行う。3年目以降も地域づくり・地区社協活動の先駆的な活動をしている地区フォーラムや団体等を講師に招いてシンポジウムを地区で開催していくこととする。
12	白井市	第三小学校区	第三小学校区 地区社協	H21.8.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地域の課題を住民同士で話し合うことで地域住民のつながりを密にし、助け合える地域づくりをめざす。	(1年目)宅地開発等により入居した住民への居場所の提供と、これからの事業展開の方向性について住民座談会を開催し、意見交換を行って、新旧住民の交流を図る。具体的なテーマとしては、若い世代の地域デビューを支援し、地域の力を引き出し次世代ボランティアを育成する。白井市地域福祉フォーラムと連携し、認知症サポーターと個別支援へ向け住民の協力体制を構築する。白井市地域福祉フォーラムと連携し、防災をテーマに住民との協働体制を構築する。 (2年目以降)前年度の活動を踏まえて、事業の評価と今後の事業展開の方向性を住民座談会で模索する。地区社協の存在の啓発と地域住民の参加を推進する。各自治会ごとの住民座談会を開催し、住民の交流とニーズの発掘を行う。4年目以降も地域づくり・地区社協活動の先駆的な活動をしている地区フォーラムや団体等を講師に招いてシンポジウムを地区で開催していくこととする。
13	千葉市	稲毛区轟・穴川地区	千葉市社協 轟・穴川地区部会	H21.8.25	200千円	地区部会の活動向上をめざす。	(1年目)地域の子育て中の母親及びその子どもを対象として、子育て支援サークルを年6回(奇数月)に開催する。○講師を迎え、手づくりおもちゃ、手遊び、リズム体操で楽しんでもらう。0歳~就学前児童の身長・体重測定が自由にできるような備品を充実させる。小中台保健センター協力のもと、気軽な育児相談の場を提供する。 (2年目以降)子育て支援サークル活動の拡充に努める。地域の保育所、幼稚園にも参加、協力を働きかける。千葉大学、千葉経済大学等、幼児教育に関わりのある学生たちにもボランティアとして参加してくれるように働きかける。これら活動のため、定期的な打ち合わせの機会を設ける。

14	千葉市	美浜区幸町1丁目地区	千葉市社協 幸町1丁目地区部会	H21.8.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、幸町一丁目地区の地域づくり等を検討し、一丁目地域の活性化を図る。	(1年目)社協地区部会が中心となって地域の自治会、老人会等と協力し、地域の活動組織及び個人に「総合福祉ネットワークづくり」への参加を呼びかける。住民に何をしてほしいか、何ができるか等のアンケートを実施し、住民のニーズを把握し、今後の活動計画の策定に活かす (2年目以降)地域に公民館のような施設がないため、食事サービスを停止にせざるを得ない状況にある。地域根ざしている団体の活動は活発的だが、横の繋がりが欠けているように見受けられる。以上ことから、専門部会を立ち上げ1年目のニーズ調査を分析し、結果を反映させながら地域が点から線へ繋がっているように、そして輪になるための拠点づくり等をさらに検討し展開したい。地元のお店街とも話し合い、空き店舗利用等具体的な話し合いを進め、住民のニーズに応えられる体制づくりをしたい。
15	千葉市	美浜区打瀬地区	千葉市社協 打瀬地区部会	H21.8.25	200千円	打瀬地区での手話普及・啓蒙活動を行う。聾唖、難聴者をはじめ、障害のある人との交流の場を設ける。ベイトウンが障害を持つ人にとって住みやすい町となる一助としたい。	(1年目)①打瀬地区住民対象の手話勉強会を開催する。また、「ベイトウンまつり」や「商店街夏祭り」等の機会に、東京ディズニーシー等で活躍中の手話パフォーマーの高木氏を招き、手話パフォーマンスを披露してもらう。地区内の小中学校と連携し、児童・生徒向けの手話の勉強会・講習会等を開催する。地区内のサークルや団体から要望があれば、出向き講座を行う。打瀬地区の公共事業所等に手話の指文字の大型ポスターの掲示を依頼する。 (2年目以降)月2回の勉強会を継続して行いレベルアップを図る。小中学校の他に、地区内の保育所とも連携し、幼児向けの活動も行いたい。手話勉強会の成果を発表する場を設ける。その際、聴覚障害者だけでなく様々な方の参加を呼びかける。障害のある方に体験談等を伺い、街の中でどのようなサポートを必要としているかについて一緒に考える場とし、障害者福祉委員会を中心にサポートへの取り組みを検討したい。
16	八街市	交進地区	交進地区社協	H21.8.25	200千円	地域全体で学校教育を支援する体制作りを推進するために、地域住民同士が話し合うことにより助け合い・生きがい・思いやりのある地域づくりをめざす。	(1年目)交進地区社会福祉協議会で取り組む「福祉フォーラム」は、交進小学校から地域に「学校を支援してください」と要請があり、それを受ける形で平成20年度の幹部研修会で「福祉フォーラム」の勉強と交進小学校校長による「交進小学校支援構想」の説明を受けて、取り組むものであります。従って、初年度の活動は要因の確保と学校側の要請を具体化することを重点に、できることから活動を始めます。 (2年目以降)次年度以降は、初年度の事業を継続発展させることと、さらに学校の総合学習で行っている「高齢者とのふれあい」と交進地区社協の「ふれあい交歓会」をドッキングさせるようなことや、児童と高齢者がふれあう場や方法を考え実現に向け努力します。
17	松戸市	小金地区	小金地区社協	H21.9.29	200千円	[小金地区に住むすべての人が、安心して暮らし、お互いに助け合い、支えあうまち]になるよう、地域内の福祉団体、NPO・ボランティア団体、町会、自治会、各種団体の連携を深め、これまで4回開催してきた「小金地区ふれあい広場」の実績を踏まえれ事業の更なる充実をめざす。	(1年目)ふれあい広場実行委員会を基盤として地域福祉フォーラム実行委員会を立ち上げる。地域福祉に関係の薄かった個人及び団体へ、地域福祉の集大成のイベントとして位置づけられる「第5回小金地区ふれあい広場」への参加を呼びかける。また、地域の生活・福祉へのニーズを把握するために、町会・自治体を通じてアンケートを実施する。また、ふれあい広場参加者に対しても同様のアンケート調査を実施する。 (2年目以降)地域ニーズの中間報告をまとめ、その結果を受けて実行委員会で地域福祉フォーラムの内容を検討し、地域福祉に関する地域ニーズの補足調査を行う。また、3年目についてもニーズ調査結果を取りまとめ、地域内の様々な団体が連携する地域福祉ネットワークを構築し、地域内のすべての人が安心して暮らし、お互いが助け合い支え合う町・小金を築くことをめざす。
18	市原市	(南総支部) 内田小学校区	市原市社協 南総支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、内田小学校区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)①各種団体及び地域住民も含めた構成員が、地域の課題・問題等の具体的な解決に向けた活動の取り組み内容を検討し、「支え合い、助け合い」のある地域づくりを模索する。②推進委員会のメンバーを2つの専門部会(1. 学校部会2. 環境部会)に分け支援内容を検討する。③町会座談会にて各町会の住民に「小域福祉ネットワーク」立ち上げの主旨を説明し、住民の理解を図る。併せて、住民が抱えている課題や問題、意見等を抽出する。④小域福祉ネットワークに多くの住民が賛同・参加できるよう、広報・PR活動に努める。 (2年目以降)前年度の活動を引き続き実施する。他に、学校行事や学校施設を利用した諸行事の支援について検討し、地域の活力アップに向けた協議をする。また、住環境の維持管理と防災・防犯対策及び高齢者対策等を協議し、各町会と各種団体との繋ぎ役を担いながら、住みよい地域づくりに向けた協議をする。
19	市原市	(南総支部) 戸田小学校区	市原市社協 南総支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、戸田小学校区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)①各種団体及び地域住民も含めた構成員が、地域の課題・問題等の具体的な解決に向けた活動の取り組み内容を検討し、「支え合い、助け合い」のある地域づくりを模索する。②推進委員会のメンバーを3つの専門部会(1. 高齢者部会、2. 環境部会、3. 子ども部会)に分け、支援内容を検討する。③小域福祉ネットワークに多くの住民が賛同・参加できるよう、広報・PR活動に努める。 (2年目以降)前年度の活動を引き続き実施する。 ○高齢者部会: 独居高齢者を把握し、民生委員を中心に戸別訪問活動を実施する。要望等をまとめ、ネットワークで実行できることの協議、実施。 ○環境部会: 馬立駅周辺の清掃活動についての協議。小湊鉄道・市環境部への交渉。清掃活動についての拡大、周知、ボランティア募集の協議。 ○子ども部会: 学校、PTA連携協議。世代間交流。近隣ネットワークとの共催事業、戸田コミュニティセンターを活用した事業の実施。
20	浦安市	東1地区	浦安市社協 東1支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、浦安市東1地区の地域づくり等を検討し、東1支部地域の活性化を図る。	(1年目)本会は、福祉教育推進団体のパッケージ指定を受けて2年目となる。学校との連携を軸に、子育て支援等を通じた地域コミュニティの発展に取り組む。 (2年目以降)福祉教育推進団体の指定は平成22年度までとなるが、次年度以降も引き続き学校との連携に努めていく。また、本地区は、市内において高齢化率が高く、マンション世帯等が多い地域である。高齢者を対象とした「みまほザン」や集合住宅を巻き込んだ地域福祉活動の推進に取り組んでいきたい。

21	浦安市	東2地区	浦安市社協 東2支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、東2地区の地域づくり等を検討し、東2支部地域の活性化を図る。	(1年目)東2支部では、高齢の方を対象とした事業として、地域交流会、桜の開花時期に合わせたお花見交流会、日帰りバスツアーを計画。子育て中の方を対象とした事業として、月1回(8月・1月を除く)地域の老人クラブの協力により、広い畳敷きの部屋を開放した交流会を開催する。 (2年目以降)初年度の事業に加え、高齢者の全域交流会の開催を予定。東2支部地域全域の交流会を行うことにより、より多くの方々と交流し、孤立化の防止や健康維持へと繋がることと思われます。地域福祉フォーラムを通じ地域の方々の意見等をもとに課題を解決し、高齢者や子育て中の方が孤立しない、地域の方々がより安心して暮らせる地域づくりをめざして活動を行っていきたく思う。
22	浦安市	西1地区	浦安市社協 西1支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、西1地区の地域づくり等を検討し、西1支部地域の活性化を図る。	(1年目)地域で暮らしている高齢者や障がい者、子育て中の親御さん方が、外出するきっかけをつくり、お互いが知り合い地域の輪を広げることが目的として、公民館とタイアップして地域交流会を開催する。その他にも訪問活動による地域への声かけやバスツアー等を行い、推進委員が地域の方々の心配ごと等を普段の会話の中から聴き取れるように心がけた活動を展開する。日常様々な生活のしにくさを抱えている人々が、身近な生活の場で誰もが安心して生き生きと暮らしていけるよう、地域のつながりをつくる活動に取り組んでいく。 (2年目以降)2年目以降も地域交流会やふれあい訪問活動を通じて、地域に潜在する福祉・生活課題を様々な機関につなげ、初期の段階で心配ごとが解決されるよう努めると共に、日頃から情報収集を行い地域の方々に対して福祉情報の提供に努める。
23	浦安市	西2地区	浦安市社協 西2支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、西2地区の地域づくり等を検討し、西2支部地域の活性化を図る。	(1年目)西2支部では、活動の3本柱を環境・健康・子育てに据えて地域福祉を推進している。環境では、「ケナフ・さつま芋の栽培」を行う。水やり・収穫・焼いも等を地域住民と幼稚園と協働で行う。健康では、自治会や老人クラブ、行政と連携し介護予防のための「健康サロン」、健康をテーマとした「健康教室」を行う。子育てでは、0歳児の母親を対象に月1回に老人クラブ会館にて、行政や民間保育園等と連携して「子育てサロン」を行う。また、一人暮らし高齢者等が引きこもり、地域で孤立してしまわないよう「バスツアー」で顔見知りの関係を築いていく。 (2年目以降)初年度の活動を継続し、地域福祉フォーラムを通じて地域の福祉課題や住民の生活課題の把握・解決につなげる。支部内の各地域にバランス良く事業を拡充し、顔見知りの関係を築き、いざという時にお互いに助け合える地域づくりを推進していく。
24	浦安市	南1地区	浦安市社協 南1支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、南1支部地区の地域づくり等を検討し、南1支部地域の活性化を図る。	(1年目)子どもから高齢者の交流を図ることを目的にサロン活動やバスツアーを実施する。地域交流イベントを行うことにより、引きこもりの方、地域での交流がない方を開拓する。把握したデータをもとに民生委員や自治会等と協働し、見守り活動を行っていく。 (2年目以降)継続して各地区交流活動を実施する。子どもと高齢者の交流をより深めるためm高齢者から子どもたちへ、昔の遊びや将棋、囲碁等を教えることができる場を提供する。委員以外にも遊びを継承することができる高齢者等を募集し、新たな担い手を確保する。
25	浦安市	南2地区	浦安市社協 南2支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、南2地区の地域づくり等を検討し、南2支部地域の活性化を図る。	(1年目)南2支部では、地域内の自治会・民生委員児童委員・ボランティア団体等地域の方々が参加し身近な地域で住民が主体となり、相互協力して地域内の福祉問題について話し合い、地域福祉のまちづくりを進めている。今後は、この取り組みを「地域福祉フォーラム」として充実・発展させていく予定です。さらに、住民同士の助け合い活動をより浸透させていくために、住民同士の交流や勉強会を開催していくことで、ともに活動していく仲間を増やしていく。 (2年目以降)次年度以降も地域福祉フォーラムを通じて、住民や関係者による話し合いの場を活性化させるとともに、下記の事業を通じ、「地域の福祉課題」や「住民の生活課題」の把握・解決に繋げる。
26	浦安市	北1地区	浦安市社協 北1支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、北1地区の地域づくり等を検討し、北1支部地域の活性化を図る。	(1年目)北1支部は、ふれあいサロンや子育てサロン等を通じて皆さんが集える場所づくりを行い、近所の人がお互いに声をかけ助けあえる地域となるように、コミュニティづくりの推進に取り組んでいる。今後も誰もが安心して暮らせるように、支援活動やふれあいを通じて、日常生活を見守り、協力しあい、支えあう地域住民のつながりをつくる活動を続けていくため、地域交流会活動や外出支援事業を「地域福祉フォーラム」と位置づけ実施する。 (2年目以降)2年目以降も地域交流活動を通じて地域住民からのご意見をいただきながら、地域に潜在する生活課題を見出していく。また、外出支援事業においては、地域の高齢者や障がい者のみに関わらず、参加者の拡大に取り組み、更なる孤立予防、居場所づくりの推進に努める。
27	浦安市	北2地区	浦安市社協 北2支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、北2支部地域づくり等を検討し、地域の活性化を図る。	(1年目)①住民交流会:人々のニーズを取り入れた地域資源の再発見、新たな交流のメニューづくりを実施する。 ②住民アンケート:地域住民に地域福祉サービスを理解してもらい、地域で不足しているサービスやフォーラムで検討すべきテーマについてアンケートを実施する。 (2年目以降)①住民懇談会:前年度のアンケートを基に、在宅部門、子育て部門の検討を行う。 ②在宅部門の開催:後期高齢者の増加が進む街で、古い住宅に住む方も多い。高齢者の生活を助ける仕組みづくりについて検討するため、在宅部門を設置する。 ③子育て部門開催:単身世帯の子育てが多い街で、子育てしやすい仕組みづくりについて検討するため、子育て部門を設置する。
28	浦安市	海浜1地区	浦安市社協 海浜1支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、海浜1支部地区の地域づくり等を検討し、海浜1支部地区の活性化を図る。	(1年目)海浜1支部では地域内の自治会・民生委員児童委員・ボランティア団体等地域の方々が参加し、身近な地域で住民が主体となり、相互協力して地域内の福祉問題について話し合い、地域福祉のまちづくりを進めている。今後は、この取り組みを「地域福祉フォーラム」にして充実・発展させていく予定である。 (2年目以降)来年度以降も地域福祉フォーラムを通じて住民や関係者による話し合いの場を活性化させるとともに、下記の事業を通じて、「地域の福祉課題」や「住民の生活課題」の把握・解決につなげていく。①各種講座の開催②いきいきサロン③子育てサロン。これらの事業をより身近な地域である各丁目単位での実施し、強化していくことで、いざという時にお互いに助けあえる地域社会をめざす。

29	浦安市	海浜2地区	浦安市社協 海浜2支部	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、海浜2支部地区の地域づくり等を検討し、海浜2地区の活性化を図る。	(1年目)高齢者及び子育てサロンの実施を核に、各地域での福祉活動に取り組んでいく。とりわけ日の出地区での子育てサロンにおいては、実施場所の拡充に努めていきたい。 (2年目以降)海浜地区は市内においても取り分け高齢化率の低い地域である。従って、子育てサロン等をツールに、若い世代の住民たちと本会のような地縁型組織との連携による地域づくりの発展を今後めざしていく。
30	白井市	南山中学校区	南山中学校区 地区社協	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地域の課題を住民同士で話し合うことで地域住民のつながりを密にし、助け合える地域づくりをめざす。	(1年目)宅地開発等により入居した住民への居場所の提供と、これからの事業展開の方向性について住民座談会を開催し、意見交換を行っていくことによって地区社協の存在の啓発や地区社協への参加を呼びかけ新旧住民の交流を図る。具体的なテーマとしては、若い世代の地域デビューを支援し、地域の力を引き出し次世代ボランティアを育成する。白井市地域福祉フォーラムと連携し、認知症サポーターと個別支援へ向け住民の協力体制を構築する。白井市地域福祉フォーラムと連携し、防災をテーマに住民との協働体制を構築する。 (2年目以降)前年度の活躍を踏まえて、事業の評価と今後の事業展開の方向性を住民懇談会で模索する。地区社協の存在の啓発と地域住民の参加を推進する。各自治会ごとの住民座談会を開催し、住民の交流とニーズの発掘を行う。4年目以降も地域づくり・地区社協活動の先駆的な活動をしている地区フォーラムや団体等を講師に招いてシンポジウムを地区で開催していくこととする。
31	千葉市	花見川区 さつきが丘中学校区	千葉市社協 さつきが丘中学校区 地区部会	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、安全で安心して暮らせるさつきが丘中学校地区の地域づくり等を検討し、地域の活性化を図る。	(1年目)他地域団体等の情報収集を行い、地区部会活動の問題点・課題を討議再調整する。自治会の協力を得ながら地域住民を対象としてアンケートを行う。住民のニーズを把握し、安全・安心・福祉・環境等のテーマについて、内容を検討して活動課題を整理する。この結果を住民に配布し、ニーズ・課題の理解認識の共有化を図る。椎木の剪定等地域住民の日常生活における支援要望に対応するため、ボランティア登録員の調整派遣活動を行う。 (2年目)中高生、中高年者、高齢者等に層別にし、タウンミーティングを開催し結果をまとめ、配布広報し、理解認識を共有化する。前年度のアンケート及びフォーラム推進委員の結果に基づき、重要課題より可能なものから順次地区部会活動で実施する。地域福祉活動を先駆的に行っている他地域の情報収集を行い、参考にしながら地域福祉の向上を図っていく。
32	千葉市	若葉区若松地区	千葉市社協 若松地区部会	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、千葉市若葉区若松地区における世代間交流(福祉教育)を通じての地域活性化を図る。	(1年目)若松地区部会以下以内にある若松高校と若竹保育園を舞台に若松地区部会が中心となり、高校生と乳幼児とのい世代交流を通じて関係諸団体と連携強化を図り地域交流・世代間交流を進めるために地域福祉フォーラムを設置する。 (2年目以降)初年度の活動成果を踏まえつつ、事業の継続発展を図るとともに、地域福祉フォーラムの組織・運営を充実させていく。来年度以降に向け、保育園と高校と地域との会議を開き、本事業の一層の発展に努力する。 また平成22年度以降もフォーラムの取り組みを継続するとともに、高校のみならず、小学校・中学校と地域の連携(福祉教育)を図り、新たな地域課題に取り組んでいきたい。
33	千葉市	若葉区みつわ台地区	千葉市社協 結・みつわ台地区部会	H21.9.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、千葉市若葉区みつわ台並びに周辺地区における地域づくり等を検討し、地域福祉課題やニーズの把握に努め、地域の活性化を図る。	(1年目)自治会等の団体が独自の福祉活動を展開しているため、既存活動との整合性をいかに調整、連携するのかどうかが重要な課題である。地域福祉フォーラムを展開することで、そういった団体との連携や調整を図り、災害対策、安心・安全対策、地域交流の3つの視点に基づいて活動する。今年度については、 ○地域内の様々な福祉組織・団体の意向を把握するための会合・懇談会の開催。 ○住民のニーズを把握するためのミーティング・懇談会。 ○地域福祉の理解促進のための各種イベントの開催。 ○社協部会活動の周知・広報。以上について取り組む。また、拠点確保のための整備・準備を始める。 (2年目以降)前年度に引き続き意見・提案の集約を行う。意見集約に基づいて、個別事業の検討を行う専門グループを設置する。地域づくり・地域福祉の先進的な活動をしている団体等を招いて、講演会や事例紹介会等を開催する。整備拠点を活用した地域ネットワーク事業を展開する。
34	茂原市	東郷地区	東郷地区社協	H21.9.29	200千円	東郷地区住民が連帯と強調をもって活動を展開し、明るく住みよい調和あるまちづくりを推進することを目的とするため、地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)東郷地区社協は、地域内の住民が相互に協力し合い、いつでも助け合える地域福祉の向上をめざしている。特に、高齢者に向けた敬老会の開催や見守りを目的とした食事サービス事業、友愛訪問、世代間交流に力を注いでいる。今後、地域住民と地区社会福祉協議会の活動拠点である東郷福祉センターを中心に、地域住民の全てが参加できるような行事を行うために検討会(懇談会)を組織し、希薄化した地域の住民相互の絆を深める方法を模索する会議を行う。 (2年目以降)懇談会を継続で開催しながら、参加者から募った意見について取りまとめ、関係各機関団体との協力関係の構築を図る。より多くの住民の参加を求めため、地域の自治会等の団体の協力を得ながら啓発活動を継続する。また、懇談会の開催に合わせて、地区社協が行ういきいきサロン事業を通じ、特に高齢者に関わる福祉課題や住民の生活課題の把握、検討、解決に繋げる。
35	茂原市	豊田地区	豊田地区社協	H21.9.29	200千円	豊田地域住民の相互扶助活動及び地域住民のネットワークづくりを図り、高齢者の方の安心・安全を確保し、「いきいき豊田福祉づくり」を推進するために地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)豊田地区社協は自治会連合会、地区まちづくり推進連絡協議会等の協力の下に地域福祉活動を展開しているが、「新たな地域福祉像」を実現するために、豊田地区社協(20団体代表)役員を中心に地域福祉フォーラムを立ち上げる。核家族化・高齢化問題は、豊田地区でも大きな課題であり、「地域住民の相互扶助活動」やネットワークを形成し、高齢者の安心安全を確保し、「いきいき豊田福祉づくり」の実現のために専門部会の設置を検討する。 (2年目以降)「いきいき豊田福祉づくり」を実現するために、「総務部会」などの専門部会を設置する。専門部会は、ニーズ調査をはじめ、行政機関等との意見交換を密にし、「いきいき豊田福祉づくり」のための事業推進を図る。また、相互扶助活動やネットワークづくりのために、自治会単位の長寿会(現在13自治会中9自治会が未組織)及び豊田地区連合長寿会の設置を推進する。

36	一宮町	西部地区	西部地区社協	H21.12.24	200千円	困った時にはいつでも助け合えるような地域社会の実現をめざすため、高齢者や障害者、子育てを行っている住民の方々の生活を理解する。住民誰でも参加し、各々が地域住民として何ができるかを考える「地域福祉懇談会」を開催するとともに、地域福祉の発信基地ともなれる住民主体のサロンの実現をめざす。	(1年目)一宮町市街地区社会福祉協議会は「ふれあい・いきいきサロン」を各区の状況に合わせて行っている。また、地域全体の「ふれあい・いきいきサロン」としては、在宅の高齢者に限らず、子どもたちや地域内の施設に通う障害者を受け入れたりすることによって、総合的な地域福祉の発信基地になりたいと願っています。その実現に向けて、定期的に地域の様々な団体・個人が参加する地域福祉懇談会を開催する。 (2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催し、「ふれあい・いきいきサロン」への住民参加を進める。平成24年度以降も、地域づくり・地域福祉の研修会を開催し、地域の様々な団体・個人の参加を求めながら、住民主体の地域福祉活動の展開を図る。
37	一宮町	市街地区	市街地区社協	H21.12.24	200千円	困った時にはいつでも助け合えるような地域社会の実現をめざすため、高齢者や障害者、子育てを行っている住民の方々の生活を理解する。住民が誰でも参加し、各々が地域住民として何ができるかを考える「地域福祉懇談会」を開催するとともに、地域福祉の発信基地ともなれる住民主体のサロンの実現をめざす。	(1年目)一宮町市街地区社会福祉協議会は「ふれあい・いきいきサロン」を各区の状況に合わせて行っている。また、地域全体の「ふれあい・いきいきサロン」としては、在宅の高齢者に限らず、子どもたちや地域内の施設に通う障害者を受け入れたりすることによって、総合的な地域福祉の発信基地になりたいと願っています。その実現に向けて、定期的に地域の様々な団体・個人が参加する地域福祉懇談会を開催する。 (2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催し、「ふれあい・いきいきサロン」への住民参加を進める。平成24年度以降も、地域づくり・地域福祉の研修会を開催し、地域の様々な団体・個人の参加を求めながら、住民主体の地域福祉活動の展開を図る。
38	船橋市	坪井地区	坪井地区社協	H21.12.24	200千円	船橋市坪井地区は住民主体の地域福祉活動計画によって、困った時はいつでも助け合えるような地域社会の実現をめざしています。そのような地域を作り出すために、講演会やシンポジウムを開催し、実現をめざします。	(1年目)「子どもの顔が見える、大人の顔が見えるまちづくり」を学び、子どもたちが安心して学校に通える街づくりをめざして、住民の意識の向上を図り、福祉ネットワークづくりの推進に努めるため、1年目は「明るく健康な街。坪井をめざして」というテーマに沿って講演会及び演奏会を開催する。 (2年目以降)次年度以降は「安心して住みよい街、坪井をめざして」を目的に、住んでよかったと思う街づくりを進めるためにはどのような活動をすべきかのシンポジウムを開催し、地域の団体・個人の参加を求めながら住民主体の地域福祉活動の展開を図る。平成24年度以降も、地域福祉活動計画推進及び福祉力を向上させるため、地域内の諸団体と連携を取り、地域としてのネットワークをつくって活動の継続を図る。
39	船橋市	二和地区	二和地区社協	H21.12.24	200千円	船橋市二和地区は住民主体の地域福祉活動によって、困った時はいつでも助け合えるような地域社会の実現をめざしています。そのような地域を作り出すために、講演会やシンポジウムを開催し、実現をめざします。	(1年目)船橋市二和地区は、旧住民と新しく開発され、移住してきた住民が共生する地域であり、各種社会福祉施設が多く存在する地域でもある。住民が安心して暮らせるまちづくりのため、1年目は「福祉課題の問題提議を共有する」についてパネルディスカッションを開催する。 (2年目以降)次年度以降は、「福祉課題の問題提議を共有する」をまとめたものについて、講演会及びシンポジウムを開催し、地域の団体・個人の参加を求めながら福祉に対する意識向上を図る。平成24年度以降も、地域福祉活動推進のために研修会を開催し、事業の継続を図る。
40	香取市	新島地区	新島地区社協	H22.2.10	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすために、高齢者や障害者、子育て世代の親子といった支援を必要としている人々を理解する。誰でも参加でき、地域に対して何ができるかを考える「地域福祉懇談会」を開催する。懇談会での意見や要望を基に市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築をめざす。	(1年目)新島地区社協では、「日帰り研修会」、「給食サービス」、「小・中学校懇談会」を中心に事業を進めている。特に「小・中学校懇談会」には駐在所をはじめ、各種団体より多くの方が参加しているため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立されているものと思われる。このネットワークを利用して、子どもだけでなく障害者や高齢者等支援が必要な方が、住み慣れた地域で安心して暮らすことについて地域福祉懇談会を開催し検討していく。 (2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催する。ここで出されたニーズを取りまとめ、市や社協と連携しながら新たな地域福祉サービスの推進に努める。助成期間終了後もより多くの地域住民に呼びかけ、地域福祉活動の展開をめざす。
41	香取市	東大戸地区	東大戸地区社協	H22.2.10	200千円	当地区は、地域全体で支えあえる福祉社会の実現をめざしている。そのため、高齢者や障害者、子育て中の親等支援を必要としている人々の生活や課題を理解することが重要である。誰でも参加でき、地域に対して何ができるかを考える「地域福祉懇談会」を開催する。	(1年目)東大戸地区社協では、「地区内駅・歩道橋清掃」と「配食サービス」、「冬季地区内防犯パトロール」を中心に事業を展開している。特に「冬季地区内防犯パトロール」には各種団体より多くの方々の参加があるため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立されているものと思われる。このネットワークを活用し、子どもだけでなく障害者や高齢者等支援が必要な方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるにはどうしたらいいのかについて「地域福祉懇談会」を開催し考えていく。 (2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催する。ここで出された意見等を基にニーズを取りまとめ、市や社協と連携して新たな地域福祉サービスの推進に努める。助成終了後も地域住民に広く呼びかけ、住民主体の地域福祉活動の展開をめざす。
42	香取市	新宿地区	新宿地区社協	H22.2.10	200千円	当地区は、地域全体で支えあえる福祉社会の実現をめざしている。そのため、高齢者や障害者、子育て中の親等支援を必要としている人々の生活や課題を理解することが重要である。誰でも参加でき、地域に対して何ができるかを考える「地域福祉懇談会」を開催する。	(1年目)新宿地区社協では、「市内福祉施設訪問」、「ひとり暮らし高齢者日帰り旅行」、「地区内中学校の行事への支援」を中心に事業展開している。特に「ひとり暮らし高齢者日帰り旅行」には、各種団体より多くの方々に参加していただいているため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立されているものと思われる。このネットワークを利用して、子どもだけでなく障害者や高齢者等支援が必要な方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるためにはどうしたらいいのかについて「地域福祉懇談会」を開催し考えていく。 (2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催する。ここで出された意見等を基にニーズを取りまとめ、市や社協と連携して新たな地域福祉サービスの推進に努める。助成終了後も地域住民に広く呼びかけ、住民主体の地域福祉活動の展開をめざす。

43	香取市	香取地区	香取地区社協	H22.2.10	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすために、高齢者などの支援を必要としている人々を理解する。誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。懇談会での意見や要望を基に市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築をめざす。	(1年目)香取地区社協では、「歳末餅つきひとり暮らし高齢者友愛訪問」と「配食サービス」を中心に事業展開している。特に「歳末餅つきひとり暮らし高齢者友愛訪問」には、各種団体より多くの方々に参加していただいているため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立されているものと思われる。このネットワークを利用して、子どもだけでなく障害者や高齢者等支援が必要な方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるにはどうしたらいいか地域福祉懇談会を開催し考えていく。(2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催する。そこで出された意見等を基にニーズを取りまとめ、市や社協と連携して新たな地域福祉サービスの推進に努める。助成終了後も地域住民に広く呼びかけ、住民主体の地域福祉活動の展開をめざす。
44	香取市	栗源地区	栗源地区社協	H22.2.10	200千円	当地区は、旧栗源小学校区をエリアとして地域福祉活動を推進している。少子高齢化が広がるなか、誰もが安心して暮らせる地域をめざして、平常時から地域ぐるみで支えあう意識の高める事業を推進する。	(1年目)栗源地区社協では、毎年11月に地域の皆さんを招いて楽しむ「みんなで食べよう芋煮会」を開催している。関係者による手作りの模擬店を実施。会場には300人程集まり、年代も高齢者から子どもまで幅広く、世代間交流の場として地域に根付いている。今年度から新たに、在宅の独居高齢者向けに災害時の安全対策として避難用品の配布を行い、地域の支えあい意識の高揚、さらには小学校関係者との福祉懇談会を開催する。(2年目以降)今後もこれまで展開してきた事業を継続していく。助成終了後も、先進的な地域福祉を展開している団体や他地区の地区社協と連携する。今まで参加していなかった地域の人々にも参加を呼びかけながら、住民主体の福祉活動の推進に努める。
45	香取市	高萩地区	高萩地区社協	H22.2.10	200千円	困ったときには支えあえる福祉社会の実現のため、少子高齢化が謙虚な高萩地区では、「向こう三軒両隣」の精神の再現をめざしている。また、高齢者と児童のふれあい事業を積極的にを行い、地域ぐるみで顔と顔の見える関係づくりに努める。	(1年目)高萩地区社協では、高齢者と地区社協委員のふれあい交流会を毎年開催し、地域の交流を深めている。また高萩地区では、高齢者のためのふれあいサロンを毎月開催し、普段外に出る機会の少ない高齢者の拠り所をなっている。今後、地域内の集会所等を拠点に小地域ごとのふれあいサロンの開設場所を増やし、交流の場を広げていく。(2年目以降)引き続きふれあい交流会を開催し、児童から高齢者まで多くの住民が集える場の実現をめざしながら、顔と顔の見える関係を構築し、当地区に必要な福祉サービスの推進に努める。助成終了後も先進的な地域福祉を展開している団体や他地区の地区社協と連携し、今まで参加していなかった地域の人々にも参加を呼びかけながら、住民主体の福祉活動の推進に努める。
46	香取市	沢地区	沢地区社協	H22.2.10	200千円	困ったときには支えあえる福祉社会の実現のため、少子高齢化が顕著な沢地区では、「向こう三軒両隣」の精神の再現をめざしている。また、高齢者と児童のふれあい事業を積極的にを行い、地域ぐるみで顔と顔の見える関係づくりに努める。	(1年目)沢地区社協では、高齢者と児童の交流会として「団子ならし交流会」や「夏休み納涼祭」を毎年開催し、地域の交流を深めている。今後地域内の集会所等を拠点に、小地域ごとにふれあいサロンの開設場所を増やし、交流の場を広げていく。(2年目以降)引き続き各種交流会を開催し、地域の交流を深める等児童から高齢者まで多くの住民が集える場の実現をめざしながら、顔と顔の見える関係を構築し、当地区に必要な地域福祉サービスの推進に努める。助成期間終了後も、先進的な地域福祉を展開している団体や他地区の地区社協と連携し、今まで参加していなかった地域の人々にも参加を呼びかけながら、住民主体の福祉活動の推進に努める。
47	香取市	瑞穂地区	瑞穂地区社協	H22.2.10	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすために、高齢者などといった支援を必要としている人々を理解するとともに、誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。懇談会での意見や要望を基に市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築をめざす。	(1年目)瑞穂地区社協では、隣の地区の東大戸地区社協と合同開催の「ふれあいの集い」と「配食サービス」、「日帰り研修」を中心に事業を展開している。特に「ふれあいの集い」には各種団体より多くの方々に参加していただいているため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立されているものと思われる。このネットワークを利用して、子どもだけでなく障害者や高齢者等支援が必要な方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるためにはどうしたらいいのかについて「地域福祉懇談会」を開催して考えていく。(2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催し、そこで得たニーズを取りまとめ、市や社協と連携しながら地区にマッチした新たな地域福祉サービスの推進に努める。助成期間終了後も地域住民に広く参加を呼びかけ、住民主体の地域福祉活動の展開をめざす。
48	香取市	北佐原地区	北佐原地区	H22.2.10	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすために、高齢者などの支援を必要としている人々を理解するとともに、誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。懇談会での意見や要望を基に市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築をめざす。	(1年目)北佐原地区社協では、「配食サービス」、「防犯パトロール」、「北佐原福祉ネットワーク懇談会」を中心に事業展開している。特に、「北佐原福祉ネットワーク懇談会」には、各種団体より多くの方々に参加していただいているため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立されているものと思われる。ネットワークを利用して、子どもだけでなく障害者や高齢者等支援が必要な方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるためにはどうしたらいいのか地域福祉懇談会を開催し考えていく。(2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催し、そこで得たニーズを取りまとめ、市や社協と連携しながら当地区にマッチした新たな地域福祉サービスの推進に努める。助成終了後も、地域住民に広く参加を呼びかけ、住民主体の地域福祉活動の展開をめざす。
49	香取市	大倉地区	大倉地区社協	H22.2.10	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすために、高齢者などの支援を必要としている人々を理解するとともに、誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。懇談会での意見や要望を基に市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築をめざす。	(1年目)大倉地区社協では、「地区内社会福祉施設(高齢者)への協力活動」、「配食サービスと友愛訪問」、「地区内小学校への助成」を中心に事業展開している。特に「配食サービス・友愛訪問」には、各種団体より多くの方々に参加していただいているため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立されているものと思われる。このネットワークを利用して、子どもだけでなく障害者や高齢者等支援が必要な方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるためにはどうしたらいいのか「地域福祉懇談会」を開催し考えていく。(2年目以降)引き続き地域福祉懇談会を開催し、そこで得たニーズを取りまとめ、市や社協と連携しながら当地区にマッチした新たな地域福祉サービスの推進に努める。助成終了後も、地域住民に広く呼びかけ、住民主体の地域福祉活動の展開をめざす。

50	八街市	八街東地区	八街東地区社協	H22.2.10	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、八街東地区の誰もが安心して支えられる地域福祉活動の活性化を図る。	(1年目)初年度は「地域福祉フォーラム」事業における子育て支援の周知徹底を図るために、子育てサロンの活用やチラシの作成、講演会を開催し、現在の従事者並びに参加者と地域を支える方々に理解をしていただく。また、八街東小学校区内の5地区(一区、七区、朝日区、富山区、大関区)の子育て支援事業等の情報交換や意見交換の場をつくり、人々との交流の輪を広げ、地域福祉フォーラムを軸に子育て支援事業等とおして、一層の地域福祉の向上をめざす。 (2年目以降)次年度以降は、初年度の事業を継続するとともに、さらに地域の交流の場を増やして相互啓発をしながら事業の展開を図る。
51	八街市	朝陽地区	朝陽地区社協	H22.2.10	200千円	介護の課題が多様化している中、多くの方が介護を身近なものとして捉え、考え、関わっていくことが必要となる。介護についての理解と認識を深め、地域社会における支え合いや交流の促進を図る観点から、介護に関する啓発を重点的に据え、地域福祉フォーラムを開催する。	(1年目)自治会、民生児童委員、老人会及び地区内福祉施設代表者を構成員として、実行委員会を設立する。自治会等を通じて回覧物を配布し、地域住民の参加を呼びかける。コミュニティセンターにて、NPO関係者を講師に向かえ、シンポジウム形式で小地域福祉フォーラムを開催する。 (2年目以降)前年度開催した小地域福祉フォーラムの様々な意見を参考に、地域内の高齢者福祉、障害者福祉、子育て支援等の分野ごとに個別事業の専門部会を設けて検討し、その結果を行政に報告する。先進的な活動をしている方を講師として招き、小地域福祉フォーラムを開催する。助成終了後も、朝陽地区社協の事業として活動を継続し、地域福祉の向上に努める。

平成20年度新規フォーラム一覧

設置数:89[基本:3、小域:86]

地域		事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	八街市	八街市社協	H20.4.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、八街市民の地域福祉への参加と意識の向上を図る。	(1年目)八街市の「介護力」を高めることをテーマに、市民の参加促進を図るため、講演会や研修会、座談会当関係機関や地域住民が活発に話し合いができるフォーラムを開催する。 (2年目)昨年度同様、「介護力」を高めることをテーマに、市民の参加促進を図るための講演会や研修会、座談会等、関係機関や地域住民が活発的に話し合いができる地域福祉フォーラムを開催する。そのため、関係機関より実行委員会を組織し、フォーラムがより活発的に展開していくことを図る。また、本会が実施している社会福祉大会や福祉まつり、ボランティア大会等の実施についても、地域福祉フォーラムと結びつけることにより、多くの市民団体等の参加を求める。 (3年目以降)継続して研修会や講演会をフォーラムを通じて開催する。さらに多くの市民や関係機関団体に参加呼びかけを行う。4年目以降も実施できるように、体制づくりについても検討する。
2	山武市	山武市社協	H20.7.3	200千円	地域福祉フォーラムの設置し、地域課題の解決に向けて市民や様々な機関が積極的に取り組むきっかけとなるような講演会や会議等を開催することにより、具体的な地域づくりの検討と地域福祉の活性化を図ることを目的とする。	(1年目)山武市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に関連した会議・研修会を開催する。地域住民や様々な分野の方々が集う地域福祉活動の実践と地域課題の解決に向けたシンポジウムを開催する。各事業の企画・運営会議を開催する。 (2年目)1年目の事業を継続すると共に、各事業の企画・運営会議を開催する。地域の多くの団体や個人との連携を深めていく協議を進める。地域福祉活動の支援に向けた協議を進める。地域課題の解決に向けて勉強会を開催する。 (3年目以降)山武市地域福祉計画・地域福祉活動計画の実践と評価に関する会議・研修会を開催する。一般住民や様々な分野の方々が集う地域福祉活動の実践と地域課題の解決に向けた福祉セミナーを開催する。各事業の企画・運営会議を開催する。地域の取り組みの支援。
3	印西市	印西市社協	H20.9.17	200千円	地域の問題を持ちより解決していく場として、地域の各種団体の代表者が集まる地域円卓会議を立ち上げ運営していく。	(1年目)「災害時における地域支援者の必要性について」をテーマとして講演会を開催する。地域円卓会議運営構成員会議を開催し、「災害時要支援者支援ネットワーク」の進捗状況の確認、情報交換を行う。各地区座談会又は地域円卓会議を開催し、「災害時要支援者支援ネットワーク」の取り組みについて、地域住民への周知、報告を行う。 (2年目)1年目の事業を継続して行っていく。そこで新たな地域課題の発掘を行う。 (3年目以降)地区座談会から出された地域課題を検討していく。また、ネットワーク活動を利用して地域福祉活動計画を運動させ、市社協から支部社協を中心とした小地域活動に移行していく。また、市地域福祉計画と地域福祉活動計画が翌年度に最終年を迎えることから、二次計画の策定に向けた取り組みを行っていく。
4	市原市 国分寺台 西小学校地区	市原市社協 五井支部	H20.4.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、国分寺台地区の地域づくり等を検討し、国分寺台西小学校地区の地域の活性化を図る。	(1年目)①座談会を開催し、地域課題等の情報収集を図る。②住民アンケートを実施する。③ネットワーク会議を開催し、国分寺台西小学校のふれ合い会連絡会のメンバーと小学校区内の各種団体(自治会、民生児童委員等)との具体的な活動に向けた取組内容の検討。④国分寺台地区内の福祉資源を調査する。⑤広報誌を発行し、活動に賛同できる住民の発掘に努める。⑥ネットワーク構成員の知識と理解を深めるために、高齢者及び障害者施設見学を実施する。地域内でのボランティア活動(高齢者向けサロン等を含む)の見学を実施。 (2年目)1年目の活動を継続し、地域の活性化を図る。 (3年目以降)①座談会の開催、②地域課題把握活動(訪問、電話)要支援者対象アンケート等の実施、③ネットワーク会議、④高齢者災害救助マップづくり検討、⑤他団体との連絡調整会議、⑥広報活動
5	九十九里町 片貝・作田地区	片貝・作田地区社協	H20.4.25	200千円	地域福祉フォーラムを実施し、片貝・作田地区の地域づくり等を検討し福祉の向上を図る。	(1年目)ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯のセーフティネットを確立するために、定期的な見守り支援方法を話し合い、地域支援ネットワークのあり方を検討する。地震・台風等の災害時の安否確認のあり方の検討を行うと共に、関係各機関への連絡調整を行う。関係各機関との連絡調整会議の開催実施。 (2年目)定期的な見守り支援活動を高齢者世帯に限らず、災害弱者まで枠を拡大する。今年度はこの活動を通じて得られた情報を活用し、災害マップづくりをめざす。各団体と協力し、団体ごとに防災マップの意義と有効性について啓蒙を図る。防災マップづくりを念頭に、関係機関団体等との連絡調整会議を開催し、地域での支えあいシステムの体制を整えるように努める。 (3年目以降)今後も災害マップづくりを通じて、各関係機関団体と協力しながら、災害時に住民同士がお互いに支えあうシステム体制を整え、安全で安心なまちづくりの推進に寄与する。
6	九十九里町 豊海地区	豊海地区社協	H20.4.25	200千円	地域福祉フォーラムを実施し、豊海地区の地域づくり等を検討し福祉の向上を図る。	(1年目)ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯のセーフティネットを確立するために、定期的な見守り支援方法を話し合い、地域支援ネットワークのあり方を検討する。地震・台風等の災害時の安否確認のあり方の検討を行うと共に、関係各機関への連絡調整を行う。関係各機関との連絡調整会議の開催実施。 (2年目)定期的な見守り支援活動を高齢者世帯に限らず、災害弱者まで枠を拡大する。今年度はこの活動を通じて得られた情報を活用し、災害マップづくりをめざす。各団体と協力し、団体ごとに防災マップの意義と有効性について啓蒙を図る。防災マップづくりを念頭に、関係機関団体等との連絡調整会議を開催し、地域での支えあいシステムの体制を整えるように努める。 (3年目以降)今後も災害マップづくりを通じて、各関係機関団体と協力しながら、災害時に住民同士がお互いに支えあうシステム体制を整え、安全で安心なまちづくりの推進に寄与する。



7	習志野市	秋津地区	習志野市社協 秋津支部	H20.4.25	200千円	高齢者や障害者、子育てを行っている住民等のサポートを必要としている人たちの生活を理解することを第一歩とし、誰もが参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。困ったときにはいつでも助け合えるような地域社会の実現をめざす。	(1年目)「ふれあいいきいきサロン」を秋津小学校の教室を利用して行っている。在宅の高齢者に限らず、地域内施設に入所している高齢者、子どもたち、地域内の施設に通う障害者を受け入れることによって、総合的な地域福祉の発信基地になることをめざす。 (2年目)引き続き「ふれあいいきいきサロン」への住民参加を進める。また、「子育て支援日本一」をスローガンとして掲げている習志野市と連携し、「子育てサロン」活動の推進に力を入れる。「もしもしこる」孤独死を未然に防ぐ事業をスタートさせる。「ニコニコ交流広場」保育所児童と地域住民交流の場の開催等。 (3年目以降)地域づくり・地域福祉の先駆的な活動をしている団体等を招いて研修会を開催する。住民主体の地域福祉活動の展開を図る。
8	四街道市	千代田中学校地区	千代田中学校 地区社協	H20.4.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、住民主体による地域のあり方を議論し、千代田中学校地区の地域の活性化を図ることを目的に開催する。	(1年目)地域福祉フォーラム実行委員会を設置し、フォーラムの方向性及び地域の課題について検討する。現在も実施している「住民懇談会」において、地域住民に地域福祉フォーラムへの理解と参加を求める。アンケートを実施し住民のニーズを把握すると共に、フォーラムで取り組むべき課題を把握する。 (2年目)住民ニーズを把握するために「アンケート調査委員会」を設置し、フォーラムで取り組むべき課題を把握するため「アンケート調査報告会」を開催する。 (3年目以降)アンケート結果をもとに、住民のニーズに沿った活動展開ができるように地域の様々な団体・個人の参加を促進する。個別事業の検討を行う専門部会を設置する。各部会間の連携及び外部諸団体等との連携を強化し、ネットワークの充実を図る。
9	四街道市	北中学校地区	北中学校地区社協	H20.4.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、住民主体による地域のあり方を議論し、北中学校地区の地域の活性化を図ることを目的に開催する。	(1年目)「住民懇談会」において、地域住民に地域福祉フォーラムについての理解と参加を求める。住民のニーズを把握するためにアンケート調査を行い、地域福祉フォーラムで取り組む課題を把握する。 (2年目)「住民座談会」において、前年度のタウンミーティングの結果報告及び結果をもとに住民のニーズの高かった内容についてテーマを絞って再度意見を求める。個別課題の検討を行う専門部会を設置するための準備を進める。 (3年目以降)地域の様々な団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。各部会間の連携及び外部諸団体等との連携を強化し、ネットワークの充実を図る。タウンミーティングの結果をもとに、住民の求めるテーマでの講演会や先駆的な活動を展開している講師を招いてセミナーを開催する。
10	四街道市	西中学校A地区	西中学校A地区社協	H20.4.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、住民主体による地域のあり方を議論し、西中学校A地区の地域の活性化を図ることを目的に開催する。	(1年目)「住民懇談会」において、地域住民に地域福祉フォーラムについての理解と参加を求める。住民のニーズを把握するためにアンケート調査を行い、地域福祉フォーラムで取り組む課題を把握する。 (2年目)引き続き「住民座談会」を開催し、地域住民に地域福祉フォーラムについて理解と参加を求める。アンケートの集計結果をもとに、地域福祉活動を行っていくためにはどのような情報が必要かを精査し、必要な研修会を実施していく。地域内の社会資源やセーフティネット、福祉関係のNPO法人の活動状況等を把握し、その結果を公表するための地域カルテの作成について検討する。 (3年目以降)引き続き、アンケート調査を行う。その結果をもとにミニ・タウンミーティングの開催、個別課題の検討を行う専門部会を設置する。各部会間及び外部諸団体等との連携を強化し、福祉ネットワークの充実を図る。先駆的な活動を行っている講師を招いて講演会やセミナーを開催する。
11	四街道市	西中学校B地区	西中学校B地区社協	H20.4.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、住民主体による地域のあり方を議論し、西中学校B地区の地域の活性化を図ることを目的に開催する。	(1年目)地域福祉フォーラム推進委員会を立ち上げ、実行委員として現組織外の団体。事務局等を加え活動を展開する。「住民懇談会」において、地域住民に地域福祉フォーラムについての理解と参加を求める。 (2年目)「住民懇談会」において、地域の住民に地域福祉フォーラムについて理解と参加を求める。 (3年目以降)住民のニーズを把握するためにアンケート調査を行い、フォーラムで取り組む課題を把握する。アンケート結果とともに、地域の様々な個人・団体が参加するミニ・タウンミーティングを開催する。その結果から、個別課題について検討をする専門部会を設置する。各部会間の連携及び外部諸団体との連携を強化し、福祉ネットワークの充実を図る。先駆的な活動を行っている講師を招いて講演会やセミナーを開催する。
12	四街道市	四街道中学校地区	四街道中学校 地区社協	H20.4.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、住民主体による地域のあり方を議論し、四街道中学校地区の地域の活性化を図ることを目的に開催する。	(1年目)地域福祉フォーラム推進委員会を立ち上げ、実行委員として現組織外の団体。事務局等を加え活動を展開する。「住民懇談会」において、地域住民に地域福祉フォーラムについての理解と参加を求める。 (2年目)地域福祉フォーラムで検討する課題について検討する。「住民座談会」において、フォーラムへの理解と参加を求める。住民のニーズを把握するため、アンケートを実施し、フォーラムで取り組むべき課題を把握する。 (3年目以降)住民のニーズを把握するためにアンケート調査を行い、フォーラムで取り組む課題を把握する。アンケート結果とともに、地域の様々な個人・団体が参加するミニ・タウンミーティングを開催する。その結果から、個別課題について検討をする専門部会を設置する。各部会間の連携及び外部諸団体との連携を強化し、福祉ネットワークの充実を図る。先駆的な活動を行っている講師を招いて講演会やセミナーを開催する。
13	四街道市	旭中学校地区	旭中学校地区社協	H20.4.25	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、住民主体による地域のあり方を議論し、旭中学校地区の地域の活性化を図ることを目的に開催する。	(1年目)地域福祉フォーラム推進委員会を立ち上げ、実行委員として現組織外の団体や事務局等を加え活動を展開する。「住民懇談会」において、地域住民に地域福祉フォーラムについての理解と参加を求める。 (2年目)タウンミーティングを開催し、地域福祉フォーラムについて理解と参加を求める。住民のニーズを把握するためのアンケート調査を行い、取り組む課題を把握する。地域カルテを作成するため、地域内の社会資源や福祉関係のNPOの活動状況等を把握し、その結果を公表できるようにするための準備に関わる活動を行う。 (3年目以降)アンケート結果をもとに、地区の問題について洗いだしを行い、解決方法について検討するためのミニ・タウンミーティングを開催する。各部会間の連携及び外部諸団体との連携を強化し、福祉ネットワークの充実を図る。先駆的な活動を行っている講師を招いて講演会やセミナーを開催する。

14	大網白里町	白里地区	大網白里町社協 白里支部	H20.6.18	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地域福祉活動計画に基づいた白里地区での児童、高齢者の見守り活動を幅広い住民の参加を得て実施するとともに、住民懇談会等を開催し、地域ぐるみ福祉を推進する。	(1年目)地域にある諸団体の参加を得て地域内の問題や意見等を求めていくと共に、特に高齢化の進む白里地区内の高齢者見守り活動実施に向けて住民意識の醸成を進めていく。平成19年度より福祉教育推進指定地区に指定されていることから、地域と学校が連携して福祉教育を推進する方策の検討や、児童と高齢者の異世代交流等を通じて福祉課題や生活課題のに努める。 (2年目)前年度の活動を継続して行う。今まで参加がなかった団体や地域住民の掘り起こしや呼びかけを積極的に行う。 (3年目以降)地域福祉活動計画に沿った事業として、高齢者や児童の見守り活動の定着と、地域と学校との連携による福祉教育を引き続き推進する。白里地区の事業の進捗管理や見直し等の場として住民懇談会を開催し、白里地区見守り活動の基盤強化を図る。助成期間終了後も、地域福祉フォーラムの活動を継続していくことで、地域住民による地域ぐるみ福祉を進めていく。
15	市川市	市川第二地区	市川第二地区社協	H20.7.3	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、市川第二地区の地域づくりを検討し、市川第二地域の活性化を図る。	(1年目)「ふれあい七社めぐり」の企画・調査のため実行委員会を組織し、定期的に委員会を開催する。市川第二地区全ての住民を対象に、楽しんで参加できる「ふれあい七社めぐり」を開催するため調査・研究を行う。地域住民が調査した地域情報マップの作成も行い、当地区全体の福祉意識の向上を図る。 (2年目)「ふれあい七社めぐり」の充実のため、実行委員会の組織強化、広報活動を積極的に行う。定期的にイベントを開催し、地域の交流、活性化を図る。地域福祉活動の課題等を住民、行政、関係機関が一同に会し、解決に向け情報交換等を行う会議を定期的に開催する。 (3年目以降)これまでの「ふれあい七社めぐり」事業を継続して実施する。地域福祉活動の課題等を住民、行政、関係機関が一堂に会し、解決に向けて情報交換等を行う会議を定期的に開催する。第二期市川市地域福祉計画、市川市社会福祉協議会地域福祉活動計画に基づく活動の実施、計画、検討をする。
16	鴨川市	小湊地区	小湊地区社協	H20.7.3	200千円	小域福祉圏域の設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)実行委員会において、地域で不足しているサービスや悩みについて意見交換をして取りまとめ、地域福祉フォーラム開催に向けて検討する。現在実施している地区社協活動を基盤に、多くの地域住民の方々と連携し、地域に根ざした安心して暮らせる地域づくりについて検討する。 (2年目)1年目と同様、実行委員会を開催し、地域福祉フォーラムの開催につなげる。 (3年目以降)地域福祉フォーラムにおいて挙がった意見や課題について検証し、地域内で解決できるような課題については地区社協事業計画へ盛り込み活動につなげる。難しい課題については、専門家の講演をすることや行政等の関係機関へ繋げられるよう心掛ける。
17	鴨川市	曾呂地区	曾呂地区社協	H20.7.3	200千円	小地域福祉圏域の地域福祉フォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)実行委員会内において、地域で不足しているサービスや悩み等について意見交換をして取りまとめ、曾呂地区地域福祉フォーラム開催に向けて開催内容、呼びかけ対象人員方向性等を検討する。現在実施している地区社会福祉協議会の活動を基盤に、地域に根ざした「安心して暮らせる地域づくり」をめざす。 (2年目)1年目と同様、実行委員会を開催し、地域福祉フォーラムに開催について検討する。 (3年目以降)地域福祉フォーラムで出た意見を実行委員会で再検討し、地区社協の事業計画を組織して活動を推進する。地域内での課題解決が難しいものについては、専門家による講演会の開催や市社協・行政等とも連携し、地域福祉のより一層の充実に努める。
18	匝瑳市	中央地区	中央地区社協	H20.7.3	200千円	災害発生時に備え、災害時要援護者の把握及び要援護者マップの作成をはじめとした地域内での災害・防災ネットワークの構築を図っていくことを目的とする。	(1年目)地域福祉フォーラムを幅広く知ってもらうため、地域の様々な個人、団体に呼びかけ説明会を行う。災害時の要援護者の把握のための調査等を行う。講義、体験を通じ、防災や災害支援について理解をしてもらい、「いざという時」の対応や地域での取組方法等について学習する機会を設ける。災害時要援護者マップを作成する。 (2年目)各関係機関会議や世代交流会を継続して開催し、広く地域住民に防災について理解してもらう。自主防災組織活性化のための推進を図る。要援護者の調査・把握をし、避難所と合わせてマップづくりを行う。 (3年目以降)これまでの活動を継続しつつ、避難・救助訓練の開催や防災講演会を通じて、地域での防災体制の構築や災害についての理解促進につなげる。
19	習志野市	鷺沼地区	習志野市社協 鷺沼支部	H20.7.3	200千円	高齢者や障害者等サポートを必要としている人の生活を理解することを第一歩とし、住民誰もが参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。多くの団体・個人の活動参加により、地域福祉の発信基地ともなれる住民主体の「子育て支援事業」の実現をめざす。	(1年目)本年度は「地域における子育て支援一食を通して地域で子育て」をテーマに、様々な児童関係団体、まちづくり会議、交番、消防団等と協働しながら地域福祉フォーラムを開催し、子育て支援事業を通じた地域社会づくりについて協議し、地域に広く発信していく。 (2年目)「子育て支援日本一」をスローガンのひとつとしている習志野市とも連携して、「子育てサロン」活動の推進にさらに力を入れる。住民参加を促すために、引き続き地域福祉フォーラムを開催する。先駆的な活動をしている関係団体を招いて研修会を開催し、更なる地域福祉活動の展開を図る。 (3年目以降)地域づくり・地域福祉の先駆的な活動をしている団体等を招いて研修会を開催し、更なる地域の参加を求めながら、住民主体の地域福祉活動の展開を図る。
20	習志野市	実籾新栄地区	習志野市社協 実籾支部	H20.7.3	200千円	福祉サービスの様々なメニューを住民に示し、いつでも助け合い安心して生活ができるような地域社会の実現をめざす。	(1年目)地域住民、学校、福祉関係団体、商店会等に呼びかけ地域福祉懇談会を開催し、地域内の福祉問題やその解決方法等についての話し合いを重ね、地域福祉の即づくりについての気運を高める。それに加え、「ふれあいいきいきサロン」を素材とした「地域のコミュニティづくり」や「ネットワークづくり」への取り組みを各関係団体、機関、地域住民との協働により充実させる。 (2年目)前年度の打合せ会議開催の結果、「小・中学校の教育について」に関心が集まり、小中学生が犯罪に巻き込まれない「安心・安全の地域」をめざすことになった。学校や警察等と連携しながら、協議協働していく。 (3年目以降)事業を継続して実施しながら、地域福祉懇談会を定期的に開催し、誰でも参加できる体制を確立する。

21	成田市	橋賀台地区	橋賀台地区社協	H20.7.3	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、橋賀台地区の地域づくりを検討し、橋賀台地域の活性化を図る。	(1年目)橋賀台地区社会福祉フォーラムを設置する趣旨を理解してもらう為のタウンミーティングを実施し、『地域住民1人ひとりが主役』となるような新しい地域社会づくりを模索する。その他に、近い未来に発生することが予想される大地震に備えるための防災講演会を開催する。 (2年目)橋賀台地区の住民アンケートを実施し、地域課題やニーズを見出すことで、今後の地域福祉フォーラムとしての具体的活動計画を模索する。アンケート結果発表を兼ねてタウンミーティングを開催する。専門部会を設置する。(自主防災・防犯、地域医療、青少年育成、地域のたすけあい等) (3年目以降)高齢者に対して成人病に対処するための基礎知識に関する講演会を開催する。また、地域医療のあるべき姿や福祉に対する講演も合わせて計画する。タウンミーティングを開催し、フォーラム終了後の活動についてどのようにすべきか提案等を行う。フォーラム終了後は、橋賀台地区社協が主体となり、フォーラム事業を引き継いでいけるように検討する。
22	成田市	久住地区	久住地区社協	H20.7.3	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、久住地区の地域づくり等を検討し、久住地域の活性化を図る。	(1年目)地域住民に地域福祉フォーラムを理解してもらい、地域で不足するサービス、フォーラムへの参加の意向、期待、検討すべきテーマ等を把握するための地区内のアンケート調査を区長会・民生員等の協力を基に実施する。アンケート結果をもとに地域の様々な団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。 (2年目)市の地域福祉計画・活動計画策定に向けて、意見・提案を取りまとめるためのタウンミーティングを開催し、専門部会を設置する。 (3年目以降)これまでの事業を引き続き展開する。助成終了後も、地域づくり・地域福祉の先進的な活動をしている市町村や団体を招いてシンポジウムを開催する。
23	鴨川市	天津地区	天津地区社協	H20.8.12	200千円	小地域福祉圏域の地域福祉フォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)実行委員会内において、地域で不足しているサービスや悩み等について意見交換をして取りまとめ、天津地区地域福祉フォーラム開催に向けて開催内容、呼びかけ対象人員方向性等を検討する。現在実施している地区社会福祉協議会の活動を基盤に、地域に根ざした「安心して暮らせる地域づくり」をめざす。 (2年目)1年目と同様、実行委員会を開催し、地域福祉フォーラムの開催について検討する。 (3年目以降)地域福祉フォーラムで出た意見を実行委員会で再検討し、地区社協の事業計画を組織して活動を推進する。地域内での課題解決が難しいものについては、専門家による講演会の開催や市社協・行政等とも連携し、地域福祉のより一層の充実に努める。
24	鴨川市	主基地区	主基地区社協	H20.8.12	200千円	小地域福祉圏域の地域福祉フォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)実行委員会内において、地域で不足しているサービスや悩み等について意見交換をして取りまとめ、主基地区地域福祉フォーラム開催に向けて開催内容、呼びかけ対象人員方向性等を検討する。現在実施している地区社会福祉協議会の活動を基盤に、地域に根ざした「安心して暮らせる地域づくり」をめざす。 (2年目)1年目と同様、実行委員会を開催し、地域福祉フォーラムの開催について検討する。 (3年目以降)地域福祉フォーラムで出た意見を実行委員会で再検討し、地区社協の事業計画を組織して活動を推進する。地域内での課題解決が難しいものについては、専門家による講演会の開催や市社協・行政等とも連携し、地域福祉のより一層の充実に努める。
25	鴨川市	吉尾地区	吉尾地区社協	H20.9.17	200千円	小地域福祉圏域の地域福祉フォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)実行委員会内において、地域で不足しているサービスや悩み等について意見交換をして取りまとめ、地域福祉フォーラム開催に向けて内容、呼びかけ対象人員等の方向性を検討する。現在実施している地区社会福祉協議会の活動を基盤に、少しでも多くの地域住民の方々と連携をとって、地域に根ざした「安心して暮らせる地域づくり」をめざす。 (2年目)1年目と同様、実行委員会を開催し、地域福祉フォーラムの開催について検討する。 (3年目以降)住民座談会(地域福祉フォーラム)において上がった意見や課題について、地域内で解決できる内容については、地区社協事業計画等へ盛り込み活動へ繋げる。その他、課題解決が難しいものについては、定期的に専門部会等を開催し、専門家や行政の協力体制の充実に心がける。
26	一宮町	東部地区	東部地区社協	H20.9.17	200千円	希望する住民が誰でも参加し、各々が地域住民として何ができるかを考える「地域福祉懇談会」を開催するとともに、地域福祉の発信基地ともなれる住民主体の「ふれあい・いきいきサロン」や「子育てサロン」の実現をめざす。	(1年目)一宮町東部地区社会福祉協議会は、「ふれあい・いきいきサロン」を各区の状況に合わせて行っている。また、地域全体の「ふれあい・いきいきサロン」は、在宅の高齢者に限らず、子どもたちや地域内の施設に通う障害者を受け入れることによって、総合的な地域福祉の発信基地となることを目標に活動している。その実現に向けて、定期的に地域の様々な団体・個人が参加する地域福祉懇談会を開催する。 (2年目)引き続き地域福祉懇談会を開催し、「ふれあい・いきいきサロン」への住民参加を拡大・促進する。 (3年目以降)助成終了後も、地域づくり・地域福祉の研修会を開催し、地域の様々な団体・個人の参加を求めながら、住民主体の地域福祉活動の展開を図る。
27	一宮町	東浪見地区	東浪見地区社協	H20.9.17	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすためには、支援を必要としている人々を理解することが重要である。誰でも参加し、各々が地域住民として何ができるかを考える「地域福祉懇談会」を開催すると共に、地域に根付いた防犯、防災等を考える。	(1年目)東浪見地区社協は「ふれあい・いきいきサロン」を開催するとともに、地域高齢者の友愛訪問活動や食事会等を行っているが、子育て支援や、防災、防犯等を含めて地区社協で取り組める活動の検討を行う。その実現に向けての定期的な地域の様々な団体・個人が参加する地域福祉懇談会を開催する。 (2年目)引き続き地域福祉懇談会を開催し、「ふれあい・いきいきサロン」への住民参加を進める。 (3年目以降)助成終了後も、地域づくり・地域福祉の研修会を開催し、地域の様々な団体・個人の参加を求めながら、遊民主体の地域福祉活動の展開を図る。

28	香取市	小見川北地区	小見川北地区社協	H20.9.17	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすために、高齢者等支援を必要としている人々を理解するとともに、誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。懇談会での意見や要望を基に市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築をめざす。	(1年目)小見川北地区社協では、年に2回程度「1000か所ミニ集会」という事業を実施している。内容は各種団体や個人が集まり地域にとって何が必要なのか、どうしたらそれが実現するのか等を話し合う場である。今後複雑かつ多様化する福祉ニーズは、まず地域の実情を把握することが重要である。それには、福祉分野のみならず、今までは地区社協活動に参加していなかった方々にも広く呼びかけ、多くの地区住民に参加していただき意見を聞かなければならないと考えている。その為に、現在の集会をさらに強化した形で地域福祉懇談会を是非開催したい。 (2年目)地域福祉懇談会を引き続き開催し、今地区に必要なとされるニーズを調査し、それにあった地域福祉サービスの推進に努める。 (3年目以降)これまでの事業を引き続き展開し、助成期間終了後は、さらなる参加者の拡充を図り、住民主体の地域福祉活動を展開していく。
29	香取市	小見川東地区	小見川東地区社協	H20.9.17	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすために、高齢者等支援を必要としている人々を理解するとともに、誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。懇談会での意見や要望を基に市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築をめざす。	(1年目)小見川東地区社協では、「ひとり暮らし高齢者贈り物宅配サービス事業」を実施している。この事業は、地区内のボランティアと小学生が協力し作成したプレゼントを自宅に届けるというものであり、見守り活動を兼ねた世代間交流でもある。この事業を中心として、対象者も高齢者だけでなく地区内のあらゆる要支援者とし、多くの人々の協力により地域全体を支えていく。その実現のために、定期的に地区内の様々な分野の個人及び団体が参加する地域福祉懇談会を開催する。 (2年目)次年度以降も引き続き地域福祉懇談会を開催する。本地区の福祉ニーズの発見と市社協と協働でニーズにあった地区独自の地域福祉サービス供給体制の構築に努める。 (3年目以降)助成終了後も、先進的な地域福祉を展開している団体や当市の他地区社協と連携し、また今まで参加していなかった人々にも参加を求めながら、住民主体の福祉活動の展開を図る。
30	香取市	小見川西地区	小見川西地区社協	H20.9.17	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすために、高齢者等支援を必要としている人々を理解するとともに、誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。懇談会での意見や要望を基に市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築をめざす。	(1年目)小見川西地区社協では、「市内社会福祉施設(高齢者)への協力活動」と「配食サービス」、「子どもたちの健全育成を考える集会」を中心に事業展開している。特に「子どもたちの健全育成を考える集会」には各種団体より多くの方々に参加していただいているため、地域を支えるネットワークの土台は既に確立している段階にある。このネットワークを利用して、子どもだけではなく障害者や高齢者等あらゆる支援を必要としている方々が、住みなれた地域で安心して暮らせるためにはどうしたらいいのかということについて地域福祉懇談会を開催し考えていく。 (2年目)引き続き地域福祉懇談会を開催し、そこで得たニーズを取りまとめ市や市社協と連携し、当地区にマッチした新たな地域福祉サービスの推進に努める。より多くの団体の参加を促進するために、地域の方々に広く呼びかけを行う。 (3年目以降)助成期間終了後も地域の方々に広く呼びかけ、住民主体の地域福祉活動の展開をめざす。
31	香取市	小見川南地区	小見川南地区社協	H20.9.17	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすために、高齢者等支援を必要としている人々を理解するとともに、誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。懇談会での意見や要望を基に市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築をめざす。	(1年目)小見川南地区社協では、「ひとり暮らし高齢者慰問品配布事業」と「配食サービス事業」を中心に在宅福祉サービスを行っている。この事業は、地区社協役員とボランティアが協力して実施しており、核家族化がすすみ子や孫と離れて暮らす参加者の支援を行っている。これからは高齢者だけでなく、支援の必要な障害者や児童青少年福祉にも目を向け、多くの人たちにも地区社協活動に参加していただき知恵を出し合いながら、当地区にあったニーズを発見し、サービスとして提供していくために、地域の多くの方が参加できる地域福祉懇談会を開催する。 (2年目)次年度以降も地域福祉懇談会を開催する。地区の住民が気軽に参加できる懇談会をめざし、その中で出た意見を集約して地区に必要な地域福祉サービスの推進に努める。 (3年目以降)助成期間終了後も地域の方々に広く呼びかけ、住民主体の地域福祉活動の展開をめざす。
32	香取市	小見川中央地区	小見川中央地区社協	H20.9.17	200千円	困った時には支えあえる福祉社会の実現をめざすために、高齢者等支援を必要としている人々を理解するとともに、誰でも参加できる「地域福祉懇談会」を開催する。懇談会での意見や要望を基に市や市社協と協力し、それらに対応する事業の構築をめざす。	(1年目)小見川中央地区社協では、「ひとり暮らし高齢者の集い」を毎月1回小見川社会福祉センター和室において開催している。この事業では、小中学生との世代間交流も盛んに行っており、核家族化がすすみ子や孫と離れて暮らす参加者からも大変喜ばれている。今後は高齢者だけではなく、障害者や子育て世代の親子、団塊世代等の多くの人々が集い支えあうことによって新たな福祉ニーズを発掘し、それを市と市社協、と協働し地域福祉サービスとして展開していければと思う。そのために、定期的に地域の様々な分野の個人及び団体が参加できる地域福祉懇談会を開催する。 (2年目)引き続き地域福祉懇談会を開催し、「ひとり暮らし高齢者の集い」を核とした多くの住民が集まれる場の実現をめざしながら、当地区に必要な地域福祉サービスの推進に努める。 (3年目以降)助成期間終了後も地域の方々に広く呼びかけ、住民主体の地域福祉活動の展開をめざす。
33	白井市	七次台中学校区	七次台中学校区地区社協	H20.9.17	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地域住民や各団体による話し合い等を設けることで、相互の連携を密にし、福祉の向上と地域の活性化をめざす。	(1年目)地域住民の居場所となる拠点開所に伴い、これからの事業展開と方向性について住民座談会を開催し、意見交換を行っていく。具体的なテーマとしては、要援護者等の把握とひきこもりがちな方への声かけを行う地域の力を引き出していく。拠点でのサロンを定期的に開催し、地域のたまり場的な交流を図る。 (2年目)引き続き事業展開と方向性について住民座談会を開催し、意見交換を行っていく。拠点でのサロンを定期的に開催し、地域のたまり場的な交流を図る。 (3年目以降)前年度の活動を踏まえて、事業の評価と今後の事業展開の方向性を住民座談会で模索する。また、白井市地域福祉フォーラムと連携し、認知症サポーターや防災についての理解を促進する。
34	匝瑳市	共興地区	共興地区社協	H20.9.17	200千円	災害発生時に備え、自主防災組織の活性化及び地域住民の防災への取り組みをはじめとした、地域内での災害・防犯ネットワークの構築を図っていくことを目的とする。	(1年目)地域の様々な個人、各種関係機関に呼びかけながら地域内の防災について話し合いを行う。住民の避難、不明者の把握を早急に行えるように、地域内の諸館ごとに一時避難所を設置する。小域住民ごとに話し合う。 (2年目)各関係機関会議や世代交流会を継続して行ないながら広く地域住民が防災について関わりを持つもらう。自主防衛組織活性化のため、各関係機関や地域住民が協力して活動の推進を図る。講義や体験を通じて、災害に対する危機感を持ってもらうとともに、防災や災害支援について理解をしてもらう。要援護者の調査・把握をし、避難所とあわせてマップ作りを行う。小域ごとの把握を行うことで要援護者や不明者の早急な安否確認。救助を行える地域づくりの推進を図る。 (3年目以降)これまでの活動を継続して行い、防災について引き続き講演会や勉強会を開催し、意識化を図っていく。

35	習志野市	袖ヶ浦地区	習志野市社協 袖ヶ浦支部	H20.9.17	200千円	困ったときにはいつでも助け合えるような地域社会の実現をめざしている。そのような地域を作り出すためには、「住民それぞれが地域の中で何ができるのか」を考える場が必要となる。そこで地域福祉懇談会を開催し、培われた住民パワーを具体的に取り組みの中で結集させていく。	(1年目)袖ヶ浦支部は、8年前より地域内の町会関係・民生委員児童委員・PTA・公民館・知識経験者等に呼びかけて地域福祉懇談会を開催し、地域内の福祉問題について話し合い、地域福祉のまちづくりを進めているが、今後は、この取り組みを「地域福祉フォーラム」として充実・発展させていく。袖ヶ浦地区は習志野市内において高齢化率が最も高く、介護予防が地域の福祉課題となっている事から、フォーラムのテーマに「健康維持管理」を取り上げ、広く地域住民に呼びかけ、医師や関係機関の協力による「健康セミナー」を実施し、「地域で取り組む健康づくり」のあり方を探る。 (2年目)地域福祉懇談会を引き続き開催する。健康セミナー、いきいきサロン、すくすくサロンを通じ地域の福祉課題や生活課題の把握・解決につなげる。 (3年目以降)行政と市民が一体となって子どもの健全な成長発達を促すよう、フォーラムを通じて推進方策を模索していく。
36	成田市	吾妻地区	吾妻地区社協	H20.9.17	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、吾妻地区の地域づくり等を検討し、吾妻地域の活性化を図る。	(1年目)地域住民に地域福祉フォーラムを理解してもらい、今後の福祉課題に対応するためにフォーラムで検討すべきことを中心に、その他、地域で話し合うテーマを把握するため地区内各世帯のアンケート調査を自治会・町内会の協力で実施する。地区住民が参加し、地域がどうあるべきか意見交換を実施する。 (2年目)引き続き地区住民による意見交換会を実施する。活動計画の実現に向けた取り組みを行うため、専門部会を設置し検討を行う。先駆的な活動をしている市町村・団体等を招いてシンポジウムを開催する。 (3年目以降)これまでの事業を継続して実施する。助成終了後も地域づくり・地域福祉の先進的な活動をしている市町村・団体等を招いてシンポジウムを開催する。
37	松戸市	五香松飛台地区	五香松飛台地区社協	H20.9.17	200千円	誰もが安心して暮らせる地域をめざして、市政協力委員(各町会・自治体の長等)、PTA、防犯協会、民生委員、児童委員、地域の人々がそれぞれの立場で行動してきている。さらに地域福祉の内容を高め、より密な連携をめざして、「子育て」を中心とした地域福祉ネットワークの確立を目標に「フォーラム」を開催する。	(1年目)「五香松飛台地域フォーラム」は、地区民児協、子ども会育成会、PTA等が中心となり実施してきた。今後は地域福祉フォーラムとして、町会・自治会、防犯協会、商店会、各種NPO等ボランティア団体、行政との連携拡充を視野に入れる。子どもの安全・安心なまちづくり、子育て環境の充実をめざして以下の事業に取り組む。①地域密着型「子育てサロン」、②地域各団体の枠組みを越えた「スポーツ教室」、③地域内小中学校合同・連携の「子ども見守り活動」、④地域福祉フォーラム主催の「子育てフェスティバル」 (2年目)1年目の取り組みを基本に、管内小中学校のPTA、五香地区民事協、子ども会育成会等が中心となり進める。さらに今年度以降は、町会、自治会、防犯協会、商店会、各種NPO等のボランティア団体、行政との連携拡充を視野に入れ、子どもの安全・安心なまちづくり、子育て環境の充実をめざして事業を行う。①地域密着型「遊ゆう子育てサロン」を開催。②「遊ゆうキッズフェスティバル」の開催。 (3年目以降)初年度からの活動を踏まえて、さらに関係者と検討し、参加団体の拡大を図る。「子ども」・「安心・安全」をキーワードに3世代間交流をめざす。事業終了後も地域において、これらの取り組みが恒常的に見られ、見守り活動の日常化に努めていく。
38	八千代市	村上中央地区	八千代市社協 村上中央支会	H20.9.17	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、村上中央地区の住民を対象に国際フォーラムの住民会議を通じて、安心して暮らせる地域づくりを進める。	(1年目)国際フォーラム開催にあたり、村上団地に外国人居住者が急増し、今年度4月現在、団地居住者の8名に1名は外国籍となっている。文化の違いや言葉の違い等から様々な問題を抱えているかと思われるため、意見交換の場を作り、次年度以降の地域福祉フォーラム活動に繋げる。 (2年目)前年度に開催した「国際フォーラム」を踏まえ、外国人居住者の抱える問題について地域社会の中で解決できること等について、住民座談会(タウンミーティング)を開催し、意見交換を行い、様々な問題点について細かく検討する。 (3年目以降)これまで開催してきた「国際フォーラム」や住民座談会の結果を受けて、3年目以降も高齢者や少子化問題等も含めて、地域としてどう関わっていけるのかということについて、地域住民とコミュニケーションを図りながら解決できるように進めていく。
39	千葉市	中央区都地区部会	千葉市社協 都地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、都地区の地域づくり等を検討し、地域福祉の向上を図る。	(1年目)地域ぐるみ福祉推進交流づくりフォーラムを開催し、高齢者の親睦、仲間づくりと介護予防を目的として、また高齢者から子ども世代を超えた交流の場について検討するためのフォーラムを開催する。 (2年目)高齢者を対象に健康セミナーを開催する。子どもとの懇談会を開催し、高齢者福祉と児童福祉の向上を図る。地域と家族ぐるみの芋ほり大会を開催し、地域交流を進める。地域の各種施設を訪問する。 (3年目以降)前年度の事業を継続し、助成終了後も継続的に事業を展開しながら、地域福祉の推進と向上に寄与する。
40	千葉市	中央区末広地区	千葉市社協 末広地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、末広中学校区地区住民の幅広い層に呼びかけ地域福祉住民の福祉、文化、リクリエーション活動の活発化を図る。	(1年目)末広社協地区自治会は、約3,300世帯あるが、末広社協主催の諸行事の参加者は一部であり、社協についての認識のない住民も多い。社協活動の活発化のためにもPRを兼ねたニーズ調査を全住民を対象に多面的に実施する。現在設置されている、7カ所のいきいきサロンを広く地域住民に知らせ、参加者の増加を図る。また、新たなサロン、サークルの結成を促進し住民の結集を図る。 (2年目)末広公民館と提携し、末広社協まつりを開催する。公民館と提携することで、同時に公民館のPRをとり利用促進を図る。地域住民の各層から多数の人を集める楽しい交流の場を設ける。 (3年目以降)末広社協まつりを継続的に開催する。3年間の地域福祉フォーラム活動のまとめと、助成終了後の活動について検討する。
41	千葉市	中央区ちば中央地区	千葉市社協 ちば中央地区部会	H20.10.23	200千円	支援を必要とする人たちが地域で埋もれてしまわないよう、お互いが隣近所の気を配り、支えあいの仕組みを作って身近なコミュニティづくりを推進する。	(1年目)災害ボランティア講座を開催し、新たに参加する団体・個人に対して災害時における初歩的基礎知識を習得させる。 (2年目)災害ボランティア研修会の結果に基づいて、課題解決のためのプロジェクトを立ち上げる。自助、共助、公助、その他の4つのグループに分け、プロジェクトを推進していく。KJ法による防災研修グループワークの発表会を実施する。避難所である本町小学校の備蓄倉庫の実態見学と避難所におけるマネジメント体制のあり方を模索する。 (3年目以降)広報誌を発行し、27町内自治会に対して災害者支援のネットワークの周知を行う。お助けマンに対するスキルアップ研修の実施。参加団体、お助けマン、老人会、行政を含めたシンポジウムを開催する。

42	千葉市	中央区西千葉地区	千葉市社協 西千葉地区部会	H20.10.23	200千円	緊急時、災害時ひとり暮らし高齢者、寝たきり高齢者見守り対策	(1年目)平成19年度に実施した、「緊急時災害時ひとり暮らし高齢者、寝たきり高齢者見守り対策」を平成20年度も実施する。具体的には、日常の安心安全を支える「見守りカード」を作成し、配布する。 (2年目)引き続き「見守りカード」を作成、配布する。自治会へ救援物資を提供する。 (3年目以降)事業を継続し、地域の災害に備えて検討・準備を行う。
43	千葉市	中央区弁天本千葉地区	千葉市社協 中央地区部会	H20.10.23	183千円	地域福祉フォーラムを設置し、中央地区の地域づくり等を検討し地域の活性化を図る。	(1年目)ふれあいいきいきサロンを活用した健康フォーラムを開催する。地区内では要介護者が増加傾向にあり、住民一人一人自らの健康づくりについて取り組んでいく必要がある。そのために、ふれあいいきいきサロンの場を活用し、保健士の指導により介護が必要になる原因の「筋力低下」、「口腔状態」、「低栄養」、「閉じこもり」等を講演や実技を行い、参加者自ら健康に関する意識の向上を図るため、「地域で進める介護予防」をテーマに健康フォーラムを開催する。 (2年目)今年度も引き続き同様の内容で健康フォーラムを開催する。 (3年目以降)これまでの実績を踏まえて、フォーラムの対象者を拡大していく。地域で介護を受けている人の状態を把握し、介護予防と連携させて密接に取り組んでいく。
44	千葉市	中央区蘇我地区	千葉市社協 蘇我地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、蘇我地区の地域づくり等を検討し、蘇我地域の活性化を図る。	(1年目)フォーラム開催の足場として、ふれあいいきいきサロン事業を立ち上げ、自治会、老人会、婦人会等諸団体に広く参加を呼びかけ、地域づくりのあり方や取り組み方を考えていく。地域の保健センター、保健師の協力を得て講演や実践指導をサロンで開催し、参加者自らの健康維持に関する意識の向上を図るとともに介護予防に繋げていく。 (2年目)前年度の事業として立ち上げたふれあいいきいきサロンを充実させ、地域ぐるみの地域づくりのあり方や取り組み方を考えていく。地域の誰もが災害発生時等にも安全が確保され、安心して暮らせる地域づくりを進めるために、「安全・安心のまちづくり推進フォーラム」を開催する。 (3年目以降)前年度の取り組みを継続する。地域住民や各団体にさらに呼びかけ、地域福祉の推進と発展を図る。広報を通じて地域福祉の重要性や活動について周知していく。
45	千葉市	中央区白旗台地区	千葉市社協 白旗台地区部会	H20.10.23	200千円	千葉市中央区地域福祉計画の「地域で福祉に関する講座、ボランティア講座等の受講機会を提供」事業を推進するにあたり、フォーラムを立ち上げ実施する。	(1年目)中央区地域福祉計画の具体的な取り組みの一つである「地域で福祉に関する講座、ボランティア講座等の受講機会の提供」に取り組み、地域の人材育成と福祉の向上を推進する。現在開催されている講習会等への新たなメンバーの参加が少なくなっているため、今年度より地域の大学や商店会、関係者にも参加してもらい、新たなフォーラムを立ち上げ、より充実した講座や関心の高い健康づくり教室等を開催し、団塊の世代にも呼びかけ人材発掘と地域の福祉力向上を図る。 (2年目)前年度の取り組みを継続し、検討会議を開催する。出てきた課題等について担当専門委員会が中心となり具体的な活動へつなげる。 (3年目以降)これまでの取り組みを継続していく。参加した方の中から、活動に参加できる人材を発掘し、地域活動の担い手になってもらう。毎年継続していくことで、地域福祉の推進に努める。
46	千葉市	中央区松波地区	千葉市社協 松波地区部会	H20.10.23	200千円	世代をこえて、地域福祉ネットワークを構築し(娯楽を入れて楽しく)、地域で安心して暮らせるように、講演会をシリーズ的に行う。	(1年目)地域の諸団体(町会、子供会、老人会、自主防災会を予定)間のネットワークづくりを行う。 (2年目)昨年度作り上げた地域の各種団体間のネットワーク機能を活用し、地域住民にたいしてアンケート調査を行う。その結果を精査し、この地域で何が必要とされているかについて明らかにする。アンケートで出された意見を参考に、地域の様々な個人・団体に呼びかけた上で、テーマに応じた講演会等を開催する。 (3年目以降)次年度以降も引き続きネットワークを活用した地域福祉フォーラムを開催し、住民が望んでいる分野の講演会をシリーズ的に行う。
47	千葉市	中央区松ヶ丘・仁戸名地区	千葉市社協 松ヶ丘地区部会	H20.10.23	200千円	「災害時一人も見逃さないまちづくり」をめざし、ネットワークを構築する。	(1年目)各種団体、地域へ呼びかけ、フォーラムについてのPRを行う。避難所の体験講習会を実施する。一人暮らし高齢者等の把握や井戸等の設備の所在確認、利用可能性のチェックを行い、防災マップを作成する。自主防災組織の強化を行う。緊急時連絡体制を確立する。 (2年目)町内会(及び住民)・各種団体等の以降を把握の上、事業計画を策定する。前年度の取り組みを継続する。 (3年目以降)これまでの取り組みを継続して行い、専門部会の設置が必要な場合にはそれに対応していく。助成終了後も取り組みを継続していく。
48	千葉市	中央区川戸地区	千葉市社協 川戸地区部会	H20.10.23	200千円	地区の高齢者が集う敬老会でお互いの健康を祝い、楽しい雰囲気のもと、地域で楽しく過ごせるようなフォーラム作りのため意見を伺い、それを立ち上げる。	(1年目)地区の高齢者が集う敬老会でお互いの健康を祝い、楽しい雰囲気のもと、地域で楽しく過ごせるようなフォーラム作りのため意見を伺い、それを立ち上げる。 (2年目)昨年度のアンケートから、高齢者は日常的に散歩やスポーツ等で体を動かしていることが明らかになった。今年度は、子ども会と連携し、子ども会のキャンプの中で高齢者が交わりゲームを行い、世代間交流と介護予防につなげていく。 (3年目以降)これまでの事業を展開して実施する。地域各種団体と協力しながら、体力向上になるような行事を計画し、実施していく。
49	千葉市	中央区寒川地区	千葉市社協 寒川地区部会	H20.10.23	200千円	地域住民が助け合い協力し合い、輪を広げられる地域社会を目的に、ふれあいいきいきサロン活動の充実を図る。	(1年目)地区内ふれあいいきいきサロンの場を活用し、2会場にて「体の健康は食生活から」と題し、食育の講演をお願いする。また、家庭で簡単にできる健康体操を指導する。 (2年目)地域福祉フォーラム実行委員会を設置し、地域住民が安心して安全なまちづくりを担えるように、ふれあいいきいきサロンの場を提供する。 (3年目以降)安心・安全のまちづくりのために、次年度以降も活動内容を吟味し、住民が集える居場所づくりを行う。広い層に呼びかけ、交流を深めて地域福祉の活動を推進する。アンケート調査を実施し、住民の要望をまとめる。

50	千葉市	中央区星久喜地区	千葉市社協 星久喜地区部会	H20.10.23	200千円	地域住民がお互いに助け合い協力し合う「福祉の輪」を広げられる地域社会を目的に、現在実施している活動の充実を図る。	(1年目)地区内の「ふれあいいきいきサロン」6会場を活用し、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士の協力を得て、口腔機能が体に及ぼす影響、高齢者の食事と栄養等について、講演や口腔ケア指導等を通じて、参加者自らの健康維持に関する意識の向上を図るとともに、地域で不足しているサービスや抱えている悩みについて、意見交換、アンケートを取りまとめ、次年度以降の活動につなげていくステップとする。 (2年目)前年度の取り組みを継続するとともに、個別事業を検討する専門部会を設置する。平成22年度以降も、取り組みを継続するとともに、地域福祉の先進的に活動している市町村、施設等の視察研修会を開催する。 (3年目以降)これまでの事業を引き続き実施する。地域福祉の先進的な活動をしている市町村や施設等の視察研修会を開催する。
51	千葉市	中央区生浜地区	千葉市社協 生浜地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、生浜地区の地域づくりを検討し、生浜地区の活性化を図る。	(1年目)地域フォーラム立上げのため、社協地区部会を事務局に、地区12町内会、等の代表を中心に設置実行委員会を立ち上げる。また、事業活動別の専門部会を設け、新旧住民が交流できる場の設置する。高齢者世帯の見守りを行うための、「支援マップ」の作成配布する。地区老連、民児協と連携し、高齢者を対象とした交通安全教室の拡充とその実施。高齢者ふれあいいきいきサロン、子育てサロンも同様に拡充実施する。 (2年目)住みよいまちづくりをめざすために、実行委員会を中心とし、具体活動に取り組む。福祉マップを作成し、地域と福祉のつながりや課題について調査する。 (3年目以降)高齢者の見守り活動やいきいきサロン・子育てサロンの充実をテーマに講演会の開催を計画する。福祉マップを仕上げ、地域に配布する。助成終了後も地域が必要とされている課題について、継続して検討する。
52	千葉市	中央区東千葉地区	千葉市社協 東千葉地区	H20.10.23	200千円	東千葉地区部会は、住民のニーズの把握や住民同士の協力関係をさらに充実させて、各種事業を活性化させる。また、住民がつくる交流懇談の場を重視し、これらを数多く設けていく。	(1年目)住民参加をさらに展開していくために、現在実施している生活支援事業、ボランティア登録事業、コミュニティサロン事業等がさらに地域に広がるように懇談会等を開催していく。また、定着しつつあるボランティアによる防犯パトロールをさらに発展させるために、当地区では未着手である防災ネットワークづくりに取り組む。また、民児協等の連携の上で総合的な拠点づくりを図る。 (2年目)住民参加をさらに推進するために、ニーズアンケート調査を実施し、潜在的なニーズや現状を捉えなおす。ふれあいまつりを小・中学校と連携を図りながら開催する。 (3年目以降)アンケート調査から明らかになった生活課題への対応を積極的に検討・推進していく。これまで展開してきた各種事業についても、多くの住民によって運営されていくようにする。
53	千葉市	中央区新宿地区	千葉市社協 新宿地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、新宿地区部会内での高齢化の加速の問題に対応するため、民生委員と共同で高齢者見守りのための「安心ファイル」を作成し、高齢者に配布する。	(1年目)「安心ファイル」を高齢者世帯に、緊急時に活用する目的で予め渡し、地域全員で安全で安心して暮らせるまちづくりをめざす。「安心ファイル」の項目については、①個人情報項目、②担当民生委員の氏名、③各種公的機関窓口の連絡先一覧、④地域医療機関リスト、⑤災害時の避難場所マップ等を掲載する。 (2年目)前年度の事業を継続するとともに、資料作成検討のための専門部会を設立し推進していく。その他、いきいきまちづくり、世代間交流のためのイベントを随時開催する。 (3年目以降)引き続きこれまでの活動を継続していく。高齢者世帯へ安心ファイルを順次配布していき、配布枠も拡大していく。また、世代間交流や健康講話等、地域福祉推進のための各種イベントも開催していく。
54	千葉市	中央区中央東地区	千葉市社協 中央東地区部会	H20.10.23	200千円	地域内の安全・安心のまちづくりのための福祉マップを作成する。	(1年目)地域福祉マップづくりのため、フォーラムを立ち上げる。住民アンケートを実施し、住民のニーズを把握する。 (2年目)福祉安全マップを活用し、自主防衛組織等の活動をさらに強化する。安全安心のまちづくりをテーマに講演会等を開催する。 (3年目以降)マップを活用した地域づくりの各種活動、具体的な活動へ結びつけるため、各自治会・町内会にてフォーラムを開催し、安全安心の住みやすい地域社会づくりに努める。
55	千葉市	花見川区検見川地区	千葉市社協 検見川地区部会	H20.10.23	200千円	地域住民が心のネットワークを深め、共に助け合い、支え合う地域の安全・安心を高めるまちづくりをめざし、地域の各種団体が一体となり、地域力を高めることを目的に活動する。	(1年目)地域住民に地域福祉フォーラムについての理解の充実、フォーラムへの参加意向、期待等を検討し、テーマ等を把握するため、地域内各世帯のアンケート調査を自治会・民生委員等の協力の基に実施し、検見川地域の住民意識を把握する。アンケート結果を基に、地域のさまざまな団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。また、広報活動を活発にし、地域住民に地域の実態を理解してもらう。 (2年目)地域住民に引き続きアンケートを実施し、住民のニーズや意識を把握する。アンケート結果を基に、タウンミーティングを開催する。 (3年目以降)誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに向けて、地域に存在する諸団体間のネットワークづくりを推進し、地域社会の活性化に努める。アンケート結果を参考に、個別事業の検討を行う専門部会を設置する。先進的な活動をしている市町村、団体等を招いてシンポジウムを開催する。検見川町のテーマである「地域の防災・防犯・健康づくり」をさらに充実させるため、地域福祉フォーラムで検討していく。
56	千葉市	花見川区花園地区	千葉市社協 花園地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、花園地区内の高齢者の介護予防事業を推進し、花園地域の活性化を図る。	(1年目)自宅に引きこもりがちな高齢者に対し、比較的やさしい運動である「グラウンドゴルフ」を行う。その後「介護予防の話」を開く時間を設定し、健康で楽しい高齢者社会を醸成することを目的とする。 (2年目)介護予防健康フォーラム、グラウンドゴルフ、健康法を継続して実施する。いきいきサロンの充実と健康カラオケを導入し、さらには健康体操を実施する。 (3年目以降)これまでの事業を継続して実施する。地域内高齢者と児童の交流を深める健康フォーラムを実施する。助成終了後も社協地区部会活動として事業の継続を図る。
57	千葉市	花見川区朝日ヶ丘地区	千葉市社協 朝日ヶ丘地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区部会設立10年を鑑みるとともに、朝日ヶ丘地区の地域づくり等を検討し、更なる活性化を図る。	(1年目)朝日ヶ丘地区部会設立10年史を作成する。自治会の協力を得ながら地域住民全体のアンケートを行い、住民のニーズを汲み取り内容を検討、次年度から地区部会活動に組み込めるものは活かしていく。中学生(高学年)とタウンミーティングを開催し、共に地域で生活するもの同士として福祉について共有する。 (2年目)前年度実施したアンケートについて検討し、今年度は年齢・性別を問わず、地域住民に広く呼びかけ、ふれあいを目的としたバス旅行を実施する。団地地区と一戸建ての地区のつながりを再構築するきっかけとする。警察と学校にお願いして「自転車の正しい乗り方」について講習会を開催する。 (3年目以降)震災時・防災時に慌てて右往左往することのないように、避難場所・避難経路・病院・AED設置場所・薬局・給水ポンプ所在地等を識別して作成し、地区へ配布するための取り組みを行う。

58	千葉市	花見川区206地区	千葉市社協 206地区部会	H20.10.23	200千円	地域住民の福祉増進を図るため、その方策を検討し、福祉の活性化につながる事業を実施していく。	(1年目)関係者に地域福祉フォーラムを理解してもらい、地域内福祉増進のための活動について討論、検討してもらい事業を具体化する。また、次年度以降の方針についても話し合う。今年度は、文化振興を中心とした事業を計画に基づき開催し、地域内の福祉増進に資する。 (2年目)関係者他、多くの人たちにフォーラムの意義・活動について、より一層討議・検討してもらい、広く福祉増進のため努力する。また、健康づくりのための様々なイベントを拡げていく。 (3年目以降)平成23年度以降についても、地域福祉の増進のため可能な限り活動を継続していきたい。
59	千葉市	花見川区花見川地区	千葉市社協 花見川地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、会場内の介護予防活動(B型機能訓練事業)の推進を図り、健康で安全に安心して暮らせる地域づくりを進める。	(1年目)既存事業である7拠点での介護予防活動(B型機能訓練事業)の実態調査を行う。男女別出席者数、年齢構成、支援ボランティアの構成・人数、参加者のニーズ等を調査することによりフォーラムで検討すべき課題を明らかにする。また、7拠点の会場間にサービス等の差異が出ないように共通のマニュアルを最終的に作成したい。 (2年目)フォーラムを開催し、問題点の改善対策を検討し新たな開催拠点の拡大・育成を図るとともに、開催会場の支援ボランティアの交流をすすめる。開催地区の特性を活かした介護予防活動の質的向上と均質化を図る。 (3年目以降)助成期間終了後も活動に支障が出ないよう、小委員会で介護予防活動に関するマニュアルを作成する。定期的に見直し、いつまでも生活できる皆で支えあう地域社会づくりの一助とする。
60	千葉市	花見川区第2地区	千葉市社協 花見川第2地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、花見川2中校区の地域づくり等を検討し、地域の活性化を図る。	(1年目)フォーラム実行委員会の発足と実行委員会開催。地域に住んでいる人たちが安心して住み続けたいと思う地域にするために、今何が必要か。そして将来に向けてどんなことが必要か等、フォーラム実行委員会に参加している各団体、個人に呼びかけフォーラムを開催する。「オレオレ詐欺」の被害者にならないためのフォーラムをふれあい喫茶の場を活用し、北警察等の協力を得て、ビデオ上映や講演等の内容で開催する。 (2年目)健康フォーラムの開催、認知症になっても暮らしやすいまちづくりフォーラムの開催。障害者と共生できるまちづくりフォーラムの開催。 (3年目以降)これまでの取り組みを継続するとともに、新たなテーマでフォーラムにも取り組む。また専門部会を発足させ、個々の課題についても取り組む。助成終了後も事業を継続していく。
61	千葉市	花見川区こてはし地区	千葉市社協 こてはし地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、こてはし地区の地域づくり等を検討し、こてはし台地域の活性化を図る。	(1年目)地区内のふれあいいきいきサロンの場を活用し、歯科医師、歯科衛生士の協力を得て口腔機能が体の健康に及ぼす影響を講演や歯科健診、口腔ケア指導を通して体験的に学び、健康維持に関する意識向上を図る。認知症の専門家や家族を招いて、認知症に関する講演会や勉強会を開催する。安全・あんしんのまちづくりフォーラムを開催し、誰もが被害にあわず、災害発生時にも安全が確保され、安心して暮らせる地域社会づくりについて検討する。 (2年目)前年度開催した安全・あんしんのまちづくりフォーラムを開催する。地域内の防犯パトロールを自治会の協力を得て実施する。ふれあいいきいきサロンを活用した健康フォーラムの開催。いざという時のセーフティネット構築のため、「ご近所のたすけあい」ネットワークづくりフォーラムを開催する。 (3年目以降)これまでの取り組みは、1、2年で解決するものではないため、じっくりと取り組んでいく。特に、「ご近所のたすけあい」ネットワークづくりについては、継続的に実施していきたい。
62	千葉市	花見川区天戸中学校地区	千葉市社協 天戸中学校地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、天戸中学校地区部会地区の住みやすい安全な地域社会づくり等を検討し、当該地域の防犯・防災の実効的な活動組織づくりを図る。	(1年目)地域の防犯・防災に対する取り組みの実態調査と把握を目的として、安全な地域社会づくりを推進するフォーラムを開催する。地域の各組織の設置数や活動の実態調査を行い現状を把握する。近隣の市や町の取り組みについて調査する。自治会、学校、防犯・防災の関係者等の参加を得て、住みやすい安全な地域社会づくりフォーラムを開催し、それぞれの自治会・町会の特性に即した実効性/実行性のある防災・防犯の活動組織づくりとともに、地区社協部会内のこれからの活動組織のネットワークづくりのための資料を整える。 (2年目)住みよい安全、安心な地域社会づくりフォーラムの継続。防犯活動については、防犯パトロールの強化と地域住民への理解促進。防災活動の理解促進を図る。関係団体と協力し、講演会や体験学習、周知広報、防災マップの作成検討等、地域住民の意識の醸成を図る。 (3年目以降)これまでの事業を継続して行う。これまでの防犯・防災活動に加えて、高齢者福祉、障害者福祉、ボランティア等についてのフォーラムを開催したい。助成終了後も地域福祉フォーラムの活動を継続する。
63	千葉市	花見川区幕張本郷中学校地区	千葉市社協 幕張本郷中学校地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、幕張本郷中学校地区の地域づくり等を検討し、千葉市幕張町一丁目及び幕張本郷地域の活性化を図る。	(1年目)専門委員会を立ち上げ以下について計画を立てる。①既存の子育てサロンを活用し、歯科医師による講演及び歯科健診等を実施する。②朝のラジオ体操、高齢者地域内散歩等の活動を実施に向け、計画の検討を行う。③その他地域福祉フォーラムの開催について、専門委員会を中心に実施可能な内容の調査、並びに実行に向けての具体的な方策を検討する。 (2年目)「生命力を守り育む・子どもの生と性」をテーマに講演会を実施する。専門委員会を中心に、フォーラムで取り組むべき内容について検討する。 (3年目以降)地域福祉の先進的な活動を実施している市町村・団体との交流を図り、フォーラム、シンポジウムの開催を検討・推進していく。助成終了後も継続実施していき、福祉の地域づくりを展開していく。
64	千葉市	稲毛区小中台地区	千葉市社協 小中台地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、小中台地区の地域づくり等を検討し、小中台地域の活性化を図る。	(1年目)青少年相談員を中心として親子講座を開催し、当該地区の小中学生とその親を対象とした地域フォーラムを開催する。その際に、地区内への告知とアンケート調査を学校の協力の基に実施する。「親子の絆」をテーマに親子講座を開催する。初年度は千葉大学サイエンスプロムナードをはじめ学識経験者による講演会等を開催し、親子で参加していただく。 (2年目)親子講座をタウンミーティングとして開催する。前年度の取り組みを継続して行う。先進的な活動をしている市町村・団体等を視察し、シンポジウム等を開催する。 (3年目以降)アンケート結果を取りまとめ、恋属して親子講座をタウンミーティングとして開催する。これまでの活動を継続して行う。



65	千葉市	稲毛区山王地区	千葉市社協 山王地区部会	H20.10.23	200千円	地域で支える子育てフォーラムの開催。	(1年目)既存事業である「ちびっこ広場」をより一層発展させるために、地域の小学校、中学校、保育所、幼稚園、自治会、老人会、民生委員・児童委員、ボランティア等の参加を得て地域で支える子育てフォーラムを開催する。 (2年目)いきいきサロン「ちびっこ広場」を活用した地域で支える子育てフォーラムの開催。フォーラムで子育てに関することや子育て中の悩み等に関する相談及び講座を実施する。 (3年目以降)これまでの取り組みを継続するとともに実施計画の分析を行い、より充実した交流の広場である地域で支える子育てフォーラムにする。地域の小・中学校、保育所・幼稚園、自治会、民生委員・児童委員、ボランティアの参加を得て、児童や地域住民が参加できる子育てフォーラムを開催する。
66	千葉市	稲毛区稲毛地区	千葉市社協 稲毛地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、稲毛地区の地域福祉のさらなる発展を図る。	(1年目)ふれあいいきいきサロンを発展させ、保健師による健康相談、健康体操の体験、健康おやつづくり等、高齢者のための「健康フォーラム」を開催する。さらに、活動を通じて参加者自らの健康維持に関する意識向上を図る「健康キャンペーン」を開催する。また、「世代を超えての助け合い～活気ある稲毛地区をめざして～」をテーマに稲毛地区の住民を対象にフォーラムを開催する。 (2年目)ふれあいいきいきサロンを活用した健康フォーラムの開催。公民館にて月一度講師を招き、介護予防を目的に健康フォーラムを開催する。また、地域住民を対象にフォーラムを開催し、地域の課題発掘等について、どのように解決していくのか協議する。 (3年目以降)事業を継続するとともに、専門部会を立ち上げ、事業の進行管理と地域福祉の推進に努める。助成終了も活動を継続できるように地域のネットワークづくりを進める。
67	千葉市	稲毛区稲丘地区	千葉市社協 稲丘地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、稲丘地区の地域づくり等を検討し稲丘地域の活性化を図る。	(1年目)健康増進と新旧住民の交流を図るため、町別対抗協議会を開催する。 (2年目)地域コミュニティ活動を活性化するために、子どもから高齢者に至る人々の健康から防犯・防災について検討するフォーラムを開催する。 (3年目以降)これまでの事業を引き続き実施する。地域の様々な方が参加し、発言できるフォーラムディスカッションを開催する。
68	千葉市	稲毛区草野地区	千葉市社協 草野地区部会	H20.10.23	200千円	子育て地域フォーラムを設置し、草野地区の地域づくり等を検討し、草野地区の活性化を図る。	(1年目)地域内のちびっこ広場を活用し、子育て支援の充実を図ることを目的として、地域の子どもたちの安心・安全なまちづくりと、更なる活性化を図ることを目的とし、現在の従事者、及び参加者とさらに地域の方々を交えフォーラムを開催する。参加者に対する説明会の実施。 (2年目)前年度同様、ふれあい子育てサロンを活用したちびっこ広場フォーラムを開催する。また、子育て関係について専門知識のある講師を招き、講演会を開催する。活動記録のVTRを作成する。 (3年目以降)これまでの活動を継続し、更なる内容の充実を図る。地域福祉の先進的な活動をしている地区部会との交流を図る。プロジェクト活用による子育て支援活動の充実(VTRの使用)
69	千葉市	稲毛区緑が丘地区	千葉市社協 緑が丘地区部会	H20.10.23	200千円	地域フォーラムを設置し、緑が丘地区の地域づくり等を検討し、緑が丘地区の活性化を図る。	(1年目)現在の地区部会の構成メンバーだけでなく、一般の住民の参加を募り、地域福祉フォーラムを設置する。①地域の活性化。②住民同士の繋がりを密にする。③安心して暮らせる地域づくりをめざす。住民アンケートを行い、地域住民のニーズを分析し課題を検証する。 (2年目)自治会、民生委員児童委員協議会、青少年育成委員会、社会体育振興会、社会福祉協議会、老人会に加え、一般住民を加えて「緑が丘フェスタ(仮称)」を開催する。 (3年目以降)21年度の実績に基づき、講演会等を開催して充実したものにする。緑が丘住民が集い、助成終了後も事業を継続して実施できるような体制をつくる。
70	千葉市	稲毛区301地区	千葉市社協 301地区部会	H20.10.23	200千円	地区防災会議を設立し、自助、共助でできることを地区全体で共通理解し、いざという時に役立つ防災組織を作る。	(1年目)防災に対する問題点を整理し、災害に対する住民の意識を高めることを目的とし、家庭と地域の実践的防災対策を地域住民が共通理解しておくことで、いざ緊急事態が発生した時に困らないように地区防災会議を立ち上げ、日頃の備えをする。各種講演会にて自助努力について学習し、自らできることは何かを皆で知恵を出し合う。緊急時に備える支援体制作りを行う。広報を積極的に行う。 (2年目)引き続き災害時における近隣のたすけあいについて、日頃からどのようなことに心がけておくとよいか共通理解を深める。独居高齢者に「私の情報カプセル」を作成してもらい、皆が自宅の同じ場所に保管してもらい、いざという時に誰でもわかるようにする。災害時の対応について講習会を開催する。広報を積極的に行い、地域住民に広く周知を図る。 (3年目以降)これまでの取り組みを継続して行い、小地域での体制を構築する。公助について、現在どのような体制が整えられているかを知る。避難所になっている小・中学校の防災設備の確認。情報伝達、情報入手の方法の確認。地区でできる支援体制を考える。地域で使える防災関連施設・設備について検討する。
71	千葉市	稲毛区緑・黒砂地区	千葉市社協 緑・黒砂地区部会	H20.10.23	200千円	緑・黒砂地区において、どのような福祉活動が必要かとされているのか、イベントを開催し、広く住民の声を聞く。内容は、「社協まつり」と称し、健康相談や手あそびのコーナー、リサイクルショップ等を設け、その中でアンケートを実施する。また、当地区にある自治会館に事務所を置き、定期的に地域のネットワークの推進を図るフォーラムとして、活動を充実させる。 (2年目)前年度同様、高齢者と独居高齢者を対象とした「ふれあい食事サービス」と子育て支援の「よいこ広場」を継続して実施する。具イベントを通じて気軽に意見を述べていただき、地域のニーズに応えられるよう検討していく。当地区の中心にある自治会館の改修工事が検討されていることから、地域福祉フォーラムの活動拠点として整備したい。 (3年目以降)引き続き前年度の事業を実施し、一つ一つの要望を実現させていきたい。また、誰でも気軽にいつでも立ち寄れる解放的な雰囲気「ひとやすみ」「いいこの場」等を設け、常に地域の声が開けるような体制を整え、さらなる地域のネットワークの推進を図る。	

72	千葉市	若葉区桜木地区	千葉市社協 桜木地区部会	H20.10.23	200千円	地域フォーラムを設置し、桜木地区の地域づくり等を検討し、桜木地域の活性化を図る。	(1年目)地域社会づくりを進めるためには何が必要か、地域住民を対象に広く呼びかける。様々な関係機関団体の協力を得て、地域の安全安心のまちづくり推進フォーラムを開催する。「スポーツの町桜木」と称され全国モデルにもなっている「当地区体育振興会」、「スポーツ団体連絡会」等のノウハウを活かしつつ、連携を深めて、スポーツ・コミュニティを活用した健康管理・増進策の模索、普及を図るための「健康フォーラム」を開催する。 (2年目)認知症になっても暮らしやすい地域づくりというテーマで、地区内の認知症の専門家や認知症者を抱える家族の方を招いての講演会を開催し、認知症があっても暮らしやすい地域社会づくりを進める方策を考えるフォーラムを開催する。前年度のスポーツを通じた「健康フォーラム」を開催する。 (3年目以降)障害があっても、誰もが暮らしやすい地域づくりを進めるためには何が必要か。障害のある方の地域生活の現状や課題について、地域支援ネットワークづくりや障害者への理解の輪を広げる方策について検討するためのフォーラムを開催する。
73	千葉市	若葉区更科地区	千葉市社協 更科地区部会	H20.10.23	200千円	地域フォーラムを設置し、更科地区の地域づくり等を検討し、更科地域の活性化を図る。	(1年目)地域社会の高齢化が進む中で、高齢者が健康で生き生きと生活するために、地域としてどんな事業が展開できるか、どのような情報発信をしていけばよいかを考えるとともに、専門家を招いて学習を進める。敬老会事業を軸として、地域文化の振興を図り、魅力ある地域づくりを進める。「親子凧揚げ大会」を企画し、地域のコミュニケーション、子ども同士、大人と子どもの交流を図る。 (2年目)更科地域を考える対話集会を開催する。学生を交え、更科地区の歴史、これからの更科、地域福祉等について幅広い層の参加を呼びかけ、対話集会を開催する。前年度の事業を引き続き実施する。 (3年目以降)これまで培ってきた地域交流活動の実績を踏まえて、事業の継続発展を図るとともに、地域福祉フォーラムの組織・運営を充実させる。3年目以降についても、予算措置等課題解決を図りながらフォーラムの取り組みを進めたい。
74	千葉市	若葉区御成台、千城台西・北地区	千葉市社協御成台、千城台西・北地区部会	H20.10.23	200千円	地域フォーラムを設置し、御成台、千城台西・北地区の地域づくり等を検討し、御成台、千城台西・北地区地域の活性化を図る。	(1年目)「心と体の健康づくり」をテーマとして、初年度は地域の活性化をめざし活動することにする。 ①フォーラム実行委員会を組織し、地域活性化の課題を随時協議する。生活課題等を検討する。 ②心と身体づくりの健康フォーラムを開催する。地域住民の交流、特別支援学級の子どもたちとの交流、高齢者と子どもたちとの交流を図る。広報活動を広く行う。 (2年目)活動方針は、若葉区の基本目標である「だれもがいきいき暮らせる しあわせのまち 若葉区～あなたとわたしでつくる支えあう地域福祉の実現をめざして～」とし、 ○心と体の健康づくりの推進。 ○高齢者、障害者、子どもにやさしい地域づくりの推進。 ○地域住民の声を活かした活動の推進をして、それに付随したフォーラムを開催する。 (3年目以降)今年度の事業を引き続き開催する。
75	千葉市	若葉区大宮地区	千葉市社協 大宮地区部会	H20.10.23	200千円	高齢化率40%に達している当地区として、住民の安全・安心確保のため、安全・安心のまちづくりフォーラムを開催する。	(1年目)①小・中学生に高齢者世帯のごみ出し等のボランティアを呼びかけ、高齢者の負担を解消していく。 ②新聞配達所等と協力して、高齢者の安否確認、連絡体制を「高齢者見守りネットワーク」として確立する。また、緊急連絡先を明記した「安心カード」の配布と、「福祉マップ」を作成する。 ③居場所や交流の場づくりとして自治会館等を利用し、それぞれの活動の中で悩みの解消や地域でできることを模索するための話し合いを随時行っていく。 (2年目)前年度の事業を引き続き実施する。 (3年目以降)○福祉の担い手の確保・育成。定年退職後の元気な方々に呼びかけ、実働部隊に勧誘していく。そのために老後の活躍の場としての地区部会やボランティア活動についての講演会等を通じたフォーラムを企画し、積極的な呼びかけを行う。 ○子ども、高齢者、障害者の交流促進。夏祭り、餅つき、文化祭等の季節感あふれる行事や、スポーツ行事を通じ、より多くの方がご近所とのつながりを深めるきっかけとする。アンケート等を工夫し、少しでも住民の声を吸い上げる機会として活かせるようにする。
76	千葉市	若葉区加曾利地区	千葉市社協 加曾利地区部会	H20.10.23	200千円	地域フォーラムを設置し、加曾利地区の地域づくり等を検討し、加曾利地域の活性化を図る。	(1年目)認知症、病疾患等をテーマに健康講話集会を開催する。近隣老人福祉施設でのフォーラムを開催し、地域内の高齢者を中心に「イベント出張」を通じて地域と施設の交流を図る。地元の公民館まつりで地区部会のブースを確保し、来場者にアンケートの実施や啓発物の配布を行う。地域福祉の必要性について理解を促す。 (2年目)介護に頼らない健康づくりと近隣老人福祉施設とのネットワークの構築を当面の活動目標とする。また、この活動を通じて当地区内の横断的な助け合い組織づくりを図る。・健康づくり(軽スポーツの実施等)に平行して何かあったときの介護相談が気楽にできるネットワークを構築しておく。 ①健康講話集会や近隣老人福祉施設でのフォーラム開催する。 ②新規に「地域助け合い事業の構築」の準備に検討に入り、委員を集めた話し合いを開始したい。 (3年目以降)上記の事業を継続し、構築したネットワークのをより強力なものに仕上げていきたい。加えて、社協地区部会主催の「地域における助け合い組織構築に向けて」に関し、話し合いの場である地域福祉フォーラムを結成する。みんなで何でも話し合う交流づくりを徹底して行う中で議論し、次のステップアップに備えることとする。
77	千葉市	緑区土気地区	千葉市社協 土気地区部会	H20.10.23	200千円	地域フォーラムを設置し、土気地区の地域づくり等を検討し、土気地域の活性化を図る。	(1年目)地域フォーラム設置委員会で検討の結果、昨年のパイロット事業として実施した「昭和の森オリエンタリング」を継続として取り入れる。地域住民に対して、全町内自治会に回覧チラシを配布する。また、ポスター、広報紙でPR活動をする。子ども会リーダーが、やがて地域福祉の担い手となる育成の場となればと位置づけている。 (2年目)前年度の事業を引き続き実施するとともに、子ども会リーダーがやがて地域福祉の担い手となる場となればと位置づけている。 (3年目以降)これまでの継続するとともに、この事業の検討を行う専門部会を設置する。地域諸団体との連携、交流をより一層深める。地域づくり・地域福祉の先進的、模範的事業となるよう推進する。

78	千葉市 緑区おゆみ野地区	千葉市社協 おゆみ野地区部会	H20.10.23	200千円	おゆみ野地区の交通問題に係るフォーラムを設置し、高齢者・障害者を含めた地区住民の住みよいまちづくりを検討し、温もりのあるまちづくりの実現に向け、地域福祉活動の活性化を図る。	(1年目)福祉フォーラムを推進していく上で、関係団体の代表をもって実行委員会を設け、組織作りを行う。現状のおゆみ野地区における問題点・課題を整理し問題に応じた専門部会を設置する。①「高齢者に優しい街づくり」フォーラム、②「安全で安心な街づくり」フォーラム、③「明るくて、安全で安心な街づくり」フォーラム、④「障害者に優しい地域づくり」フォーラムを設置し、地域の問題について意見交換を行う。その後、専門部会ごとに問題を整理し、次年度へ引き継ぐ。 (2年目)専門部会の設置(交通部会、児童部会、環境部会)。以下のフォーラムを設置する(予定)。①児童部会フォーラム(6月)、②環境部会フォーラム(6月)、③交通部会フォーラム(9月)。その他、各部会ごとに協議し、違うテーマでのフォーラム開催についても検討する。 (3年目以降)地域福祉フォーラムの活動(地域の課題についての協議の場)が、助成期間以降も住民の中に定着していくように各問題点について関係機関団体と引き続き協議し連携していく。
79	千葉市 美浜区稲毛海岸地区	千葉市社協 稲毛海岸地区部会	H20.10.23	200千円	地域フォーラムを設置し、稲毛海岸地区の地域づくり等を検討し、稲毛海岸地域の活性化を図る。	(1年目)自治会、育成員会、民生児童委員等の協力を得て、子ども、高齢者、障害者を巻き込んだフォーラムを開催する。フラワーロードの維持管理のために、専門知識者を招き指導を受けながら定期的に実施する。 (2年目)前年度の取り組みを継続するとともに、地域内のふれあいサロンの場を活用する。また、地域住民を対象に専門医、保健師の協力を得て身体の健康に及ぼす影響について講演指導を行い、参加者の意識向上を図る。公民館を借用し、地域住民の交流を図る。また、ボランティアによる手づくり弁当を用意し、幼児から高齢者に至るまでの方が楽しんでいただくイベントを企画する。 (3年目以降)20、21年度と実施した事業を継続するとともに、高齢者、障害のある人も引きこもらず、常に地域の中で安心して暮らせる環境づくりを検討する。視野を広げるための活動として、バス研修を企画する。3年目以降も、ふれあいきいきサロン、子育てサロンの充実、アジサイロードの管理、高齢者、障害のある人を対象とした研修。
80	千葉市 美浜区幸町2丁目地区	千葉市社協 幸町2丁目地区部会	H20.10.23	200千円	幸町2丁目地区において総合ネットワークづくりを行う。	(1年目)幸町2丁目地域の福祉活動の充実を図るために、社協地区部会が中心となって、地域の各種団体に「総合福祉ネットワークづくり」への参加を呼びかける。これまでの活動の経験や体験を通して意見や考えを出し合い会議を行う。大地震等災害発生時に備えたまちづくりについて検討する。 (2年目)前年度の活動を実施していく。大震災発生時に備えたまちづくりを行っていく。 ①自主防災会の情報交換や活動の交流を図る。 ②大震災発生時に備えた連携と協力体制の検討。 ③防災施設の見学を実施し、地域に役立てる。 (3年目以降)地域福祉フォーラム：防災組織が災害発生時に地域に密着した活動ができるよう問題や課題の整理と研究、調査を行う。要支援者等の把握と支援体制の検討を行い、連携・協力して取り組む共通課題を検討する。また、地域全体の防災マップの作成と周知、地域全体を網羅した防災体制の構築を図る。
81	千葉市 美浜区高洲高浜地区	千葉市社協 高洲高浜地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設立し、高洲・高浜地区の住民が健康で安全・安心の暮らしやすい地域づくりを検討し、高洲・高浜地域の活性化を図る。	(1年目)準備実行委員会を開き、福祉課題の中より「活動テーマ」及び「呼びかけ団体・個人」等について内容別に事前打合せの開催。地域福祉フォーラム開催と反省会の実施。 (2年目)①自転車による交通事故防止から地域の安全・安心を考える。障害者、学生等多くの関係する方々に呼びかけ、フォーラムを開催する。 ②「子どもフェスタ」の開催を組み入れ継続させることにより、「伝承あそび」を通して大人と子どもの交流が図られる。これは、子育て支援にもつながり、お互いに見守りあう関係を構築できるように推進する。 ③誰もが健康で安全・安心に暮らすには地域に何が必要か。特に中高年、若年層の独居者、高齢者世帯への取り組みを始め、現状を把握し、「安全・安心の暮らしやすい」とは何かを地域で検討するフォーラムを開催する。 (3年目以降)3年間の取り組みを継続する。
82	千葉市 美浜区磯辺地区	千葉市社協 磯辺地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、高齢化が顕著な磯辺地区の住民が安心・安全で生活できるよう検討し、地域福祉の充実と活性化を図る。	(1年目)安心・安全で住みよいまちづくりの観点から住民の福祉ニーズを把握する。サロンのボランティアスタッフの交流を行い、よりよいサロン活動へつなげる。千葉西警察署に協力を依頼し、サロン開催時に講話を行う。障害者との交流会では、中学生に参加してもらい、障害者の理解と交流を深める。育児サークルの際に育児専門家による講演・相談を行う。 (2年目)前年度の事業を引き続き行う。他にもふれあい食事サービス会後、日常生活について参加者との意見交換を行い、高齢者の生活状況を把握する。大災害発生時の要支援者・要保護者対策として、磯辺まちづくり研究会との連携により課題の検討、啓業活動により少しでも住民の安心・安全を図る。 (3年目以降)①磯辺福祉協力準備委員会から業務を移管されることにより、独居高齢者、高齢者世帯の見守りを進め、高齢化率が高い磯辺地区から孤独死を防ぐ手立てを検討し、安心なまちづくりにつなげていく。 ②大災害への対応として、災害弱者はもとより、住民の方々の安全を図るため、磯辺地区全体の防災対策を進めていく。
83	千葉市 美浜区真砂地区	千葉市社協 真砂地区部会	H20.10.23	200千円	地域福祉フォーラムを設立し、真砂地区の住民が健康で安全・安心の暮らしやすい地域づくりを検討し、真砂地域の活性化を図る。	(1年目)地域の誰もが健康で安心な生活ができる地域フォーラムの開催。今年度は高齢者を対象にバスによる見学会を開催する。真砂地区は独居高齢者も多く外出する機会が限られている。民生委員の協力で多くの人に参加してもらおう。 (2年目)昨年度は、高齢者を対象としたフォーラムを開催した。今年度は、子育て、育児についてのフォーラムを開催する。講演会等を中心に展開する。 (3年目以降)3年目は障害者を対象としたフォーラムを予定している。以降は、本事業の継続状況を見て高齢者、育児、障害者をテーマにした事業を要望に沿って行う。
84	市原市 (ちはら台地区) 清水谷小学校区	市原市社協 ちはら台支部	H21.1.20	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、ちはら台地区の地域づくり等を検討し、清水谷小学校区地域の活性化を図る。	(1年目)①清水谷小学校校区の各種団体(自治会、民生児童委員、その他)と座談会開催に向けた企画・運営をネットワーク会議で行う。②座談会を開催し、情報交換・情報収集を行い、課題の整理をする。地域福祉に関する意識調査を実施し、地域住民のニーズや人材等の把握と地域内の実態調査を行う。③広報誌を発行し、地域福祉に対する参加の呼びかけ及び啓業を行う。ちはら台ケーブルTV、ちはら台コミュニティ日より活用し、参加の呼びかけ及び啓業を行う。 (2年目)①ネットワーク会議の開催、②座談会の開催、③アンケート調査の実施、④ボランティア委員会の開催、⑤広報活動 (3年目以降)①ネットワーク会議の開催、②座談会の開催、③ボランティア委員会の開催、④広報活動、⑤相談窓口の設置検討

85	市原市	(南総地区) 寺谷小学校区	市原市社協 南総支部	H21.1.20	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、寺谷小学校区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)①ネットワーク推進委員会を設置し、小学校区内の各種団体及び団体に所属していない地域住民も含めた構成員での具体的な活動に向けた取り組み内容について検討する。②推進委員会のメンバーを4つの専門班(広報班、子ども支援班、成人支援班、高齢者支援班)に分け、それぞれの分野での支援内容について検討する。③地域へのネットワークの周知理解のため広報活動を行い、多くの住民に活動に賛同・参加してもらえよう努める。 (2年目)引き続きネットワーク推進委員会の開催、ネットワーク支援班会議の開催、周知理解のための広報活動を行う。 (3年目以降)3年目以降についても、同様の内容で活動を継続していく。
86	市原市	(南総地区) 牛久小学校区	市原市社協 南総支部	H21.1.20	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、牛久小学校区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)目的・形・流れを明確にし、意見の集約と意見統一(共有化)を図り小地域活動に直結させることを目的に、①小学校区内の各種団体及び所属していない地域住民も含めた構成員でネットワーク全体会議を開催する。②役員会及び部会役員会を開催し、全体会議での検討内容を取りまとめ、今後の取り組み方針の検討を行う。③全体会のメンバーを割り振り、高齢者・青少年・環境部会を設置する。④地域への周知、理解の促進と活動への参画を図る。 (2年目)①安心安全○災害発生時の対応(防災活動)・防災マップ(20年度作成)に基づき、高齢者・独居高齢者・障害者等の把握と避難誘導・救出の訓練。緊急避難場所等の安全確認(耐震性、飲料水、食料、電気、トイレ等)○安心安全の見守り・小学校児童の安全確保(登下校時の見守りをさらに拡大浸透)②元気作り(健康・健全)○各部会活動(高齢者部会・青少年部会・環境部会)③広報誌の発行○広報誌の発行(年3回/町会回覧) (3年目以降)①ネットワーク全体会議の開催、②役員及び部会役員会の開催、③部会会議の開催、④広報活動
87	市原市	(南総地区) 鶴舞地区	市原市社協 南総支部	H21.1.20	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、鶴舞地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)①座談会を開催し、高齢者や子育てをしている方を対象に、定期的に地域の青年間・自治館等を利用して座談会を行う。地域の特性を把握しその解決策を図る。②アンケートを実施し、地域の実態、年代別の特性を十分に把握し、座談会等多くの会議・実践に役立てる。③ネットワーク会議を開催し、各種団体・各町会の連絡企画担当と連携を密にしなが、具体的実践がスムーズに展開するよう定期的に会議を開催する。④住宅地・山間地の防犯パトロール実施に伴い、地図や資料作成、情報収集等の会議を行う。⑤草花・植栽等環境整備のための研修・資料作成。 (2年目)①座談会の開催、②アンケートの実施、③ネットワーク会議の開催、④防犯活動、⑤草花・植栽等環境整備のための研修・師匠作成。
88	船橋市	高根台地区	高根台地区社協	H21.1.20	200千円	船橋市高根台地区は、住民主体の地域福祉活動によって、困ったときはいつでも助け合えるような地域社会の実現をめざしています。そのような地域を作り出すために講演会、シンポジウムを開催しその実現をめざす。	(1年目)1年目は、「まちの再生をめざして」「いつでも夢を、ひと、まち、くらし、笑いのあふれる街づくり」シンポジウムを開催する。 (2年目)課題をつかみ、「安心、安全なまちづくり」、「子どもの顔が見える、大人の顔が見えるまちづくり」等を学び、防災・防犯への意識向上、多世代のふれあい居場所づくり等をとおして、福祉ネットワークづくりへとつなげていきたい。なお、行政、企業、商店会等との連携について探りたい。 (3年目以降)「地域ぐるみのネットワーク」シンポジウムを開催し、地域の団体・個人の参加を求めながら、住民主体の地域福祉活動の展開を図る。助成終了後も、地域福祉活動推進のための研修会を開催し、事業の継続を図る。
89	船橋市	二宮・飯山満地区	二宮・飯山満地区社協	H21.1.20	200千円	船橋市二宮・飯山満地区は、住民主体の地域福祉活動によって、困った時にはいつでも助け合えるような地域社会の実現をめざしています。そのような地域を作り出すために、シンポジウム及び講演会を開催します。	(1年目)船橋市二宮・飯山満地区は、高齢者世帯、一人暮らしの高齢者が増え、マンション等が建ち街が急変している。住民が安心して暮らせるまちづくりのため、1年目は、「安心・安全なまちづくり」について学ぶ講演会を開催する。 (2年目)「福祉のまちづくりをめざして」地域関係団体によるシンポジウムを開催し、地域住民の福祉に対する意識の向上を図り、「地域ぐるみのネットワーク」づくりの推進に努める。 (3年目以降)「地域ぐるみのネットワーク」シンポジウムを開催し、地域の団体・個人の参加を求めながら住民主体の地域福祉活動の展開を図る。助成終了後も、地域福祉活動推進のための研修会を開催し、事業の継続を図る。

平成19年度新規フォーラム一覧

設置数:58[基本:8、小域:50]

地域	事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1 白井市	白井市社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、住民参加による白井市の地域づくり等を行い街の活性化を図る。	(1年目)住民を対象に、防災をテーマとした座談会や勉強会。住民への防災の意識づけと、災害時要援助者の把握に努めながら、地域でのボランティア活動を推進する。 (2年目)防災をテーマに引き続き座談会を開催、全市内へと展開していく。本事業を通じ、防災を切り口に「安心・安全なまちづくり」をめざす。22年度以降も先進的な活動をしている市町村・市民活動団体を招きシンポジウム等を開催する。 (3年目)防災をテーマに引き続き座談会を開催する。地域にある井戸等の実態を把握する「マップづくり」を通じ、防災対策に日常的に関心を持つ地域づくりを目的にフォーラムを開催する。具体的には、自主防災組織と防災をテーマに座談会の開催、住民とNPOとの協働で炊き出し訓練を実施し、つながりを深める。家具転倒防止金具付け等を行う「おたすけ隊」への申し込みを受け、に努める。また、防災等に対して関心を持つ地域リーダーを育成する。
2 習志野市	習志野市社協	H19.9.3	200千円	地域福祉フォーラムを実施し、習志野市住民の福祉の向上を図る。	(1年目)成年後見制度を考える市民大会の開催。市民大会開催後、成年後見制度個別相談会を開催し個別相談に応じる。 (2年目)障害をテーマにフォーラムならしの「このまちでイキイキ生きる」を開催し、当事者による事例発表を行う。個別相談の窓口を設け、フォーラム後に相談に対応できるようにする。 (3年目)習志野市社協、民生児童委員協議会、母子保健推進員の会、NPO法人ならしの子ども劇場、子育て支援を考える会が中心となり、社協支部や地域の各種団体に呼びかけ、子育て支援について考える集会を開催。子育て支援について広く理解と周知を図る。これまでのイベントをただの一過性のものにとどめず、各所で市民の盛り上がりを図っていく。地域福祉究極の目的は、住民が主体となってきめ細かく進められる「ひとりの不幸も見逃さない」ような小地域福祉圏地域ぐるみ福祉活動である。3年目以降は、習志野市社協の各支部が実施している「地域福祉懇談会」や行政が事務局になって進められている「まちづくり会議」の場を活用していく。
3 八千代市	八千代市社協	H19.9.3	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、八千代市の住民・団体・企業を対象に「防災」を通じ安心して暮らせる地域づくりを進める。	(1年目)「防災」をテーマにシンポジウムを開催する。地元ケーブルテレビ協力の下、フォーラムの活動を取材してもらい、番組を編成する。メディアとの連携も強化していく。 (2年目)アンケートを集計し、参加していない個人・団体についてはイベントや訪問時に再度協力を要請する。関係者を募り小委員会を開催。アンケート結果を協議し、シンポジウム等を開催する。 (3年目)災害時における要支援者支援のために、住民に対するアンケート調査を実施し、具体的な避難支援計画の策定をめざす。「新たな支えあい」をテーマに、地域企業との協働による障害児やその家族、児童養護施設を巻き込んだスキーツアーを実施する。これをきっかけに、各地域施設機関と広域的なネットワークの構築を検討する。
4 木更津市	木更津市社協	H19.9.3	200千円	地域福祉フォーラムを実施し、市内の地域福祉に対する機運を高めていきたい。	(1年目)「地域でこんなことしてます研修会」(仮称)の開催。地域懇談会打合せ会の開催。 (2年目)「地域福祉活動計画」策定最終年を迎え、地域住民をはじめ地区社協役員を対象に研修会を開催する。地域福祉懇談会を行うための打合せ会を開催する。 (3年目)地域福祉フォーラム設置支援事業の最終年を向け、地域住民をはじめ、地区社協の役員を対象とした研修会を重ねて開催する。各地域であらゆる分野の関係者が集い、地域での課題解決に向けた取り組みの実施について支援する。「地域福祉活動計画」を推進するために、地区社協以外にも市内の福祉団体や福祉施設関係者、NPO等を巻き込んで展開する。
5 大網白里町	大網白里町社協	H19.9.3	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地域福祉活動計画の策定及び検証の住民座談会を通じて地域ぐるみ福祉を進める。	(1年目)地域福祉活動計画策定にあたり各地域において住民懇談会を開催し、問題提起や意見等を求めていく。そのために、幅広い分野から地域住民の掘り起こしをする活動を高める。 (2年目)計画策定後も、進捗管理や見直しの提言等の役割を担ってもらうこととし、次年度以降の地域フォーラム活動に繋げていく。 (3年目)地域福祉活動計画推進に関する進捗管理及び評価にあたり、各地域において住民懇談会を開催し、問題提起や意見等を求めていく。22年度以降も3年間取り組んだ活動を各地域と連携し継続させていくことで、地域住民総参加の地域ぐるみ福祉を進める。
6 松戸市	松戸市社協	H19.11.6	200千円	「松戸市地域福祉活動計画」の実現に向けた取組みを行うことを目的として、地域住民や関係団体と協働・連携し、「松戸市地域福祉活動計画」についての市民報告会や子育て支援に関するフォーラム事業等を開催する。	(1年目)「松戸市地域福祉活動計画」の策定完了に伴い、市民報告会を開催。松戸市や教育機関、子育て支援団体と協働・連携し、地域福祉フォーラムを開催する。 (2年目)①子育てサロン②通学路の見守り活動③子どもの防犯活動④子育てのための研修などのフォーラム事業を展開し、子どもを通して高齢者や障害者との異世代交流を図り、地域福祉の増進に寄与する。 (3年目)子どもたちが安心して地域内で生活できるよう、松戸市や教育機関、関係団体と協働・連携し地域福祉フォーラムを開催する。

7	南房総市		南房総市社協	H19.11.6	200千円	基本福祉圏の南房総市社会福祉協議会として南房総市全体の地域づくりを検討し市内全域の活性化をめざし、多くの個人団体の参加を呼び掛け事業を実施します。	(1年目)地域フォーラム説明会の実施。地区社協の協力の基に地区社協が抱えている課題について「状況調査」を実施し、各地域の状況を把握する。 (2年目)住民や団体等に地域フォーラムを理解してもらう為に、広く参加を呼びかけ説明会を開催する。地区社協協力の基に地区が抱えている課題について「状況調査」を実施し、各地域の状況を把握することで、来年度以降の地区社協ごとに地域フォーラムを立ち上げ地区社協活動の活性化を図る。 (3年目)地区社会福祉協議会連絡協議会を開催し、地区社協ごとの地域フォーラム開催に繋げる。地区社協代表者や福祉関係者をはじめ、商店街、警察、学校等に呼びかけて地域福祉フォーラム実行委員会を開催する。
8	匝瑳市		匝瑳市社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、匝瑳市全域の防災災害支援活動から匝瑳市全域における要援護者の把握、支援を行い地域づくりの活性化を図る。	(1年目)各関係機関と会議の実施。災害についての危機感や現状について理解してもらうための災害講演会の開催。地域の様々な団体・個人が参加できるよう呼びかけ。 (2年目)防災、災害支援を行うために、各関係機関と会議を実施する。前年度に引き続き、地域住民等を対象に講座を開催し、災害についての危機感や現状について理解してもらう。 (3年目)各関係機関との会議の実施、専門部会を立ち上げ、要支援者の把握、支援マニュアル策定について検討する。防災、災害支援をテーマに地域住民等に講義、体験を通し理解してもらう講座を引き続き開催する。また、子どもを対象にした防災教育を進めていく。同じような取り組みを行う団体と広く交流を持ち、災害時においてお互いが助け合えるような協定についても検討を行う。
9	白井市	第二小学校区	第二小学校区地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地域の課題を住民同士で話し合うことで地域住民の繋がりを密にし、助け合える地域づくりをめざす。	(1年目)住民座談会を開催し、意見交換を行うことで地区社協の存在の啓発や参加を呼びかける。白井市社協と連携し、認知症サポーター、防災等でのセミナーを行い人材発掘に努め、地域福祉を担う次世代育成を行う。 (2年目)今年度も住民座談会を開催し、意見交換を行うことで地区社協の存在や啓発、参加を呼びかける。地区社協ののぼり旗を商店等の協力を得て設置し、地域で子どもを見守る体制を構築する。各関係団体に呼びかけ、富塚・折立地区を重点に防災マップづくりを行う。 (3年目)今年度も地域福祉フォーラムについて知ってもらうための住民座談会を実施する。白井市社協と連携し、認知症サポーター、防災等のセミナーを行い人材発掘に努め、地域福祉を担う次世代育成を継続して行う。中・小峠・今井・名内・小名内・工業団地地区を重点に、災害をテーマとしたマップづくりを行い、地域課題を発掘し、解決策を探り、地域力を育成する。
10	山武市	蓮沼岡・浜地区	蓮沼岡・浜地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、蓮沼岡地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)世代間交流事業を展開し、児童と地域住民をつなげる活動をする。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。 (2年目)地域の高齢者クラブや稲作支援ボランティアと共に小学校との交流事業を実施し、世代間交流を通じて児童と地域住民を繋げる活動を行う。住民福祉座談会を開催し、昨年度発掘したニーズのとりまとめと解決に向けた意見交換の会議を行う。課題解決に向けての勉強会や研修会を開催する。 (3年目)2年目の活動を引き続き行う。地域住民のふれあい事業を継続的に推進していく。住民参加に向けた協力団体や個人の発掘を行い、より多くの協力者を募る。地域で実践できることに向けた協議を進める。住民ニーズや課題を解決するために、地域で何が出来るかを検討協議していく。地域活動の周知を拡大していく。
11	山武市	睦岡地区	睦岡地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、睦岡地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)地区社協福祉推進員の連携強化。ゆうあい活動の実施。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)睦岡小学校との連携し、世代間交流を推進する。地区社協福祉推進員の連携強化、事業拡大を行うため検討会議を開催する。地域の問題に対応するための勉強会や研修会を行う。住民福祉座談会を開催し、昨年度発掘したニーズの取りまとめと解決に向けた意見交換の会議を開催する。 (3年目)前年度に引き続き、小学校との世代間交流、検討会議の実施、研修会の開催等を行う。課題解決に向けての勉強会の開催。地域福祉計画・地域福祉活動計画の実践活動の支援を行う。また、計画支援に対して評価をする会議を開催する。
12	山武市	日向東地区	日向東地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、日向東地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)子育て支援と高齢者支援を推進する中で地域住民や団体の参加を促し、福祉意識の高揚につながる活動を行う。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)子育て支援と高齢者支援事業を重点的に推進している中で、地域住民や団体の参加を促し、福祉意識の高揚につながる。災害対策、地域福祉活動、高齢者福祉活動を推進していく。住民福祉座談会を開催し、昨年度発掘したニーズの取りまとめと解決に向けた意見交換の会議を開催する。 (3年目)引き続き地域住民の協力の基、課題解決に向けた活動について協議していく。地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けた意見の取りまとめを行う。ニーズの具体的な解決に向けた勉強会を開催する。
13	山武市	日向西地区	日向西地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、日向西地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)世代間交流・福祉教育の推進を進める中で、地域住民との協働事業を促進する。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)山武西小学校を中心に世代間交流・福祉教育の推進を進める中で、地域住民との協力事業を促進する。フォーラムへの参加団体を増進する。住民福祉座談会を開催し、昨年度発掘したニーズの取りまとめと解決に向けた意見交換の会議を開催する。 (3年目)継続的に高齢者・障害者・児童に対する事業を展開し、地域住民がより協力的に参加できる地域福祉活動推進を協議する。地域福祉計画・地域福祉活動計画の実践活動支援。課題解決に向けての勉強会の開催。

14	山武市	山武北地区	山武北地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、山武北地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)地域住民と児童が交流する事業を行う。子育て支援、福祉教育の育成の推進をし、高齢者に対しての閉じこもり防止のための事業にも努めている。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)地域に根ざした活動を中心に山武北小学校区の児童・高齢者・障害者の生活を支援し、地域住民が共にふれあう事業の拡充を行う。住民座談会を開催し、地域の様々な団体・個人の参加の基、会議を開催し、住民ニーズを直接聞き出す会議を開催する。 (3年目)地域福祉懇談会等で掘り起こされた住民ニーズを課題とし、解決や実現に向けて検討協議していく。課題解決に向けての勉強会の開催。
15	山武市	松尾地区	松尾地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、松尾地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)高齢者の安否確認と閉じこもり防止活動の推進。世代間交流事業から福祉教育につなげる。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)友愛訪問や定期的な食事会等を開催し、高齢者の安否確認を閉じこもり防止活動の推進に努める。地域福祉計画・地域福祉活動計画策定へ協力する。住民福祉座談会を開催し、昨年度発掘したニーズの取りまとめと解決に向けた意見交換会を開催する。 (3年目)高齢者や子ども、地域住民を対象とする事業の継続と推進。勉強会・研修会等の開催により課題解決の協議を行う。幅広い参加団体や協力者の参加を求めていく。
16	山武市	大平地区	大平地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、大平地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)一人暮らし高齢者や高齢者世帯に対する在宅支援活動を行っている。世代間交流に努める。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)一人暮らし高齢者や高齢者世帯の定期的な見守り支援活動や閉じこもり防止活動を中心に在宅支援活動を行っている。地域福祉計画・地域福祉活動計画策定へ協力する。 (3年目)高齢者や子ども、地域住民を対象とする事業の継続と推進。住民ニーズの課題や地域で実践できることの実現に向けて、協議検討していく。地区社協の基盤強化のための検討会議の開催。
17	山武市	豊岡地区	豊岡地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、豊岡地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)ふれあい会の開催により地域住民との交流推進する。友愛訪問により高齢者の見守りに努める。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)ふれあいサロン・地域食会・商工会助成部との協働でふれあい会食会を開催し、在宅高齢者の支援と協力団体との連携に努める。住民福祉座談会を開催し、昨年度発掘したニーズの取りまとめと解決に向けた意見交換の会議を開催する。 (3年目)9地域住民を対象とした事業の推進。地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けた意見の取りまとめ。
18	山武市	成東地区	成東地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、成東地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)小学校との交流事業や地域高齢者との交流会に力を注いでいる。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)小学校・地域高齢者の定期的な交流会に力を注いでいく。地域課題解決に向けた勉強会や研修会を開催する。住民福祉座談会を開催し、昨年度発掘したニーズの取りまとめと解決に向けた意見交換会を開催する。 (3年目)小学校との交流を中心とした事業の推進を行うと共に、地域住民の参加を促す。課題解決に向けての勉強会や研修会を開催する。
19	山武市	大富地区	大富地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、大富地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)地域住民の福祉意識の輪を広げる活動を推進する。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)小学校との交流事業や、児童の協力で行う高齢者訪問等を継続実施していく。4委員会(企画・福祉サービス・広報芸能・ふれあい)の拡充を行うための会議を開催する。住民福祉座談会を開催し、昨年度発掘したニーズの取りまとめと解決に向けた意見交換会を開催する。 (3年目)地域課題解決に向けた勉強会や研修会を開催する。今まで参加が無かった団体へも協力を求める。高齢者や子ども地域住民を対象とする継続した事業の推進。
20	山武市	南郷地区	南郷地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、南郷地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)地域住民協働事業を拡充するための協議を行う。より多くの住民を交流できるよう努める。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)地域の一人暮らし高齢者への訪問事業を実施し、さらに地域住民が安心して暮らせる地域づくりを推進する事業を行う。世代間交流を推進し、多くの地域住民の参加を促す。住民福祉座談会の開催。 (3年目)住民相互の助け合いの意識の高揚を促す事業を推進していく。地域の問題や課題を解決していくための協議を行う。
21	山武市	鳴浜地区	鳴浜地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、鳴浜地区の地域づくり等を検討することで地域の活性化を図る。	(1年目)世代間交流事業を始め、地域住民との交流事業に積極的に取り組んでいる。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)地域住民の交流事業を積極的に取組み、新たな参加者を増員するための検討会議を継続的に開催していく。地域福祉計画・地域福祉活動計画策定へ協力する。福祉推進人の研究会の開催。住民座談会を開催し、住民のニーズを直接聞き出す会議を開催する。 (3年目)地域福祉懇談会等で掘り起こされた住民ニーズや課題を、解決や地域内で検討協議していく。課題解決に向けての勉強会や研修会の開催。

22	山武市	緑海地区	緑海地区社協	H19.6.29	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、緑海地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)施設との交流や地域行事に力を注ぎ、地域に根ざした活動に努める。地域福祉計画・活動計画策定に向けた住民ニーズの発掘を行う。地域福祉懇談会を開催し、住民ニーズを直接聞き出す。 (2年目)地域内の交流事業を通して、地域に根ざした活動推進に努める。また、その事業の拡充を行うための検討会議を開催する。住民福祉座談会を開催し、昨年度発掘したニーズの取りまとめと解決に向けた意見交換の会議を開催する。 (3年目)小学校と連携して行う事業を基盤とし、子育て支援・世代間交流・高齢者の支援事業を拡大していく。地域福祉活動計画事業の実践に協力する。
23	大網白里町	大網地区	大網白里町社協 大網支部	H19.9.3	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地域福祉活動計画の策定及び検証並びに大網地区の見守り活動実施のための住民座談会を通じて地域ぐるみ福祉を進める。	(1年目)町社協地域福祉活動計画策定にあたり、住民懇談会を開催し地域の問題提起や意見等を求めていくと共に、大網地区見守り活動実施に向けて、住民意識の醸成を進めていく。 (2年目)社会福祉活動計画策定にあたり住民懇談会を開催し、地域の問題提起や意見等を求めていくと共に、大網地区見守り活動実施に向けて、住民意識の醸成を進めていく。今まで参加がなかった団体や地域住民の掘り起こしや呼びかけを行っていく。 (3年目)地域福祉活動計画策定後も進捗管理や見直しの提言等の役割を担うと共に、大網地区見守り活動の地域連帯での更なる取り組みの基盤強化を図ることとし、次年度以降の地域福祉フォーラム活動に繋げていく。
24	鴨川市	太海地区	太海地区社協	H19.9.3	200千円	小域福祉圏域のフォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)今後3年間の事業計画、小域における事務局等について協議。地域福祉フォーラムの開催にむけての準備作業。本番の開催及び反省会の実施。 (2年目)地域福祉フォーラムについての説明会を太海地区社協を対象に行い、地域福祉フォーラム開催に向けて準備作業、検討等を行う。終了後は、反省会を行い、活動をより充実させたものにする。 (3年目)地域福祉フォーラム実行委員会打合せ会議を開催しフォーラムの開催に向けて準備を行う。鴨川市地域福祉計画の策定に向け、住民の日常生活における意見や提案を取りまとめるため、事務局(地区社協)を中心に連絡調整会議を開催する。テーマに沿った専門部会を設置し内容を検討する。地域福祉フォーラム終了後に各テーマごとの今後の取り組みと、地区社協又は鴨川市地域福祉計画の策定に反映させるための会議を開催する。
25	鴨川市	鴨川第一地区	鴨川第一地区社協	H19.9.3	200千円	小域福祉圏域のフォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)地域福祉フォーラム開催に向けて「テーマ」「呼びかけ団体・個人」等について、内容別に打合せ会を開催。本番の開催及び反省会の実施。地区社協事業計画への活用の為の会議。 (2年目)1年目同様の流れで地域福祉フォーラムを準備、開催する。 (3年目)実行委員会を開催し、フォーラム開催に向けての準備をする。前年度地域福祉フォーラムにおいて出題された内容について、地域としての対応方法、その他について実行委員を中心に再度検討する。地域福祉計画策定に向けて、地域住民の日常生活におけるニーズや、今現在の問題点・提案他を取りまとめるための地域福祉フォーラムを開催する。
26	鴨川市	鴨川第二地区	鴨川第二地区社協	H19.9.3	200千円	小域福祉圏域のフォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)地域福祉フォーラム開催に向けて「テーマ」「呼びかけ団体・個人」等について、内容別に打合せ会を開催。本番の開催及び反省会の実施。 (2年目)1年目と同様の流れで地域福祉フォーラムを準備、開催する。 (3年目)今年度も地区社協を事務局とし、実行委員会を開催して地域福祉フォーラムの開催に向けて準備と検討を行う。鴨川市地域福祉計画策定に向け、地域の意見・提案を取りまとめるための地域福祉フォーラムを開催する。
27	鴨川市	田原地区	田原地区社協	H19.9.3	200千円	小域福祉圏域のフォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)地域福祉フォーラム開催に向けて「テーマ」「呼びかけ団体・個人」等について、内容別に打合せ会を開催。本番の開催及び反省会の実施。 (2年目)前年度に開催した立上会及び年度末に開催した反省会の事項を基に、専門部会及びフォーラム実行委員会を必要に応じて開催する。フォーラム開催の為に、広報活動、役員会等の準備作業を行い、開催後は反省会を行う。 (3年目)フォーラムにおいて出されたテーマ、課題を整理し、その対応や指針についてまとめ整理する。鴨川市地域福祉計画の策定に向けた住民の日常性格、現在発生している問題点を集約するための田原地区地域福祉フォーラムを開催する。地域内で不足している福祉サービスについての調整社会資源の確保・活用や新規事業の検討について協議する。
28	鴨川市	大山地区	大山地区社協	H19.9.3	200千円	小域福祉圏域のフォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)地域福祉フォーラム開催に向けて「テーマ」「呼びかけ団体・個人」等について、内容別に打合せ会を開催。本番の開催及び反省会の実施。 (2年目)地区社協役員会において地域福祉フォーラムの内容について理解してもらい、フォーラム事務局とする。開催に向けて、打合せや広報活動、資料作成等の準備作業を通じてフォーラムを開催する。 (3年目)鴨川市地域福祉計画作成に向けた住民の日常生活における意見・提案を取りまとめるためのフォーラムの開催。前年のフォーラムの内容を参考に、個別の対応の専門性等を検討。現在地域で不足している福祉サービスについての調査と、既存の社会資源の確保・活用や新規事業研究について検討する。
29	木更津市	岩根西地区	岩根西地区社協	H19.9.3	200千円	「地域の課題は地域で解決する」という自治意識の醸成を図るとともに、地域の課題を住民自らが考え、解決するための組織、(仮称)地域経営委員会の創設をめざす。	(1年目)地域住民や団体を対象に課題等について調査するアンケートの実施、レポートの作成。地域ボランティア団体との意見交換会並びに研修会の開催。広報活動。 (2年目)「まちづくりのシステムを考える年」と位置づけ、ボランティア団体のアンケート調査を実施し、「岩根西地区街づくりフォーラムパートⅡ」を開催する。同時にシステム作りの研究、まちづくりのアイデアを募集する。 (3年目)「まちづくりシステム(機能)」について、①組織づくりの合意、②目的の共有化、③システム(機能)の形成を目的に意見交換会を開催する「岩根西地区まちづくりフォーラムパートⅢ」を開催し、パネルディスカッション形式で地域課題の解決策について協議する。また、広報誌を通じて広報活動を進める。



30	木更津市	一中西部地区	一中西部地区社協	H19.9.3	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、一中西部地区の地域づくり等を検討し、一中西部地域の活性化を図る。	(1年目)防災体験フェスタを開催し、子どもから高齢者、障害者のみならず、行政や企業、メディア等広範囲にわたって参加を呼びかけ意識付けを行う。 (2年目)「防災体験フェスタ」をふまえて「防災」を観点にタウンミーティング、またはシンポジウムを予定。地元ケーブルテレビを通じ、住民にさらに関心を持ってもらい参加を呼びかける。 (3年目)「これからの福祉活動について」をテーマに、交流会や学習会、座談会等を開催し、日常生活の中で人と人とのつながりがよりよくなるように活動できるようにしたい。先進地との交流会、また鴨川市と交流し活動の有り方を提案する。
31	木更津市	二小地区	二小地区社協	H19.9.3	200千円	地域内に於ける福祉活動の層の充実を図る為、アンケートを実施し、タウンミーティングを開き、地域内の福祉計画、災害時の独居老人対策や高齢者の孤独死対策をも構築しようとするもの。	(1年目)住民へのアンケート実施。各地でのタウンミーティングの開催。 (2年目)初年度のアンケート結果をもとに、個別に対策を検討する専門部会を設置する。21年度以降も地域福祉活動の先進地区市町村の視察、活動家・専門家を招いてシンポジウムを開催。タウンミーティングの開催を続ける。 (3年目)独居高齢者、または高齢者のみの家庭が不慮の事態に遭遇した時の対処、隣近所との連携、緊急の連絡網の作成等、不足事態に対処するために組織化をする。児童の分野に関しては、近年、体力面での低下が見られるので、放課後子ども教室の活動を利用して集団でできるスポーツを行い、競技大会等を開催し、体力の向上と融和団結を図る。医療講座を開催する。地域内の環境美化を自治会や各種団体、地域住民と協働して行い、近隣住民同士の交流と連携を深める。安全パトロール活動の全地区への普及を図る。
32	木更津市	富来田地区	富来田地区社協	H19.9.3	200千円	地区社協・自治会・民生児童委員・ボランティア等が協議して地域の方々の幅広い参加のもと、地域活動の活性化のための地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)地区社協内各世帯にアンケート調査を行う。地域住民をはじめ地区社協、自治会、民生委員、ボランティア等が協議して幅広い参加のもと、意見交換会を開催する。 (2年目)意見を取りまとめるための連絡調整会議を開き、地域フォーラムの先進地視察を行う。引き続き意見交換会や具体的な活動に結びつけるための専門委員会を設置し研究と活動を重ねる。 (3年目)平成19年度、平成20年度に開催した地域福祉懇談会及びボランティア団体との意見交換等で出された声を反映させるため、サロンを新しい場所で開催する計画である。子どもたちと高齢者との交流をさらに充実させるため、連絡調整会議及び専門部会を開催する。また、さらに幅広い意見を聞くためのタウンミーティングを開催する。
33	木更津市	波岡東地区	波岡東地区社協	H19.9.3	200千円	少子高齢化の進行に伴ない、家族形態の多様化等により、地域の福祉ニーズは拡大している。自治会、民生委員を中心に地域の各団体と協力し、地域住民が主体的に取り組む課題を探る。	(1年目)「住民福祉ニーズアンケート」の実施。地域の住民に地域福祉フォーラムを理解してもらい、地域で不足していること、地域で出来ること等、地域住民が主体となり課題に取り組んでいける環境づくりを行う。 (2年目)地域住民の意見・提案を取りまとめ、住民座談会等を実施。専門部会を設置し、計画実現に向けた取り組みを行う。市の地域福祉計画についても意見交換を実施し、専門部会で検討する。 (3年目)専門部会を設置し、「福祉ニーズ」を解決するための計画の実現に取り組み、アンケート結果の分析とその対策について考察する。地域の力を引き出す方法として「挨拶運動」の推進を自治会へ一歩で並行し、地域内主要拠点へ啓蒙看板を設置する。木更津市地域福祉計画について意見交換を実施し、地域への取り組みをはかる。前年同様、他市町村地区社協との交流を深めよりよい方策を検討する。
34	松戸市	明第1地区	明第1地区社協	H19.9.3	200千円	「みんなで守る地域の安全と安心・防災のまちづくり」をテーマに、福祉と防災を運動させ、安心と安全の地域づくりを目的に、参加団体間の連携を深める学習会を開催する。	(1年目)地域福祉フォーラム実行委員会準備会の設置。地区社協内の様々な層へ参加の働きかけや地域の課題についての調査活動、準備会参加者を対象にした勉強会の開催を行う。 (2年目)「みんなで守る地域の安全と安心・防災のまちづくり」をテーマに地域福祉フォーラム実行委員会を開催する。 (3年目)流通経済大学と共同で住民の意識調査を行う。ハザードマップを作成する。道路を実際に歩き、危険な箇所の確認・空き地、井戸等を調査する。3年を通じた活動の報告を兼ねたシンポジウムを開催する。広報活動を展開し、多くの住民、団体に関心を持ってもらい幅広い参加を得られるよう努める。地域福祉フォーラムを開催し、防災についての理解を深め、福祉と防災を運動させ安全・安心の地域づくりをめざす。
35	松戸市	常盤平地区	常盤平地区社協	H19.9.3	200千円	常盤平地域の住民が一堂に集い、日頃の地域活動の発表やPRを行いお互いのふれあい交流を通してより一層の生活向上と地域福祉を図ることを目的とする。	(1年目)「さわやか広場ときわ平」を開催し、福祉分野以外の住民に参加を呼びかける。地域の人の声を聞きながら様々な分野の人々と互いに融合し、地域を見つめなおす“場”をつくる。 (2年目)「さわやか広場ときわ平」を開催し、地域活動の発表等を通じて地域福祉推進をめざし、福祉分野以外の住民にも参加を促す。参加関係団体の代表者を集めた検討会を開催し、アンケート調査を実施する。 (3年目)引き続き「さわやか広場ときわ平」を開催し、地域に住む様々な方の声を聞く場とする。そのための準備会を福祉関係者はもちろんのこと、それ以外の関係者にも呼びかけ開催する。
36	八街市	八街北地区	八街北地区社協	H19.9.3	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、防犯ネットワークを構築するために住民同士で話し合うことにより、地域住民の繋がりに密にし、助け合える地域づくりをめざす。	(1年目)「地域福祉フォーラム」の事業を知ってもらうため、参加団体の交流の場を設置し、今後の事業(活動)の協力と取り組み方を話し合う。 (2年目)初年度の「防犯ネットワーク作り」で見えてきた問題点を提起し、地域で先駆的に活動している団体、個人を講師に招き、地域住民が参加する地域懇談会を開催する。八街北小学校区内の4地区の防犯、交通安全パトロール等の諸団体及び個人活動家を招き、初年度の事業活動での課題を皆で話し合うミニ集会を開催し、誰もが安心して安全に暮らせる地域の町づくりと防犯ネットワーク作りをめざす。 (3年目)事業を継続・展開しながら地域住民の要望及び問題点を解決するために、地域ミニ集会を開催する。
37	八千代市	大和田地区	八千代市社協 大和田支会	H19.9.3	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、大和田地区の住民を対象に「支会まつり」の住民会議を通して安心して暮らせる地域づくりを進める。	(1年目)「支会まつり」の開催にあたり、「支会まつり実行委員会」に参加を呼びかけ、特に若い層や今まで参加がなかった団体や個人の掘り起こし。不足しているサービスや抱えている悩みについても意見交換をし取りまとめ、次年度以降の活動に繋げる。 (2年目)昨年度好評であった障害者との交流をさらに深めるため、障害者とのミニタウンミーティングを開催する。支会の世代間交流やふれあいサロン、親睦バス旅行等にも積極的に障害者を招き交流を深めていく。 (3年目)「地域フォーラム」を各支部会の活動に反映させていくと共に、地域づくりを先駆的に進めている団体やリーダーを招いてセミナーを開催し、地域ぐるみ福祉を進めていく。

38	八千代市	勝田台地区	八千代市社協 勝田台支会	H19.9.3	200千円	他地区に比べ高齢化率の高い勝田台地区において、助け合い安心して暮らせる福祉の町を作り上げることを目的に、地区社協が中心となり自治会その他関係諸団体と連携強化を図り、地域交流、世代間交流を進める為に地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)住民アンケートの実施。地域福祉フォーラム推進のために4つの部会を設け地域活動のテーマについて今後の進め方等を検討する。 (2年目)前年度に組織した4つの分科会(高齢者福祉、中央公園整備、街の活性化対策、子育て支援対策)を引き続き開催する。テーマごとに地域における課題、問題点等を抽出し今後の対策を討議する。年間1回シンポジウムも開催し、その際にアンケートを実施する。 (3年目)4分科会を引き続き開催。今後の対策について検討し、最終的には報告書の取りまとめを行う。
39	大網白里町	瑞穂地区	大網白里町社協 瑞穂支部	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地域福祉活動計画の策定及び検証並びに瑞穂地区の見守り活動実施のための住民座談会を通じて地域ぐるみ福祉を進める。	(1年目)町社協地域福祉活動計画策定にあたり、住民懇談会を開催し地域の問題提起や意見等を求めていくと共に、瑞穂地区見守り活動の地域連帯での更なる取り組みの強化を図る。 (2年目)住民懇談会を開催し、地域の問題提起や意見等を求めていくと共に、瑞穂地区内の高齢者見守り活動実施に向けて、住民意識の醸成を進めていく。そのために、今まで参加がなかった団体や地域住民の掘り起こしや呼びかけを行っていく。 (3年目)地域福祉活動計画策定後も進捗管理や見直しの提言等の役割を担うとともに、瑞穂地区見守り活動の更なる取り組みについて基盤強化を図ることとし、次年度以降の地域福祉フォーラム活動につなげていき、地域住民総参加の地域ぐるみ福祉を進めていく。
40	木更津市	金田地区	金田地区社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、金田地区の地域づくり等を検討し、金田地域の活性化を図る。	(1年目)タウンミーティングの開催。高齢者との異世代意見交換会の開催。先進地への視察研修の実施。 (2年目)タウンミーティングの開催。講演会の開催。専門部会の設置。シンポジウムの開催。高齢者との異世代意見交換会を実施する。独居老人の現状の把握と表敬訪問活動。 (3年目)タウンミーティングを開催し、地域の各種団体を中心に地域福祉のあり方について話し合い、意見や提案を取りまとめ、今後の参考として取り組みの中に活かしていく。講演会を開催し、今必要とされている地域福祉について認識を深めていく。専門部会を設置し、今後の地域福祉活動の中に、各種の研修成果をいかに盛り込んでいくか検討する。地域福祉の先進的な取り組みを持つ地域とシンポジウムを開催する。
41	木更津市	岩根東地区	岩根東地区社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムの設置により、地区住民の心のネットワーク強化をさらにはかり、共に助け合い、共に支え合う、まちづくりの検討を行い、「地域福祉の岩根東地区まちづくり」の緒に就く。	(1年目)住民アンケートの実施、タウンミーティングの開催、事務局担当者会議。 (2年目)「地域福祉活動計画」とタウンミーティングの取組み課題との整合、調整を事務局会議ではかる。前年度アンケートやタウンミーティングの基に個別検討課題について検討する専門部会。先進の活動地域への訪問。他の地域福祉フォーラムから招き、シンポジウムの開催。 (3年目)①平成20年度アンケート結果を活用し、地域の諸団体及び関係者を対象にタウンミーティングを実施する。②公民館、集会所を活用した、当該地区の高齢者のふれあいのためのサロンを開設できるように関係者との会合を重ねていく。③高齢者を対象にアンケートを実施した上で、タウンミーティングを開催し、次年度以降の課題を明確にする。
42	木更津市	鎌足地区	鎌足地区社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区社協の存在意識を高め、地域力の活性化を強めていく場にした。	(1年目)タウンミーティングの開催。地域で課題となっている高齢者の見守りについて考える場としたい。 (2年目)地域福祉フォーラムについて理解してもらい、地区社協の存在意識を高め、地域力を深めていく機会とするため、重ねて「かまたりフォーラム」を開催していく。専門家を招き研修会を開催し、高齢者の見守りについて話を聞く等さらに知識を高めていく。 (3年目)毎回交代している役員もいるので、地域住民に地域福祉フォーラムについて重ねて理解してもらい、ますます地区社協の存在意識を高め、地域力を深めていく機会とするために、「かまたりフォーラム」を開催する。地域住民の多くが集えるようなイベントを長期にわたって検討する。見守りについて協議してきた総括をパンフレットにし、各戸に配布する。
43	木更津市	太田中学校区	太田中学校区社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地域における独居者、病弱者等、社会的弱者の支援と災害時に犠牲を出さない地域力を形成し、地域の安全安心を高める。地区社協、自治会、地区住民会議、民生委員等を中心に地域の各種団体と協力し、地域住民が主体的に自らの生命財産を守る強力な住民同士の助け合い組織を作る。	(1年目)地域の各団体の役員と地域フォーラムについて話し合い共通理解を図る。高齢者が日ごろ抱えている不安や問題、地域に望むこと等について話し合い、個人ニーズや地域の問題点を明確にする。話し合ったことを地域住民に広報し地域の実態を理解してもらう。 (2年目)昨年度のアンケート調査を基にして、地区毎のフォーラムを開き、地区住民相互の交流を図り、理解を深める。9月頃を目処に、「安心安全見回り隊」を地区班単位で活動できるよう検討する。 (3年目)常盤平団地のいきいきサロンの運営状況を視察し、本地区にある「シルバーサロン太田」の拡充を図り、より多くの人に楽しく利用してもらう方策を検討する。小中学生と高齢者が軽スポーツを行い、終了後に懇話会を開催し、世代間交流できるように相互の理解を深める。自治会、民生児童委員の協力をいただき、独居老人、老夫婦世帯の心配ごとや支援要望調査を行い、見守りネットワークを構築する。地域包括や消防署等の協力を得て、認知症サポーター養成講座や救急法講座を開催し、地域を支えるマンパワーを育成する。最終年の地域福祉フォーラムを開催し、3年間のまとめの報告と討議を行い、講師の講評と今後の活動の方向性について指導を受ける。
44	木更津市	請西小地区	請西小地区社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区社協の存在意識を高め地域力を深めていく機会にした。	(1年目)地域福祉フォーラムについて理解してもらい、地域力を深めていくためのタウンミーティングを開催。新興住宅と古くからの住民が混在しているため、住民間同交流会を行い、親交を深めながら地域で取り組めることを協議する。 (2年目)地域福祉フォーラムを理解してもらい、地域力を深めていく機会とするため重ねてフォーラムを開催する。地域内に新興住宅街と古くからの地元住民が混在しているため、世代を超えた交流会を行い親交を深める。 (3年目)地域福祉フォーラムの開催を重ねていき、地域住民をはじめ、自治会、民生児童委員、老人クラブ会員、PTAを含む学校関係者、商店等を巻き込みながら、新しい街づくりのための視点に立ち、地域福祉活動が取り組めるよう啓発していく。地域福祉フォーラム事業への取り組み方を考えていくために、多方面での研修会を実施する。異世代交流会を開催し、顔の見える幅広い交流を行い、地域コミュニティの土台づくりを行っていきたい。
45	木更津市	三中学区	三中学区社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、三中学区地区の地域づくり等を検討し、三中学区地域の活性化を図る。	(1年目)地域住民アンケートの実施、アンケート結果を基に地域の様々な団体、個人が参加するタウンミーティングを開催する。 (2年目)あいさつ運動を実施し、地域住民間の融和を図る。地域住民アンケート調査を実施し、その結果を基にタウンミーティングを開催する。 (3年目)あいさつ運動を実施し、地域住民間の融和を図る。平成20年度に4地区・2団体でフォーラムを実施し、参加者約200人の方々と意見交換を持つ機会ができた。本年度も引き続き残り6地区でのフォーラム開催をめざす。アンケート調査を基に、地域の様々な団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。

46	木更津市	清川地区	清川地区社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区社協の存在意識を高め地域力を深めていく機会にしたい。	(1年目)地域福祉フォーラムについて理解してもらい、これからの地区社協の存在意識を高め、地域力を深めていくためタウンミーティングを開催。今まで開催してきた「健康講座」を継続しつつ、参加者間で健康を考える機会としたい。 (2年目)タウンミーティングを重ね、学校関係者や商店を巻き込みながら新しい街づくりのための視点に立ち、地域福祉活動が取り組めるよう啓発する。先進地を視察し、地域での活動に反映していく。 (3年目)地域住民に地域福祉フォーラムについてさらに理解を深めていく機会とするために、タウンミーティングを開催する。従来より実施している「健康管理講演会」を継続し、参加者の健康について考える場とする。今年度の講師としては、医師を考えている。
47	木更津市	一中東部地区	一中東部地区社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、一中東部地区の地区づくり等を検討し、一中東部地区の活性化を図る。	(1年目)地域福祉フォーラムについて理解してもらい、これからの地区社協の存在意識を高め、地域力を深めていくためタウンミーティングを開催。先進地を視察し、地域での活動に反映していく。 (2年目)地域福祉フォーラムを理解してもらい、地域力を深めていく機会とするため重ねてフォーラムを開催する。 (3年目)タウンミーティングを重ね、地域住民をはじめ、自治会、民生児童委員、老人クラブ、PTAを含む学校関係者その他を含めながら、新しい街づくりの視点で地域福祉活動に取り組める様に研修会・意見交換会を開く。
48	木更津市	中郷地区	中郷地区社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区社協の存在意識を高め災害に対する地域力の活性化を強めていく場にした。	(1年目)テーマを「災害時一人も見逃さない運動」の組織の拡充とし、タウンミーティングを開催する。広報活動の実施。障害児・高齢者世帯を把握し、防災対策を呼びかける。 (2年目)先進的な活動をしている市町村・団体から講師を招き講演会を実施し、地域での取り組みや活動のあり方を改めて検討する。住民アンケート調査の実施を自治会長、民生児童委員の協力の基実施し、結果を基にタウンミーティングを実施する。 (3年目)前年度に引き続き、アンケート結果を基に地域住民及び関係者によるタウンミーティングを実施する。救急法や施設等研修会を実施する。地域づくりや地域福祉の先進的な活動をしている市町村・団体から講師を招き講演会を実施する。
49	木更津市	波岡西地区	波岡西地区社協	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区社協の存在意識を高め地域力を強めていく場にした。	(1年目)地域福祉フォーラム推進会議の開催。住民アンケート調査、アンケート調査結果を基に、地域の各団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。 (2年目)定期的に地域福祉フォーラム推進会議を開催し、フォーラム事業について検討する。地域各区会単位でアンケート調査を実施し、各団体・個人が参加するタウンミーティングを開催する。 (3年目)地域福祉フォーラム推進会議を定期的に開催し、地域福祉フォーラム事業について検討する。地域住民に地域福祉を理解していただくため、地域の問題点等の意見及びフォーラムへの参加の意向、期待すること等、地域福祉推進会議にてテーマを確認するため地域各区会単位でアンケート調査を実施する。アンケート調査を基に、地域の各団体・個人が参加するタウンミーティングを開催し、意見を集約したものを今後活かす。
50	松戸市	明第2西地区	明第2西地区社協	H19.11.6	200千円	明第2西地区の住民参加で「誰もが安心して暮らせる街づくり」を目的に、地域内の福祉活動組織、NPO・ボランティア団体・町会をはじめ各種団体・施設等各分野の関係者との交流、意見交換を深め、地域ネットワークの推進を図る。	(1年目)地域福祉フォーラムについて準備会を設ける。ボランティアと関係の薄かった福祉関係以外の団体にも参加してもらえよう広報活動を行う。地域福祉フォーラムを開催し、地区住民の生活課題についての調査活動や要望の把握方法について意見交換を行う。 (2年目)昨年実施したフォーラム準備会合で出された検討課題等についてさらに話し合いを深める。広報を通して地区全体に地域課題を知らせる。フォーラムの単位を広げ、町会を超えて共通課題等について情報交換する。 (3年目)2年度にわたって実施した町会別、ブロック別のフォーラム結果を取りまとめ、これらのテーマ・課題をそれぞれの地域に戻し議論を深める。特に共通課題とみられる「防災・防犯」のテーマについて、今後どのような取り組みが考えられるか、地区内の防犯組織(防犯協会・防犯指導員・町会防災防犯部等)と連携した取り組みを検討する。地区住民全体の交流の場を「テーマ別」に計画する。3年間のフォーラム実績を地域住民へ報告し、これまでフォーラムに参加した各団体組織の中で継続してフォーラムの意義を深める取り組みを行う。

51	八千代市	小板橋地区	八千代市社協 小板橋支会	H19.11.6	200千円	小板橋地区の住民を対象に「ふれあい茶話会」と称し、住民会議(地域フォーラム)を設置する。そこから更なるネットワークを構築し、安心して暮らせる地域づくりを進捗する。	(1年目)「ふれあい茶話会」と称したフォーラムを開き、気軽に話し合いのできる場を設置。地域で不足しているサービスや抱えている悩みについても意見交換を取りまとめ、次年度以降の地域フォーラム活動に繋げていく。 (2年目)「ふれあい茶話会」の活動において上がった意見や課題について意見交換を行う。そこで出されたニーズを基に「フォーラム検討委員会」を立ち上げ、ミニタウンミーティングを実施する予定。 (3年目)「地域フォーラム」の活動を部会活動に反映させていくと共に、地域づくりを先駆的に進めている企業・団体やリーダーを招いてセミナーを開催し、地域ぐるみ福祉の推進を強化する。
52	八千代市	米本地区	八千代市社協 米本支会	H19.11.6	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、米本地区の住民を対象に「見守りネットワーク事業」の住民会議を通じて安心して暮らせる地域づくりを進める。	(1年目)自治会・地域住民の方と連携をとって「見守りネットワーク実行委員会」を開催し、一人暮らしでも安心して生活することができる地域づくりをめざし、ふれあいと支え合いの活動を住民の方の協力を得て進める。 (2年目)今年度は、様々な分野の方たちとの懇談・地域住民全体にも呼びかけてタウンミーティングを開催し、意見交換を行いより良い地域福祉を模索する。 (3年目)昨年度の意見交換会で関心の高かった、独居高齢者の孤独死や関係の薄い新住民の住民参加等、「繋がり」をテーマにミニタウンミーティングを開催し、課題の共有や意識づけを行う。これまで関わりの少なかった地域の団体や企業の連携を強化し、地域福祉の向上を図る。
53	市川市	南行徳地区	南行徳地区社協	H20.1.21	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、南行徳地区の地域づくり等を検討し、南行徳地域の活性化を図る。	(1年目)地域活動に少しでも多くの住民に理解と参加を促す公開講演会、地域活動実践(サロン等)PRを開催する。 (2年目)昨年度の「小地域福祉フォーラム事業 南行徳のたね」を受け、更なる地域への活動PR及び担い手の確保を目的とし、サロン活動を中心に活動紹介を展開していく講演会を開催予定。地域活動に少しでも多くの住民に理解と参加を促す講演会、PRを開催する。地域福祉活動の課題等について、住民、行政、社協、関係機関が解決に向けて情報交換等を行う会議を定期的に開催し、更なる活動基盤強化を図る。 (3年目)昨年度の事業を受け、更なる地域への活動PRおよび担い手の確保を目的としたサロン活動を中心に講演会を開催。地域福祉活動の課題等を住民、行政、社協、関係機関が解決に向け情報交換等を行う会議を定期的に開催し、更なる活動基盤強化を図る。
54	大網白里町	山辺地区	大網白里町社協 山辺支部	H20.1.21	200千円	町社協地域福祉活動計画策定にあたり、住民懇談会を開催し、地域の問題提起や意見等を求めていくとともに、山辺地区での見守り活動実施に向けて住民意識の醸成を進めていく。また、山辺地区での見守り活動実施に向けて住民意識の醸成を進めていく。地域福祉フォーラムを設置する。	(1年目)町社協地域福祉活動計画策定にあたり、住民懇談会を開催し、地域住民の問題提起や意見等を求めていくとともに、山辺地区での見守り活動実施に向けて住民意識の醸成を進めていく。 (2年目)地域福祉活動計画策定後の進捗の管理や見直しの提言等の役割を担うと共に、山辺地区での見守り活動での更なる取り組みの基盤強化を図ることとし、次年度以降の地域福祉フォーラム活動に繋げていく。 (3年目)これまでの活動を継続して行う。助成終了後も、本会が3年間取り組んできた「地域福祉フォーラム」の活動を継続させていくことで、関係機関協働で地域住民総参加の地域ぐるみ福祉を進めていく。
55	大多喜町	上瀑地区	上瀑地区 地域ぐるみ福祉協議会	H20.1.21	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、地区内の住民が相互の交流をさかんにして、助け合いながら地域福祉の向上のための座談会を通じて地域ぐるみ福祉を進める。	(1年目)既存の事業の新たな参加者や団体を増員し、新たな地域づくりを考えるための検討会議を開催する。交通安全コミュニティづくりを通して地区内の交通安全対策を推進する。 (2年目)前年度の事業を継続しながら事業内容の見直し、地区住民を対象にアンケートを実施する。アンケートから掘り起こされた住民ニーズを課題として、解決や実現に向けて何ができるのかを検討協議する。広報誌等で地区住民に地区社協を周知し、地域内団体の協力及びより多くの参加を募る。 (3年目)地区社協から情報を発信し、多くの団体や個人との連携を深めていくため、検討会議を開催する。組織の拡充により、より多くの参加団体や協力を募るよう努める。問題解決に向けての勉強会の開催。
56	匝瑳市	平和地区	平和地区社協	H20.1.21	200千円	地域福祉フォーラムを通して、災害発生時に備えた要援護者の把握、災害支援等の取り組みの推進や、地域での子育てニーズ・課題の把握に努め、地域のネットワークづくりを図っていくことを目的とする。	(1年目)地域福祉フォーラムを広く知ってもらうため、地域の様々な団体・個人が参加できるよう呼びかけ、交流の場を設置する。事業の協力と取り組み方を話し合い、高齢者・保護者・児童等が集まり交流を行う親子で遊ぼう会を開催する。 (2年目)災害発生時に、災害支援や要援護者への支援を地域住民が行っていくことの必要性を理解してもらうため、各関係機関と地域住民との議論の場を設置する。また、要援護者支援のため、要援護者の把握や調査を行うための策定検討会を開催する。前年度に引き続き、地域住民により広く参加を呼びかけた「親子で遊ぼう会」を開催する。 (3年目)引き続き各関係機関等と地域住民との議論の場を設置する。講義や体験を通して、防災や災害支援について理解をしてもらい、地域での取り組み方法等について学習する機会を設ける。災害が発生した時に備え、避難訓練を通して実際に地域での災害時支援活動はどのように行われているのか確認し、速やかな避難・救助活動ができるよう取り組む。
57	八千代市	ゆりのき台地区	八千代市社協 ゆりのき台支会	H20.1.21	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、「地域の発展と安心・安全のある環境の醸成」を目的に、様々な住民・団体が話し合う場を設け、地域ぐるみ福祉を推進していく。	(1年目)現在実施している支会活動を基盤に地域の問題を話し合う場を設置し、住民ニーズを拾い上げていくと共にシンポジウムを開催する。 (2年目)19年度から引き続き「いきいき夢クラブ」(ふれあいサロン)の充実を図る。新興住宅地の特色でもある「孤立」を防ぐための事業を展開していく。自治会加入率が低い地域でもあるため、これら事業をきっかけに地域の繋がりを密にしていくよう事業を推進する。 (3年目)今年度は、災害時等にも対応した「安全生活マップ」の作成を予定。これを恒久的・継続的に実施していける体制づくりを行う。新興住宅地が多いため、「孤立」を防ぐ目的も兼ねる。また、自治会の加入率が低いため、これらの活動とおして地域の繋がりが密になるよう取り組んでいく。地元企業及び各種団体と定期的に話し合いを持ちながら、地域福祉のためのパートナーシップを強化していく。
58	八千代市	大新下地区	八千代市社協 大新下支会	H20.1.21	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、「防災」を観点に住民の協議する場を設ける。そこから「まちづくり」を考え地域福祉の充実を図る。	(1年目)防災体験フェスタを開催し、子どもから高齢者、障害者のみならず、行政や企業、メディア等広範囲にわたって参加を呼びかけ意識付けを行う。 (2年目)「防災体験フェスタ」をふまえて「防災」を観点にタウンミーティング、またはシンポジウムを予定。地元ケーブルテレビを通じ、住民にさらに関心を持ってもらい参加を呼びかける。 (3年目)フォーラムで挙げられた意見をさらに具体化し、防災を通じて大和田新下地区のまちづくりを考え、協議する場としてタウンミーティングを随時開催する。地域づくりを先駆的に進めている団体やリーダーを招いてセミナーを開催し、地域福祉を進めていく。

平成18年度新規フォーラム一覧

設置数:13[基本:2、小域:11]

地域		事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	一宮町	一宮町社協	H18.7.14	200千円	一宮町地域福祉フォーラムを設置し、一宮町における地域づくり等を検討する。	(1年目)地域福祉フォーラム設置検討会の設置、一宮町を明るくする活動のモデル的活動実施(町内パトロール、友愛訪問)、一宮町を明るくするフォーラムの開催を検討。 (2年目)地域福祉フォーラム実行委員会の設置、一宮町を明るくする活動のモデル的活動実施、一宮町を明るくするフォーラムの検討・開催(子育て支援、防犯防災、安否確認、バリアフリーなまちづくり等) (3年目)町内パトロールや友愛訪問を実施する。一宮町を明るくするフォーラム活動フォーラムを開催し、子育て支援、防犯・防災、高齢者宅の安否確認、バリアフリーな街づくりについて検討する。
2	鴨川市	鴨川市社協	H18.11.20	200千円	基本地域福祉フォーラムを設置し、鴨川市全体の地域づくり等を検討し市内全域の活性化を図る。	(1年目)地域住民にフォーラムを理解してもらい、ニーズを把握するために地区社協やボランティアなどに意見収集をしてもらう。地域の様々な人が集い参加するフォーラムを開催する。 (2年目)連絡調整会議を開催した上でフォーラムを開催する。さらに出された意見を分類して専門部会を立ち上げ、「地域福祉サービス部会」、「安全対策部会」、「世代間交流部会」などを開催し、研究協議していく。 (3年目)引き続きフォーラムを開催し、地区社協活動において不足しているサービス、要望、提案等を出せる場を設ける。意見調査結果を基に、地区社協会長会議を開催し、地域の様々な団体、個人が参加できるフォーラムの開催とその支援を行う。鴨川市地域福祉フォーラムを開催する。
3	佐倉市 王子台地区	王子台地区社協	H18.5.22	200千円	佐倉市王子台地区を対象とした「地域社会の安全をめざす防犯活動と、組織の設立及び改善」に向けて事業を行なう。	(1年目)6町内会の福祉課題について現状調査・分析、住民アンケートの実施とまとめ、住民懇談会を開催する。 (2年目)地域フォーラムとして、住民懇談会、関係者会議の開催、防犯組織の新設と改善の具体化促進、活動モニタリングに基づき町内会代表者会議を開催。 (3年目)広報を発行し、防犯被害対策状況の周知をする。住民アンケートを実施し、地区住民の防犯意識、活動への貢献意識の変化等について調査する。関係者会議、住民福祉懇談会を実施する。
4	松戸市 馬橋地区	馬橋地区社協	H18.5.22	200千円	まばし防災のまちづくりの検討委員会や住民座談会を開催し、住民ができる防災活動についての問題について議論を行い、住民参加による地域福祉フォーラムの開催をめざす。	(1年目)「まばし防災まちづくり」設置検討会、まばし防災まちづくり住民座談会、講演会を開催。 (2年目)住民アンケート調査(住民能力、災害弱者の把握)、講演会の開催、「まばし防災まちづくり」専門部会の設置、防災訓練の実施。 (3年目)地域防災講習会を開催し、具体的な活動として、家具転倒防止金具の取り付け方、火災警報器の取り付け方等を講師の方から学ぶ機会を計画する。学んだ内容をさらに地域住民に伝える地域防災講習会を開催する。
5	松戸市 矢切地区	矢切地区社協	H18.5.22	200千円	地域に住む全ての人が互いに認め合い協力し合う「心の輪」を広げられる地域社会づくりを目的に、屋内外でアトラクションや模擬店、パザー展示、あそび、発表等を開催する。	(1年目)矢切地区ふれあい広場実行委員会の設置・開催、地域福祉フォーラムとふれあい広場の内容検討。 (2年目)ふれあい広場開始についての検討会、実行委員会の開催、ふれあい広場来場者へアンケート調査を行い、ふれあい広場を基盤として地域福祉フォーラムの開催を検討する。 (3年目)「矢切地区ふれあい広場」を開催と運営を大きな目的にすえて、小域福祉圏地域福祉フォーラム等を実施し、福祉・農業・環境・観光等の様々な分野が融合したまちづくりについて検討する。
6	東金市 福岡地区	NPO法人 市民ネットオアシス	H18.7.14	200千円	地域福祉フォーラムを設立し、福岡地区の地域づくり等を検討し、福岡地区の一層の発展に寄与する。	(1年目)4つの委員会「わかりあい」「まなびあい」「ともに活動する」「ボランティア」を中心に、広報誌「ささえあい」の発行、会員募集、住民の意識調査、地域内の福祉資源(人的・物的)調査、ボランティアを募集する。 (2年目)4つの委員会活動、アンケート調査に基づいた福祉・教育・医療・農業・防災の研修会、防犯パトロール、移送ボランティアの創出支援を行う。 (3年目)3年目を迎えるにあたり、地域住民・関係諸団体・行政に対し「福祉ネット」についての理解をいっそう深め、協力・支援体制をさらに強化してもらうための諸活動を展開する。
7	松戸市 東部地区	東部地区社協	H18.7.14	200千円	東部地区内の各団体・個人が参加して子育てネットワークづくりを行うなかで仲間づくりや東部地域の一層の発展に努める。	(1年目)「子育て推進委員会」の開催、交流会の開催、イベント等(クリスマス会、講演会)の開催。 (2年目)「子育て推進委員会」の開催、連絡会参加団体の連携イベントの開催。 (3年目)前年度に引き続き、子育て支援活動を中心とした会議開催、子育てマップの作成、講演会への参加等を行う。

8	松戸市	小金原地区	小金原地区社協	H18.11.20	200千円	小金原地域が「安心して暮らし、お互いに助けあい、支え合うまち」になれるよう、地域内の福祉活動団体・NP〇・ボランティア団体・各種団体・施設等の交流や意見交換を深め、ネットワークの推進を図る。	(1年目)地域福祉フォーラム準備会及び地域福祉フォーラムを開催。地区社協役員およびこれまで関係の薄かった個人・団体参加を促進し、地域の生活課題について調査活動、ニーズ把握の方法について意見交換を行う。 (2年目)フォーラムの内容を検討し、各専門分野ごとにまとめ、タウンミーティングで住民と意見交換する。挙げられた課題の解決は、従来地区社協が取り組んできた「ふれあい広場」事業に運動させ地域ぐるみで福祉を推進する。 (3年目)地域内の様々な団体が集う実行委員会を設置する。また、「福祉フェア小金原ふれあい広場の開催。
9	鴨川市	西条地区	西条地区社協	H18.11.20	200千円	小域福祉圏域のフォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)地区社協・自治会・民生委員・ボランティア等が中心に地区住民の意見を収集する。意見結果に基づき地域の多様な団体等の参加のもとに地域福祉フォーラムを開催する。 (2年目)意見を取りまとめる小委員会を設置し、また具体的な活動へ結びつけるための専門部会を設置(防災防犯、子どもを守る部会)し、研究と活動をおこなう。 (3年目)地域福祉フォーラムを地域住民に理解してもらう為に、検討や研修等を開催する。フォーラムを開催し、期待することや検討するべき課題を把握し、地域内関係団体等と協力しより一層の連携を図っていく。
10	鴨川市	東条地区	東条地区社協	H18.11.20	200千円	小域福祉圏域のフォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)ボランティアグループと地区社協が実施している高齢者給食サービス活動や困っていることを中心に、地区社協・自治会・民生委員・ボランティア等が協議を行い、地域の多様な団体の参加の基に地域福祉フォーラムを開催する。 (2年目)意見を取りまとめる小委員会を設置し、給食サービス活動の見直しを行なう。また具体的な活動へ結びつけるための専門部会を設置し、研究と活動を行う。 (3年目)地域で不足しているサービス、検討するべきテーマ等を把握するための住民アンケート調査を地域住民、自治会、民生児童委員等の協力の基に実施する。その結果を参考に個別課題の検討を行うための専門部会を設定する。
11	鴨川市	江見地区	江見地区社協	H18.11.20	200千円	小域福祉圏域のフォーラムを設置し、地域内の誰もが安心して支えあえる地域福祉活動の充実を図る。	(1年目)地区社協の運営委員を中心に地域住民のニーズ調査を実施する。そして地区社協活動で不足していた点や多くの方々の考えを汲みながら総合的に検討するためにフォーラムを開催する。 (2年目)意見を取りまとめる連絡調整会議を設置し、また具体的な活動へ結びつけるための専門部会を設置(独居老人安否確認、健康相談事業)し、研究と活動を行う。 (3年目)住民の福祉サービスに対する要望等についての意見収集を運営委員が中心になり収集する。江見地区社会福祉協議会事業計画に向け、住民の意見、提案を取りまとめ反映させることを目的に地域福祉フォーラムを開催する。
12	市原市	辰巳台地区	市原市社協 辰巳台支部	H18.12.21	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、辰巳台地区の地域づくり等を検討し、活性化を図る。	(1年目)現組織以外の地域団体・事業所等の加入促進を図り、活動を拡充させる。地域の団体・個人が参加するタウンミーティングを開催し、住民ニーズに沿った活動を図る。 (2年目)タウンミーティングを継続させる。それとともに現組織が行なう日常生活支援事業、有償サービス、子育て支援、福祉教育の各専門部会活動の充実と推進を図る。諸団体の福祉ネットワークの充実を図る。ボランティアを育成する。 (3年目)現組織「地域ぐるみ福祉ネットワーク推進事業」を見直し検討する。他の団体・事業所等の加入の促進を図り、組織活動を充実させる。地域の様々な団体・個人が参加するタウンミーティングを開催し、住民のニーズに沿った活動を図る。部会の増加・充実を図る。拠点(辰巳ふれあいセンター)独自のミニイベントを開催する。
13	市原市	(ちはら台地区) 水の江小学校区	市原市社協 ちはら台支部	H19.2.5	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、ちはら台地区の地域づくり等を検討し、水の江小学校区地域の活性化を図る。	(1年目)ネットワーク会議で各種団体間で座談会開催に向けた話し合いを行なう。座談会を開催し4つの専門部会を設ける。住民アンケートにより地域福祉ニーズや人材を発掘する。ケーブルテレビ等で広報する。 (2年目)ネットワーク会議により座談会開催の企画運営を行なう。ボランティア委員会において、たすけあい活動を行なうために把握した人材をネットワーク化し情報交換・新たな人材発掘を行なう。広報活動を継続して行なう。 (3年目)ネットワーク会議の開催及び地区内の関係者と定期的に座談会を開催し企画・運営を行う。4つの専門部会を備え、部会ごとの課題解決に向けた具体的な方策を検討・実施する。ボランティア委員会を開催し、情報交換と新たな人材の発掘を行う。広報活動を継続して行なう。相談窓口を開設し心配ごと、悩み事に応じ、課題解決を図る。

平成17年度新規フォーラム一覧

設置数:7[基本:1、小域:6]

番号	地域	事務局	交付 決定日	交付 決定額	事業の目的及び内容	事業計画
1	館山市	館山市社協	H17.11.1	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、館山市の地域づくり等を検討し、館山市の活性化を図る。	(1年目)地域福祉フォーラム実行委員会の設置、フォーラム開催検討(小域モデル5支部選定)、基本地域福祉フォーラムの開催。 (2年目)モデル地域福祉フォーラム検討会の実施(各支部の報告・評価)、基本地域福祉フォーラムの開催(子育て、おたがいさまのまちづくり、福祉情報の共有化、防災、孤独死、モデル地区発表) (3年目)基本地域福祉フォーラムを「障害者と地域福祉」をテーマに開催。
2	館山市 館山地区	館山地区社協	H18.1.10	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、館山地区の地域づくり等を検討し、地区内の活性化を図る。	(1年目)フォーラム設置準備会、お互いさまのまちづくりフォーラム(福祉の現況、行政情報、フォーラムの必要性)開催。 (2年目)フォーラム実行委員会、お互い様のまちづくりフォーラム(子育て支援、安否確認、介護保険情報等)開催。 (3年目)「行政改革と地域福祉について」をテーマに地域福祉フォーラムを開催。地域福祉先進地等への視察。
3	館山市 西岬地区	西岬地区社協	H18.1.10	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、西岬地区の地域づくり等を検討し、地区内の活性化を図る。	(1年目)フォーラム設置準備会、お互い様のまちづくりフォーラム(福祉の現況、行政情報、フォーラムの必要性)開催 (2年目)フォーラム実行委員会、お互い様のまちづくりフォーラム(子育て支援、安否確認、介護保険情報等)開催。 (3年目)「西岬小学校と地域福祉活動」をテーマに地域福祉フォーラムを実施。
4	館山市 船形地区	船形地区社協	H18.1.10	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、船形地区の地域づくり等を検討し、地区内の活性化を図る。	(1年目)フォーラム設置準備会、お互い様のまちづくりフォーラム(福祉の現況、行政情報、フォーラムの必要性)開催 (2年目)フォーラム実行委員会、お互い様のまちづくりフォーラム(子育て支援、安否確認、介護保険情報等)開催。 (3年目)「健康と医療」、「地域福祉と行政改革」をテーマに地域福祉フォーラムを開催する。
5	館山市 九重地区	九重地区社協	H18.1.10	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、九重地区の地域づくり等を検討し、地区内の活性化を図る。	(1年目)フォーラム設置準備会、お互い様のまちづくりフォーラム(福祉の現況、行政情報、フォーラムの必要性)開催 (2年目)フォーラム実行委員会、お互い様のまちづくりフォーラム(子育て支援、安否確認、介護保険情報等)開催。 (3年目)「九重地区と地域包括支援センターとのネットワークづくり」をテーマに地域福祉フォーラムを開催する。
6	館山市 三軒町地区	三軒町地区社協	H18.1.10	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、三軒町地区の地域づくり等を検討し、地区内の活性化を図る。	(1年目)フォーラム設置準備会、地区談話会の開催(フォーラムの必要性)、テーマ(健康、安全、助けあい組織)を決めて開催。 (2年目)談話会実行委員会、地区談話会開催(健康管理、福祉情報、地域の安全、こども問題)フォーラム実行委員会等を開催し、意見等は社協活動へ反映していく。 (3年目)「地域福祉と行政改革」をテーマに地域福祉フォーラムを開催。前年度のフォーラムで提案された「地区防災」をテーマにフォーラムを開催。
7	松戸市 常盤平団地地区	常盤平団地地区社協	H18.1.10	200千円	地域福祉フォーラムを設置し、常盤平団地の地域づくり等を検討し、団地の活性化を図る。	(1年目)「地域福祉フォーラムを進める」設置検討会、地域福祉フォーラム実行委員会、地域福祉フォーラム(孤独死等)の開催 (2年目)孤独死研究会の設置、事例を中心とした報告会、高齢者の実態等の地域調査、福祉よろず相談活動と行政機関との連携強化、住民からの諸問題に対応する体制づくり。 (3年目)常盤平団地地区フォーラム実行委員会を開催する。地域福祉フォーラムを引き続き開催する。